

医療法人誠和会 年報

令和 2 年度 倉敷記念病院



医療法人 誠和会

目 次

巻頭文	1
法人理念・病院理念・院是	2
患者さんの権利と守っていただく事項	3
倉敷記念病院臨床倫理の方針	4
概要	5
沿革	10
職員数	15
組織図	16
会議・委員会組織図	18
統計資料	
病院統計	22
介護部門統計	41
活動実績	
診療部	47
看護部	63
リハビリテーション部	71
介護部門	78
総務部	79
経理部	86
委員会活動	87

※報告内容(職員の役職含む)については、特に記載のない限り令和2年度のものです。

令和 2 年度 年次事業報告書の発刊にあたって

医療法人 誠和会

理事長 小出尚志

医療法人誠和会倉敷記念病院の令和 2 年度年次事業報告書の発刊にあたって一言ご挨拶申し上げます。

中国武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症はパンデミックとなって変異を繰り返しながら猛威を振り、令和 2 年度は、個人も組織も社会も経済もコロナに疲弊した一年であったと思います。



自分を守り、家族を守り、そして職場を守るため、手洗い・うがい・マスク・検温、ソーシャル・ディスタンス、換気、外出や会食の自粛、on-site や on-line での会議、講演会... 日々の感染予防行動の変化で私たちの日常は大きく変わりました。

医療や介護も大きな影響を受けました。コロナ感染リスクからの受療抑制で外来も入院も患者さんが減って病院経営は青息吐息、加えて 2 回目の緊急事態宣言の最中に起こった老健施設のコロナ・クラスターで介護部門も低迷、令和 2 年度の期首に掲げた事業計画や収支計画から大きく下振れ乖離の結果となりました。

しかし、クラスター危機で示されたのは、大きな感染リスクやストレスに晒されながらも誠実に日々の業務をこなしていく職員の真摯な行動力と結束力でありました。あらためてこの誠和会の宝物に心を強くし、そして、この組織風土をさらに大きく育てて行くことの大切さを確信した年でもありました。

ワクチン接種も進んできています。来期こそ、新型コロナウイルスに打ち勝って飛躍する先駆けの年となることを祈念します。

終わりになりますが、私たち誠和会グループは、引き続き、地域の皆様の生活を支え、多様な医療ニーズにこたえられるよう、医療介護の充実を目指して職員一丸となって精進していくことをお誓い申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

法人理念

- ・元気を育み、生活を支援し、命に寄り添う医療・介護を提供します。
- ・医療・介護を通して、職員の幸福と地域社会への貢献を目指します。

病院院是

1. 患者さんの安全と安心を第一に考えます。
2. 慈愛の心をもって優しい態度で接します。
3. 患者さまの尊厳と権限を尊重します。
4. チーム医療を推進します。
5. 医療の継続性を大切にします。
6. 地域の健康に奉仕します。

I 患者さんの権利

倉敷記念病院は患者さんの権利を確認し尊重します。

患者さんには

1. 十分な説明を受けた後、医療・看護を「受ける」あるいは「受けない」という選択をする権利があります。
2. 自分の診療情報および個人情報を保護される権利があります。
3. いかなる状況においても人間の尊厳を尊重されて、その生を全うする権利があります。
4. いかなる差別もなく、平等な医療・看護を受ける権利があります。
5. 自ら受けている診療について、情報の提供を受ける権利があります。
6. 医療費の明細、医療費の公的援助について、その情報を受ける権利があります。

II 患者さんに守っていただく事項

患者さんと病院の双方が互いに尊重し、協力し合って初めて十分な医療サービスが可能となります。このために、患者さんには次の事項を守っていただきますようお願いします。

1. 身体的・精神的状態について必要と思われることは、できるだけ正確に、詳しくお教えてください。
2. ご自身が受けられる医療行為については、十分な説明を受けたあと納得の上、その医療行為を「受ける」あるいは「受けない」を選択してください。
3. 身体的不調を感じたときには即座にお知らせください。
4. 病院内では礼節を守り、他の患者さまに対する思いやりを忘れないでください。
5. 病院の器物は大切に扱ってください。
6. 病院では禁酒です。また、敷地内は禁煙です。

1. 知識と技術の習得に励み、温かな心をもって医療の質の向上に努める。

生命に関わる重大な業務に携わる者として、常に向上心を持ち、知識・技術の習得に努めて病院全職員による、チーム医療で円滑・敏速な活動を行う。

2. 患者の権利と自律性を尊重し、患者の視点に立った医療を行う。また権利には義務が伴うこと並びに医療の不確実性について患者に理解を求める。

全ての患者に平等の心で接し、治療・診断について誤りのない情報を伝える。しかし時には予測不可能で患者にとって受容できない結果を生む場合もあるので、医療の不確実性についても理解を求める。

3. 診療情報を適正に記録・管理し、開示請求には原則として応じる。

個人情報個人に帰属するものであり、本人の同意なしに他人に漏らすことはできない。

4. 地域の医療・保健・介護・福祉を包括的に推進するとともに、関係諸機関・施設等との連携・協力関係を構築する。

病院には、医療に加えて、保健・介護・福祉にも包括的な連携を推進する必要があり、その為にも地域の医療機関、介護施設ならびに行政機関等と緊密な連携を構築する。

5. 人の自然な死に思いをいたし、緩和医療を推進し、誰もが受容しうる終末期医療を目指す。

自ら身体を動かすことが出来なくなり、食事摂取もできなくなった高齢者に対して行われる延命処置に対して行われる延命処置として胃瘻造設等の妥当性が問われるようになってきた。我々は人の自然な死に思いをいたし患者および家族の意思を尊重して、誰もが受容しうる終末期医療を目指す。

概要

病院の概要（令和3年5月1日現在）

名称	医療法人誠和会 倉敷記念病院
所在地	〒710-0803 岡山県倉敷市中島 831 番地
院長	岡崎 守宏
看護部長	齋藤 美和子
事務長	景山 靖
電話番号	(086)465-0011
FAX	(086)465-9199
事業者	名称:医療法人 誠和会 法人所在地:岡山県倉敷市中島 831 番地 法人種別:医療法人 代表者氏名:理事長 小出 尚志 電話番号:(086)465-0011
開設	昭和 43 年 7 月 8 日
病床数	194 床 一般病棟 50 床 回復期リハビリテーション病棟 50 床 医療療養病棟 46 床(うち、地域包括ケア入院医療管理料 1 19 床) 特殊疾患病棟 48 床
看護体制	10:1(一般病棟入院基本料)

届出リスト(令和3年5月1日現在)

届 出 内 容
機能強化加算
一般病棟入院基本料
療養病棟入院基本料
救急医療管理加算
診療録管理体制加算 2
医師事務作業補助体制加算 2
急性期看護補助体制加算
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
療養病棟療養環境加算 1

栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算 2
感染対策防止加算 2
患者サポート体制充実加算
後発医薬品使用体制加算 2
病棟薬剤業務実施加算 1
データ提出加算
入退院支援加算
認知症ケア加算
せん妄ハイリスク患者ケア加算
排尿自立支援加算
回復期リハビリテーション病棟入院料 1
地域包括ケア病棟入院料 1 及び地域包括ケア入院医療管理料 1
特殊疾患病棟入院料 1
入院時食事療養(Ⅰ)／生活療養(Ⅰ)
がん性疼痛緩和指導管理料
糖尿病透析予防指導管理料
院内トリアージ実施料
がん治療連携指導料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
地域連携診療計画加算
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
医療機器安全管理料1
別添 1 の「第 14 の 2」の 1 の(1)に規定する在宅療養支援病院
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
検体検査管理加算(Ⅰ)
検体検査管理加算(Ⅱ)

脳磁図(その他のもの)
神経学的検査
コンタクトレンズ検査料 1
CT 撮影及び MRI 撮影
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
がん患者リハビリテーション料
集団コミュニケーション療法料
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 16 に掲げる手術
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
酸素の購入単価

介護部門 施設・事業所の概要(令和 3 年 5 月 1 日現在)

名称	介護老人保健施設 福寿荘
所在地	岡山県倉敷市中島 831 番地
施設長	松木 孝之
電話番号	(086)466-0119
FAX 番号	(086)465-2537
介護保険指定番号	介護老人保健施設 (3350280024 号)
開設	平成 2 年 10 月 22 日

名称	有料老人ホーム せいわ
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
施設長	小野 玉枝
電話番号	(086)460-0070
FAX 番号	(086)466-6366
介護保険指定番号	特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護(3370205209 号)
開設	平成 20 年 1 月 1 日

名称	グループホーム コージー
所在地	岡山県倉敷市中島 848 番 6
施設長	森田 重幸
電話番号	(086) 460-3818
FAX 番号	(086) 466-2099
介護保険指定番号	認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護 (3390200420 号)
開設	平成 21 年 10 月 1 日

名称	小規模多機能 和(なごみ)
所在地	岡山県倉敷市中島 848 番 3
施設長	吉川 千恵
電話番号	(086) 460-1919
FAX 番号	(086) 460-1920
介護保険指定番号	小規模多機能型居宅介護、介護予防小規模多機能型居宅介護(3390200743 号)
開設	平成 24 年 3 月 1 日

名称	倉敷記念病院 通所リハビリテーション
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 460-0020
FAX 番号	(086) 465-1411
介護保険指定番号	通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション(3310210418 号)

名称	デイサービスせいわ
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 460-0010
FAX 番号	(086) 465-1411
介護保険指定番号	通所介護、介護予防通所介護(3370205183 号)

名称	倉敷記念訪問看護ステーション
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号(FAX 兼用)	(086) 465-0121
介護保険指定番号	訪問看護(3360290062 号)

名称	せいわ介護サービスセンター
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 466-6355
FAX 番号	(086) 466-6366
介護保険指定番号	指定居宅介護支援事業所 (3370200184 号)

名称	倉敷市倉敷西高齢者支援センター
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 466-3156
FAX 番号	(086) 466-6366
介護保険指定番号	地域包括支援センター (指定介護予防支援事業所) (3300200056 号)

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
昭和43	6	医療法人誠和会 設立（創立者 赤木和彦）	
	7	7/8 倉敷記念病院 開設（倉敷市中島831番地） 病床数 30床	
46	3	救急病院の指定を受ける	
	12	病床数 50床に増床	
		検診部開設 集団検診を開始	
48	5	産業医活動を開始	
52	10	病床数 57床に増床	
53	4	耳鼻咽喉科開設	
55	12	病床数 165床に増床	
60	12	病床数 200床に増床	
61	4	泌尿器科開設	
平成2	10		老人保健施設 福寿荘 開設（100床）
3	10	脳神経外科開設	
4	8		全身用コンピュータ断層撮影装置更新（横河CT-Vertex3000）
5	1		
6	1		老人保健施設 福寿荘 50床増床 福寿荘在宅介護支援センター 開設（倉敷市委託事業）
		核磁気共鳴画像診断装置（MRI）導入（横河MRVectra-Fast） 骨密度測定装置導入	
7	3	X線TV更新（東芝DBA-300A/50N）	
8	1	政府管掌健康保険成人病予防検診承認	倉敷記念訪問看護ステーション 開設
	4		
9	1	X線室画像読取装置 富士FCR,AC-3システム導入	
	3	倉敷記念病院看護婦誠和寮（14室）完成	
	5		薬局サンヨー自動錠剤包装機システム ATC-240F 導入
	6		検査部心エコー入替導入
			検診部政府管掌検診システム完成
	11		腹部エコー入替導入
10	3		ヘリカルCT（横河LemageSX/E）更新
	9	病床数を200床から194床に変更	
11	10		
12	3	眼科開設	
		皮膚科開設	
	4	神経内科開設	
	8		外科用X線TV（イメージ）島津製導入
14	7	病院機能評価ver.3.1 認定	
	9	禁煙外来開始	
15	4	骨粗鬆症内科開設	
	11		レセプトコンピュータ（HOPE）導入
17	2	井水開始	
	10	回復期リハビリテーション病棟開設	
18	2		心電計（カーディオスター）導入
	3		マルチスライスCT（Light Speed Ultra 16 with Extream）導入
	4	一般病棟入院基本料（10対1）承認	

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
		運動器リハビリテーション科(Ⅰ)承認	
		呼吸器リハビリテーション科(Ⅰ)承認	
		脳血管疾患等リハビリテーション科(Ⅱ)承認	
	6	脳血管疾患等リハビリテーション科(Ⅰ)承認	
	9	X線TV(Winscope4000)導入	
19	2	ポータブル(X-p)(Mobile ArtⅡ)導入	
	2	脳波計(ニューロファックス)導入	
	4	NST移動施設認定(日本静脈経腸栄養学会)	
	9	病院機能評価ver.5.0認定	
20	1		誠和会在宅センター 開設
			有料老人ホーム(110室 120名) 介護付39室、住宅型71室
			デイサービスせいわ(定員20名)
			通所リハビリせいわ(定員40名)
			倉敷記念訪問看護ステーション[移設]
			せいわ介護サービスセンター[移設]
			倉敷市倉敷西高齢者支援センター[移設]
	3	一般病棟入院基本料(7対1)承認	
	7	回復期リハビリテーション病棟1承認	
	8	エコー診断装置(Aplio XG)導入	訪問専門クリニックせいわ 開設
	9	重症急性期入院院医学管理料1承認	
21	1	経口・経鼻対応 内視鏡(GIF-XP260)導入	
	2	メディネットシステム導入	
	3	医療用画像ネットワーク管理システムPACS導入	
	4	防水型ホルター心電図記録器導入	
	7		通所リハビリせいわ(定員60名に変更)
	9		デイサービスせいわ(定員30名に変更)
	9	協力型研修病院登録(岡山大学病院、倉敷中央病院)	有料老人ホーム 住宅型39室を介護付へ変更
	10		
	11		グループホームコージー グリーン(9室)開設
22	2	レセプトコンピュータ(IBARSⅡ)導入	グループホームコージー オレンジ(9室)開設
	4	循環器専門医研修関連施設指定	
	8		
	9	全自動エンザイムノブアッセイ装置(AIA・600Ⅱ)導入	
	10		
	12	敷地内禁煙(完全)	訪問専門クリニックせいわ ニコチン依存症管理料 承認
		診断用X線装置(RADspeed Pro)導入	
23	1	X線骨密度測定装置(Discovery QDR SERIES)導入	
	3	オーダーリングシステム(MI・RA・Is/EX)導入	
	4	アミノ酸システム(Time Pro-XG Version 8.00)導入	
	4	血液ガス分析装置 更新	
	5	回リハ病床を3F(38床)から4F(50床)に変更	
		医療療養病床を4F(50床)から3F(38床)に変更	

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
	8	生体情報モニタ(DS-8100N)導入	デイサービスせいわ 改修工事
	9	デジタルX線TVシステム(Raffine-i)更新	
	10	一般病棟入院基本料(7対1)から(10対1)へ変更	デイサービスせいわ(定員45名)
	10		せいわ介護サービスセンター 特定事業所加算Ⅱ承認
	12	外来 感染対応スペース 整備	
29	2		福寿荘 介護ロボット ケアロボ3台導入 (平成28年度倉敷市介護ロボット等導入支援事業)
	3	地域包括ケア病床8床(一般病床ベース)を療養病床へ変更	
	4	療養病床のうち8床を地域包括ケア病床(療養病床ベース)に変更	
	5		福寿荘 公用車 エブリィワゴン(福祉車両)導入
	6	健活企業認定	和 雨水タンク導入
	7	病院機能評価3rdG:Ver.1.1認定	火災通報装置連動工事
	8		
	9	倉敷第一病院 事業統合	
	10	24時間保育スタート	
	11	倉敷第一病院事業統合記念式典	通所型短期集中予防サービス(健康教室)開設
30	1	鼻咽喉スコープ 動画システム(VTブアラウザ)導入	福寿荘 在宅強化型老健施設 承認
	2	倉敷記念病院・倉敷第一病院 拠点間接続開始(電子カルテ)	訪問看護ステーション 訪問看護支援サービス(iBow)導入
	3		介護保険インターネット請求開始
	5	デジタルX線画像診断システム(FDR CALNEO smart)導入	
	6	ロゴマークデザイン制定	
	7	訪問リハビリテーション(みなし事業所)開設	
	7/6	倉敷市 西日本豪雨災害	
	7/8	創立50周年記念祝賀会 災害のため中止となる	
	8	倉敷市へ西日本豪雨義援金を贈る	福寿荘 在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅱ承認(超強化型老健)
	10	WEB会議導入	福寿荘 超・超低床フロアベッド導入(5台)
	11	午後外来診療時間変更 15時→14時~17時	
31	1	療養病床のうち7床を地域包括ケア病床(療養病床ベース)に変更(合計15床)	福寿荘 キュービカル改修工事
	2		福寿荘 非常照明更新工事
	3		誠和会在宅センター 非常照明パントリー交換工事

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
4 元	4	外来診療「院外処方」全面実施	
	7	エレベーター(2基)改修工事	
	9	給食システム(メデイカローリー)連携	誠和会在宅センター 電話交換機設備更新
2	11	検診車 更新	
	12	電子カルテ サーパー更新(仮想化)	
	1	栄養指導システム(チャアティex)導入	
	2	オゾン脱臭器導入	
	3	公用車ヘッドライトレコーダー取付(救急車以外の公用車全41台)	福寿荘 火災報知設備改修工事
		超音波診断装置(Aplio i800)更新	
		シャワーベット導入	
	4	新型コロナウイルス対策衛生備品購入(車いす・ストレッチャー用カバー)	
		新型コロナウイルス対策衛生備品購入(フェイスマスク)	
	5	新型コロナウイルス対策衛生備品購入(防護服)	
	8	発熱外来 診療室整備	通所リハビリ 送迎車(軽四車いすスロープ車)購入
		多項目自動血球分析装置・全自動血液凝固測定装置更新	
	11	発熱外来開始	
		療養病棟のうち4床を地域包括ケア病床(療養病床ベース)に変更(合計19床)	
3	1	PCR検査機器・陰圧BOX導入	
	2	新型コロナウイルス対策衛生備品購入(防火用フィルムカーテン)	福寿荘 非常放送設備更新
	3	健診部 エコー(Xario200G)更新	福寿荘 非常用発電機更新

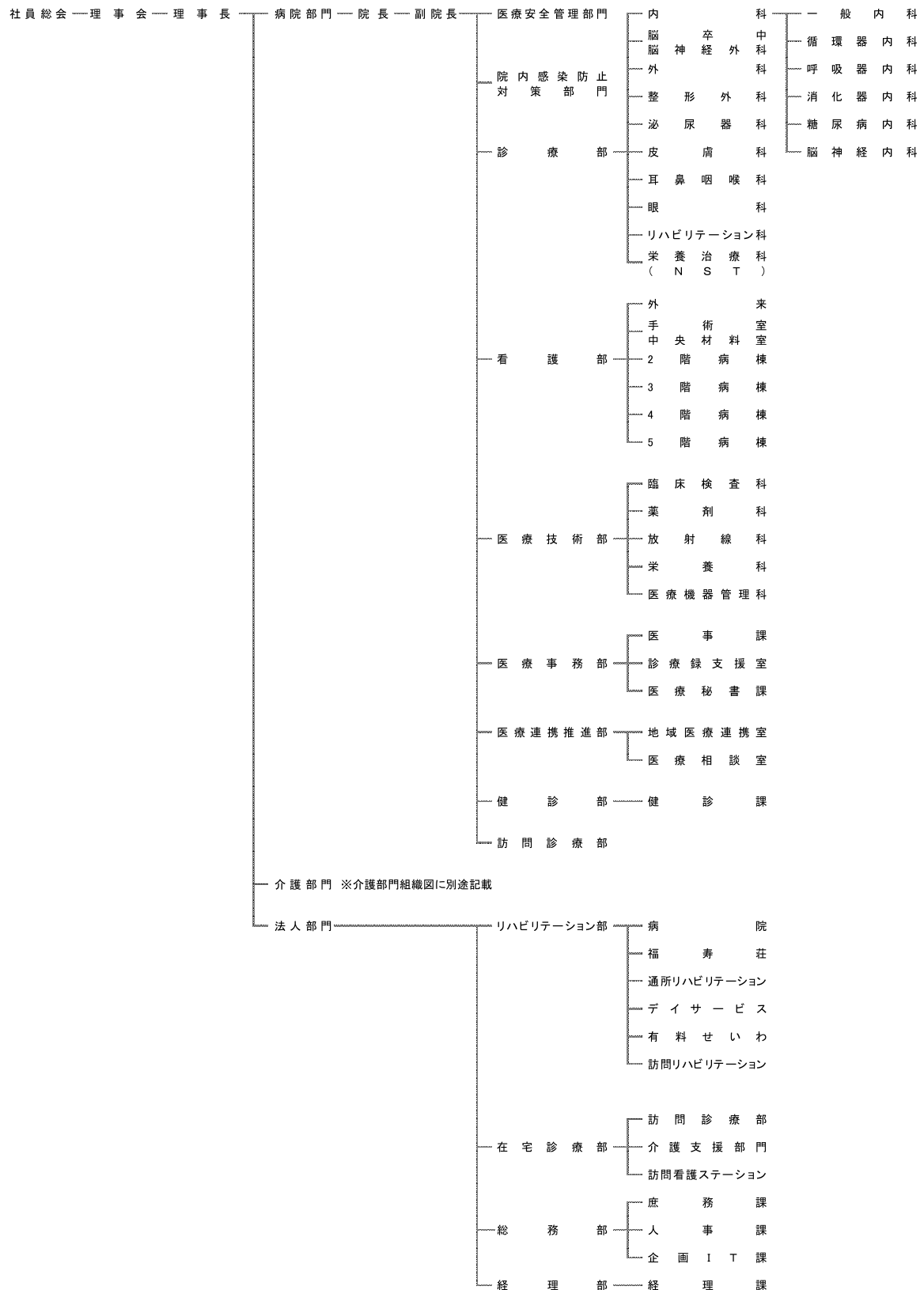
職員数

(令和3年3月31日現在)

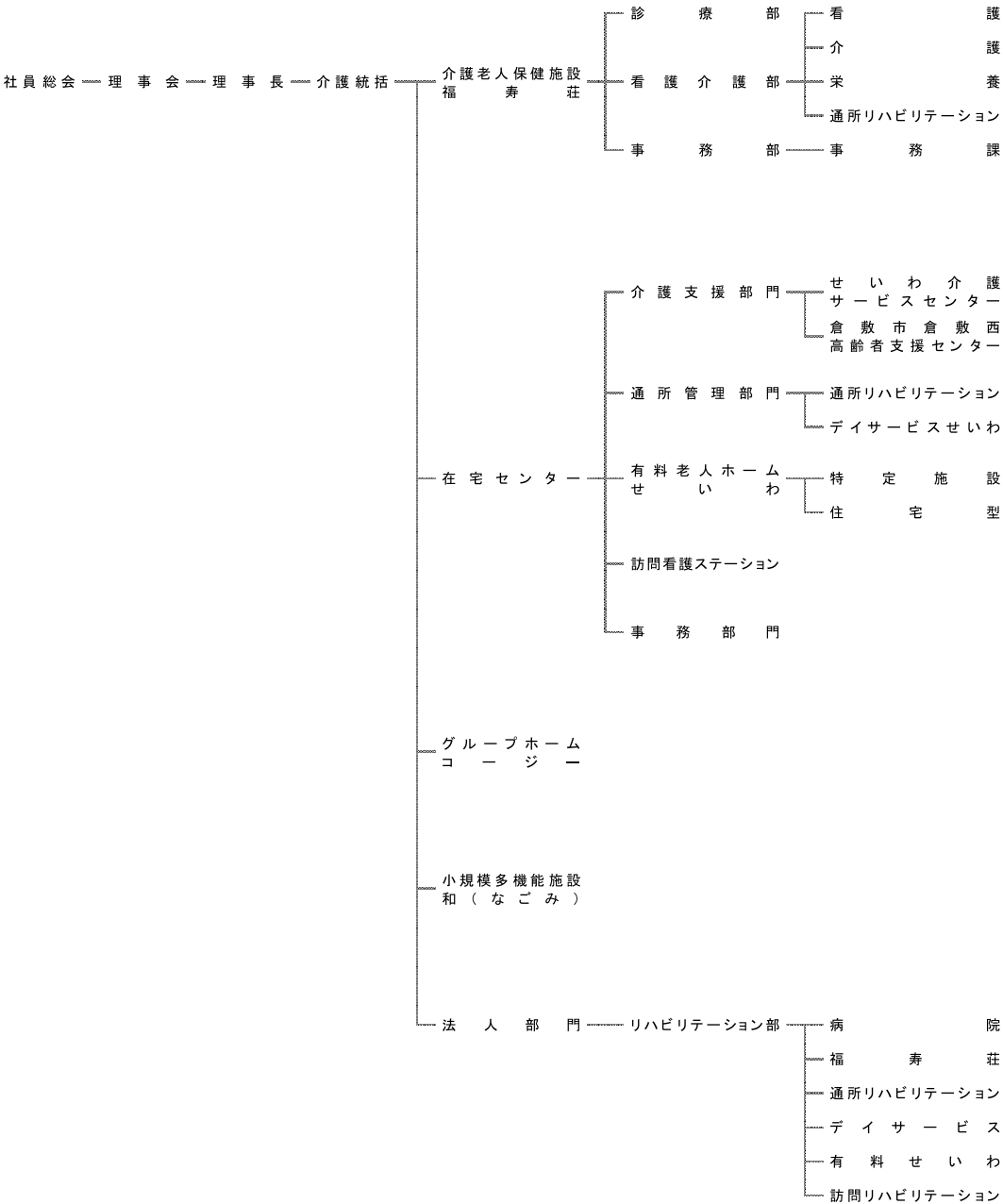
職 種 所 属		医 師	看 護 師	保 健 師	薬 劑 師	管 理 栄 養 士	放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	臨 床 工 学 技 士	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	言 語 聴 覚 士	歯 科 衛 生 士	視 能 率 療 法 士	介 護 福 祉 士	介 護 福 祉 士	社 会 福 祉 士	支 援 相 談 員	介 護 支 援 専 門 員	ク ラ ー ク 員	事 務 員	薬 劑 助 手	用 務 員	送 迎 員	合 計	
病 院	診 療 部	17																								17
	看 護 部		2																							2
	外 来		17											1						2						20
	2 病 棟		31												3	6				1						41
	3 病 棟		22													7	3			1						33
	4 病 棟		24													7	1			1						33
	5 病 棟		23													2	3									28
	栄 養 科					4																				4
	検 査 科							7	1																	8
	放 射 線 科						5																			5
	薬 剤 科				8																		1			9
	病 院 リ ハ ビ リ									21	15	7	2								2					47
	健 診 部	1	1	2				1														6				11
	医 療 事 務 部																					1				1
	医 事 課																					13				13
	医 療 秘 書 課																					2				2
	医 療 連 携 推 進 部																4									4
	総 務 部																					3				3
	庶 務 課																					2		2		4
	人 事 課																					3				3
	企 画 IT 課																					2				2
	経 理 部																					3				3
介 護 部 門	福 寿 荘	1	19							8	1	1			1	59	9		3	1		3				106
	通 所 リ ハ ビ リ		4							5	3					11	3					1			8	35
	介護サービスセンター																		7		1				8	
	訪問看護ステーション		9							2	4															15
	高齢者支援センター			1													1		7						9	
	有料老人ホームせいわ		7									1				25	5	1	1	1		2				43
	デ イ サ ー ビ ス		3								1					8	2		2						5	21
	コ ー ジ ー															15	3									18
	和		1													8	4			1						14
合 計		19	163	3	8	4	5	8	1	36	24	9	2	1	1	145	39	6	6	17	5	44	1	2	13	562

※非常勤を含む

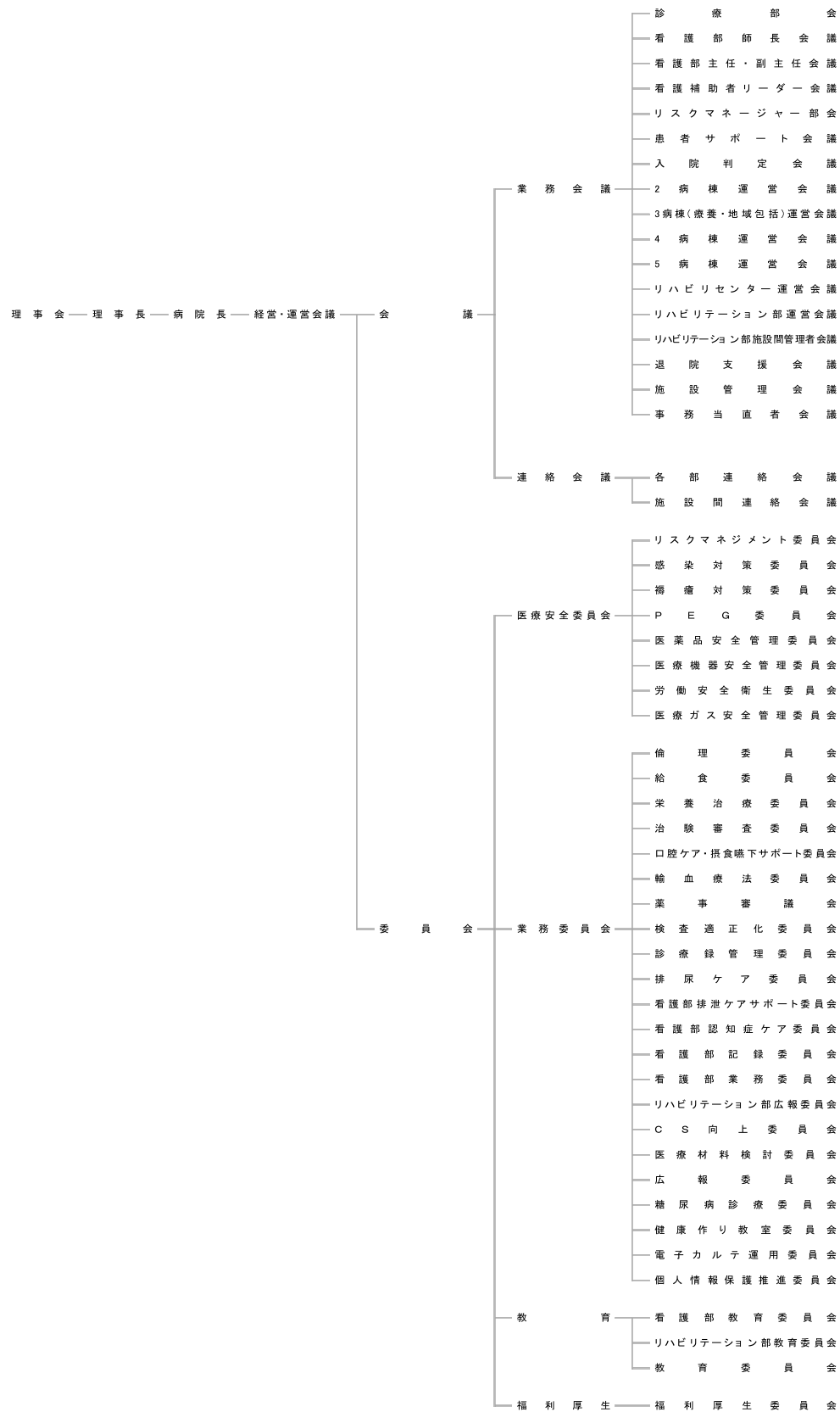
倉敷記念病院



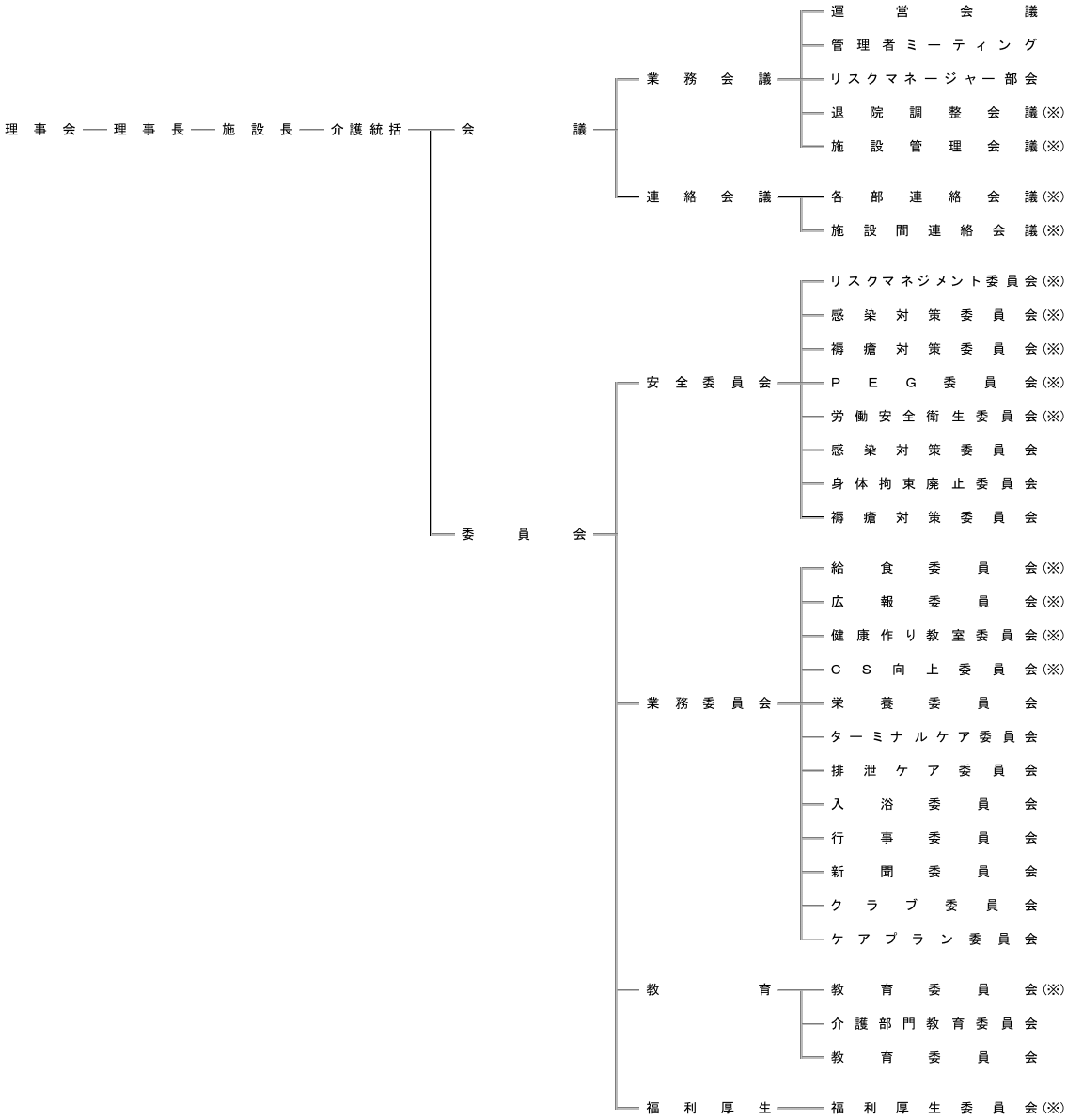
介護部門



倉敷記念病院 会議・委員会

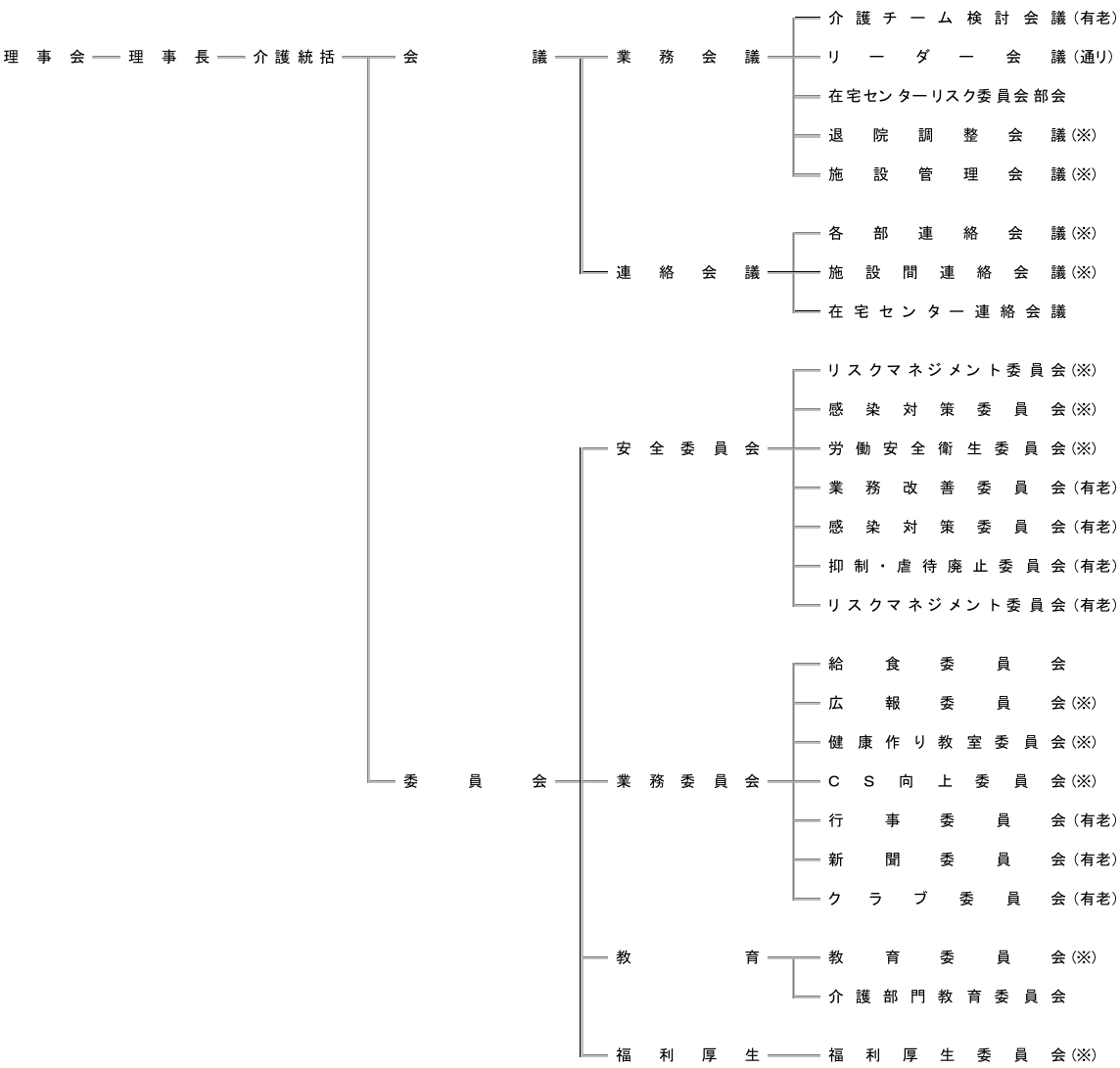


介護老人保健施設福寿荘 会議・委員会



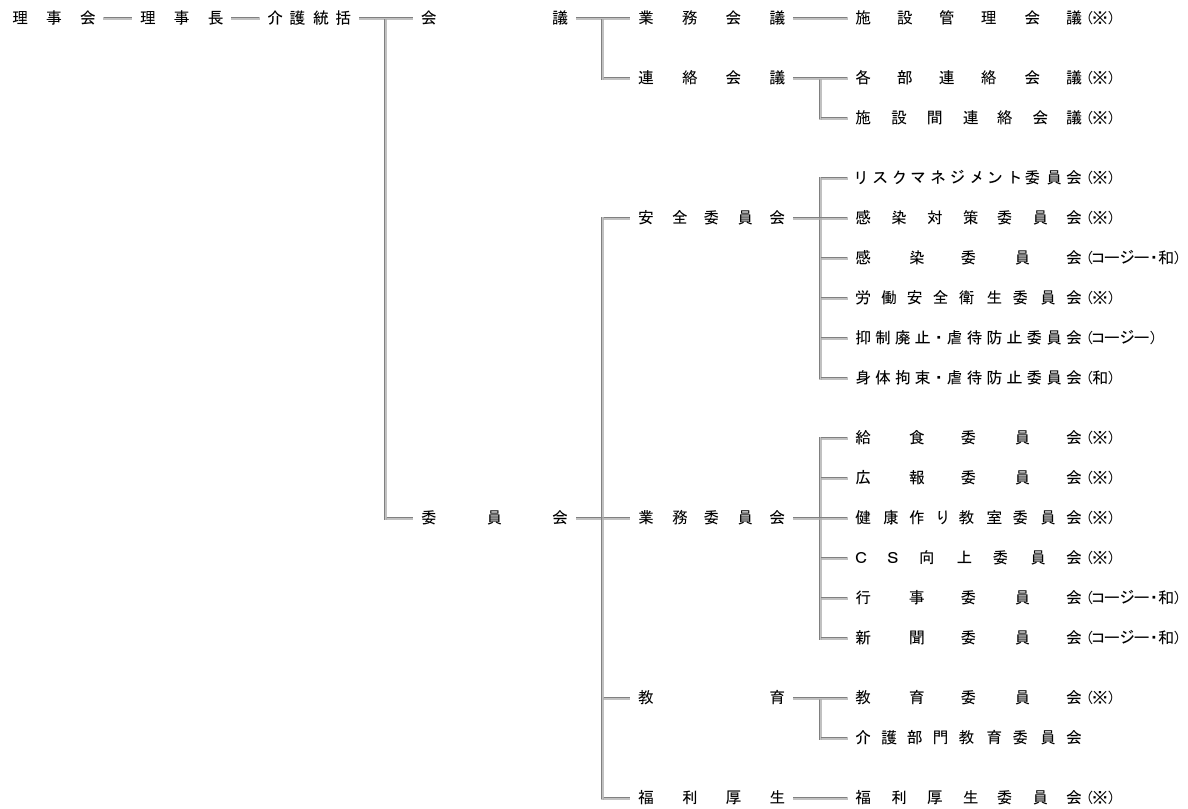
(※)は、医療法人誠和会<中島地区>で共通のもの

誠和会在宅センター 会議・委員会



(※)は、医療法人誠和会<中島地区>で共通のもの

グループホームコージー・小規模多機能和 会議・委員会



(※)は、医療法人誠和会<中島地区>で共通のもの

統計資料

倉敷記念病院 統計

1 日平均外来患者数 ※		177.8
外来レセプト件数		34,542
1 日平均入院患者数		164.7
一般病棟	平均入院患者数	39.5
	稼働率	79.0%
	平均在院日数	15.4
地域包括ケア病棟	平均入院患者数	12.9
	稼働率	67.7%
	平均在院日数	24.5
回りハ病棟	平均入院患者数	40.7
	稼働率	81.5%
	平均在院日数	67.9
療養病棟	平均入院患者数	24.3
	稼働率	90.0%
	平均在院日数	64.7
特殊疾患病棟	平均入院患者数	47.3
	稼働率	98.5%
	平均在院日数	616.3
新患者数		3,846
救急搬入件数		212
救急搬入件数(夜間・休日)		108
診療科別手術件数	耳鼻咽喉科	32
	皮膚科	21
	整形外科	20
処方箋枚数	院内(外来)	146
	院内(入院)	20,383
	院外	43,981

※診療実日数平均

疾患別退院患者 集計表

ICD10 国際疾病分類第 10 版(1992)

大分類一覧

章	ICD コード	分類見出し	退院件数	死亡件数	総合計
1	A00~B99	感染症および寄生虫症	29	4	33
2	C00~D48	新生物	61	33	94
3	D50~D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	14	1	15
4	E00~E90	内分泌、栄養および代謝疾患	26	1	27
5	F00~F99	精神および行動の障害	20	2	22
6	G00~G99	神経系の疾患	58	12	70
7	H00~H59	眼および付属器の疾患			
8	H60~H95	耳および乳様突起の疾患	15		15
9	I00~I99	循環器系の疾患	176	35	211
10	J00~J99	呼吸器系の疾患	137	46	183
11	K00~K93	消化器系の疾患	94	3	97
12	L00~L99	皮膚および皮下組織の疾患	22		22
13	M00~M99	筋骨格系および結合組織の疾患	44	1	45
14	N00~N99	尿路性器系の疾患	72	8	80
15	O00~O99	妊娠、分娩および産じょく			
16	P00~P96	周産期に発生した病態			
17	Q00~Q99	先天奇形、変形および染色体異常		1	1
18	R00~R99	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12	2	14
19	S00~T98	損傷、中毒およびその他の外因の影響	195	1	196
20	V00~Y98	傷病および死亡の外因			
21	Z00~Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	2		2
			977	150	1,127

転院統計

紹介元別転院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
倉敷中央病院	17	10	22	23	22	21	18	23	23	23	25	25	252
川崎医科大学付属病院	2	1	3	3	5	3	4	6	3	3	3	6	42
倉敷第一病院	1	1			1	1	3			1	1	1	10
倉敷平成病院	1	1	1		1	1		1	1	2	3		12
倉敷成人病センター	1	1				1				1	2	1	7
倉敷リハビリテーション病院	1												1
芳野病院	1												1
村上脳神経外科		1									1		2
岡山済生会病院			1										1
松田病院			1			2	1		2				6
岡山労災病院			1										1
つばさクリニック(レスパイト含む)				1			3		1			1	6
岡山市民病院					1							1	2
南岡山医療センター					1		1				1		3
岡山旭東病院					1				1				2
岡山赤十字病院					1								1
川崎医科大学 総合医療センター						1	1				1		3
福山リハビリテーション病院						1							1
えびの市立病院(宮崎県)						1							1
水島中央病院							1				1		2
水島協同病院							1				1		2
新見中央病院							1						1
倉敷神経科病院								1					1
渡辺病院(新見市)									1				1
矢掛国民健康保険病院										1			1
やまな内科整形										1			1
津山中央病院										1			1
倉敷市民病院										1			1
グリーン在宅診療所										1			1
薬師寺慈恵病院											1		1
慈圭病院											1		1
計	24	15	29	27	33	32	34	31	32	35	41	35	368

倉敷中央病院からの転院患者数(内訳)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳外・脳卒	4	3	4	5	3	2	7	5	1	8	6	4	52
整形	3	1	3	1	3	1	2	1	5		1	1	22
呼吸器内/外	1		3	2		2	2	4	1	5	2	2	24
循環器	2		1	1	3	3	2	5	1	5	5	1	29
消化器	1	2	2	3	1	4			1	1	6	2	23
外/心外	1	1	1	3	2	2			2			3	15
内科	1	1	3	3	2				1	1		5	17
救急			2	3	2	2	1	4	3		1	1	19
総合診療科		1	2		3	4	1		4	1	2	4	22
血内	1				2		1	1	1				6
神内(脳神経内科)	1							1	1	1	1	2	7
耳鼻咽喉科							1						1
糖尿病・内分泌								1		1			2
皮膚科	1												1
腎内				1			1						2
形成													0
泌尿器科			1		1	1			2				5
リウマチ・膠原病科		1		1				1			1		4
複合	1												1
合計	17	10	22	23	22	21	18	23	23	23	25	25	252

リハビリテーション部

1. 回復期リハビリテーション病棟実績

	当院	全国平均	単位
1 日平均提供単位数	5.8	6.18	単位
在宅復帰率	91.7	68	%
重症患者率	51.7	－	%
重症患者回復率	84.8	－	%
実績指数(10～3 月の 6 か月平均)	56.5	45.4	
平均在院日数	67.9	70.1	日

＊重症とは日常生活機能評価で 10 点以上又は機能的自立度評価法(Functional Independence Measure、以下「FIM」という。)得点で 55 点以下の患者をいう

・参考資料:「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」 2021年2月回復期リハビリテーション協会

「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題・経年調査の結果」 全国回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会 全国実態調査報告

2. VF(嚥下造影検査) VE(嚥下内視鏡検査)

件数実績

VF 60 件

VE 256 件

摂食機能療法 2803 件

3. 算定リハビリテーション料

脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ

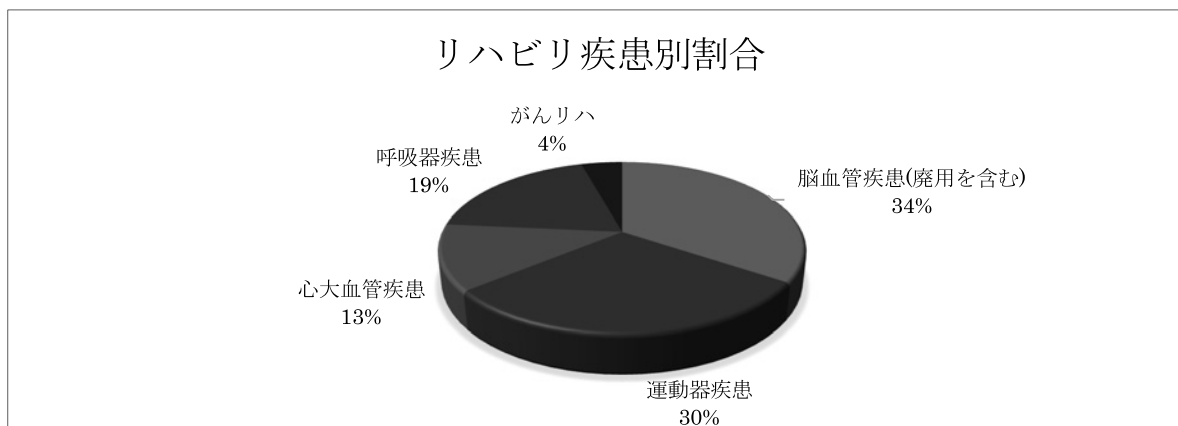
運動器疾患リハビリテーション料Ⅰ

心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ

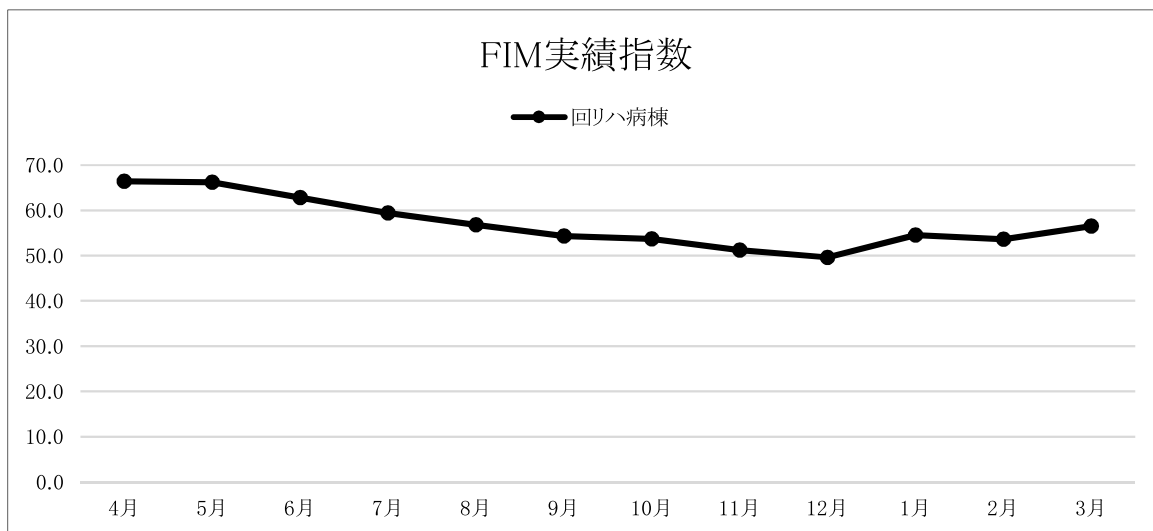
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ

がん患者リハビリテーション料

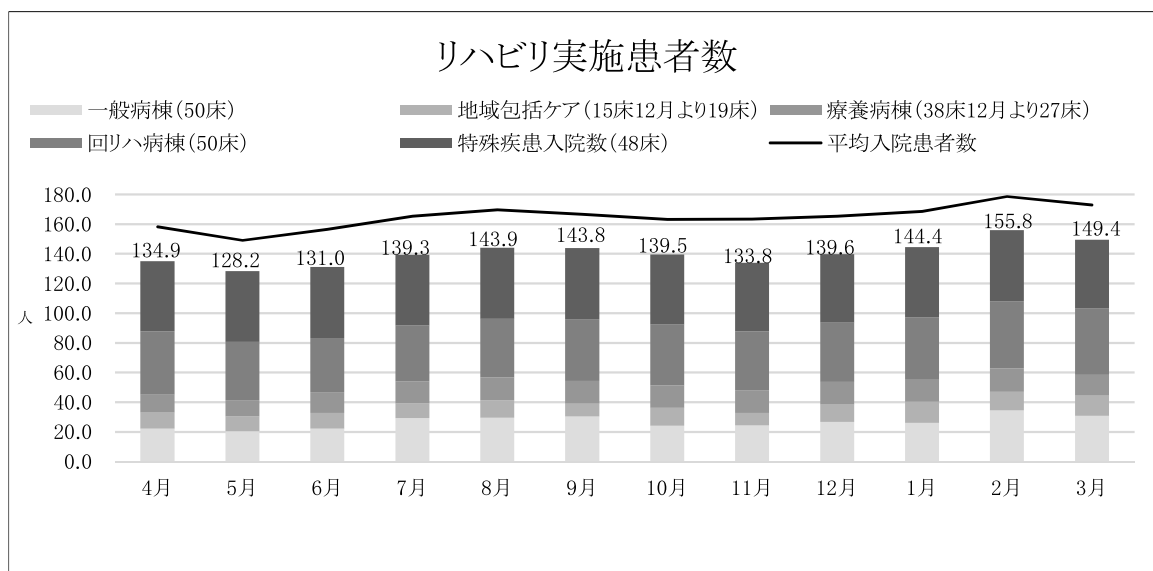
4. リハビリ実施患者の疾患別割合



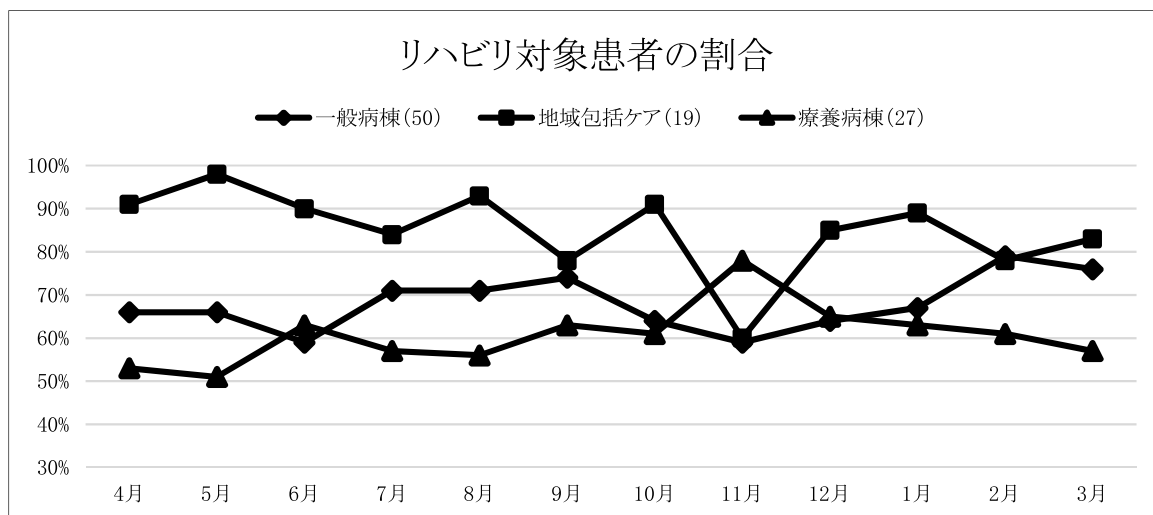
5 FIM 実績指数



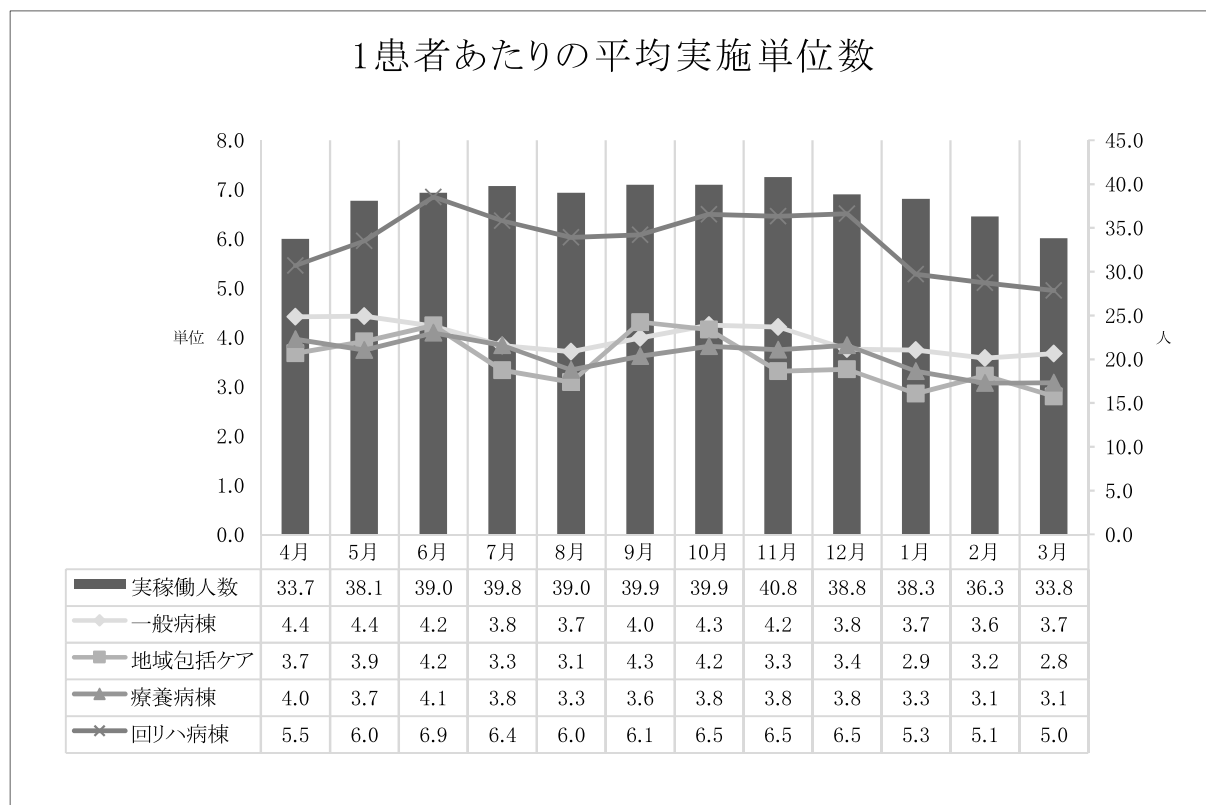
6. リハビリ実施患者数



7. リハビリ対象患者の割合



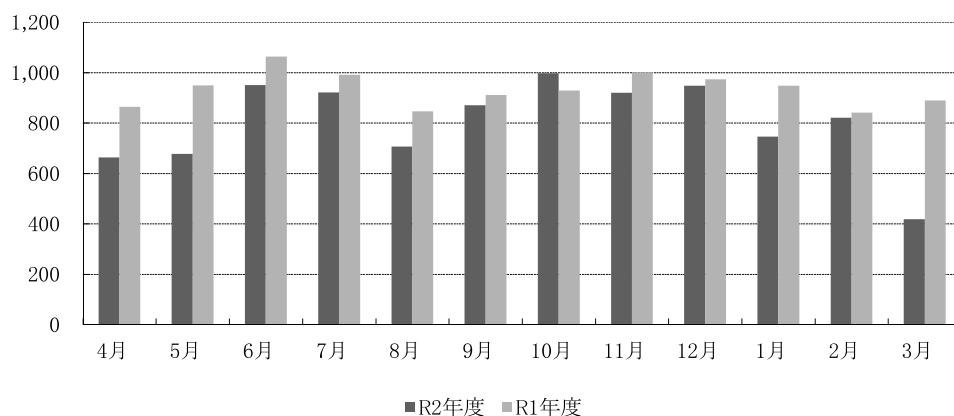
8. 1患者あたりの平均実施単位数



単純撮影 検査集計

	単純撮影						前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	ポータル ブル	健診	福寿	計	前年	前年比	増減		
4 月	277	102	84	192	8	663	864	76.7%	-201	23	29
5 月	295	82	88	205	7	677	949	71.3%	-272	20.5	33
6 月	342	92	134	374	8	950	1,064	89.3%	-114	24	40
7 月	326	111	83	401	0	921	991	92.9%	-70	23	40
8 月	260	89	75	279	4	707	846	83.6%	-139	21	34
9 月	303	102	102	358	6	871	911	95.6%	-40	22	40
10 月	352	99	103	439	5	998	929	107.4%	69	24.5	41
11 月	294	96	127	399	4	920	1,002	91.8%	-82	21	44
12 月	356	103	132	352	5	948	974	97.3%	-26	23.5	40
1 月	297	109	108	229	3	746	948	78.7%	-202	21	36
2 月	311	106	136	259	9	821	841	97.6%	-20	22	37
3 月	160	49	46	162	1	418	889	47.0%	-471	26	16
合 計	3,573	1,140	1,218	3,649	60	9,640	11,208	86.0%	-1568	271.5	36

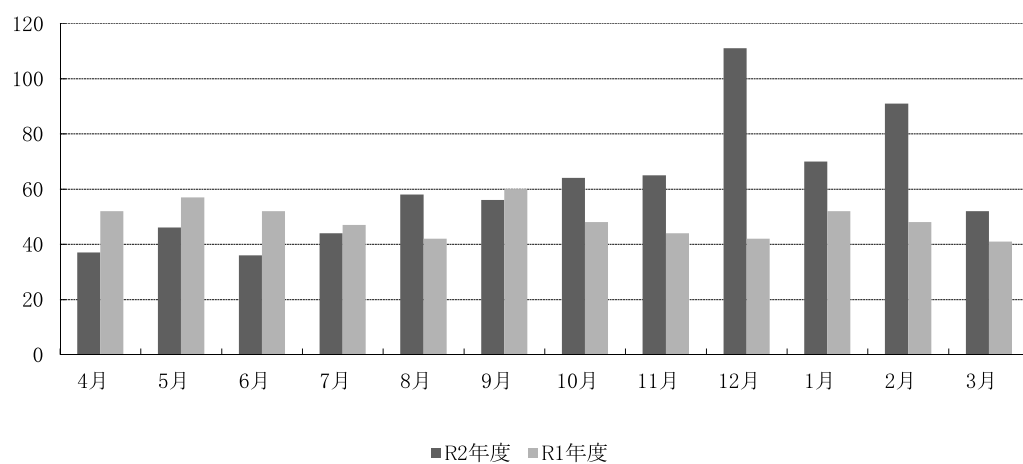
単純撮影



骨密度 検査集計

	骨密度						前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	健診	福寿	ますみ	計	前年	前年比	増減		
4 月	35	1	1	0	0	37	52	71.2%	-15	23	2
5 月	44	1	1	0	0	46	57	80.7%	-11	20.5	2
6 月	34	0	2	0	0	36	52	69.2%	-16	24	2
7 月	41	0	3	0	0	44	47	93.6%	-3	23	2
8 月	53	0	5	0	0	58	42	138.1%	16	21	3
9 月	51	1	4	0	0	56	60	93.3%	-4	22	3
10 月	55	1	8	0	0	64	48	133.3%	16	24.5	3
11 月	38	0	27	0	0	65	44	147.7%	21	21	3
12 月	43	3	65	0	0	111	42	264.3%	69	23.5	5
1 月	40	3	27	0	0	70	52	134.6%	18	21	3
2 月	42	3	46	0	0	91	48	189.6%	43	22	4
3 月	22	0	30	0	0	52	41	126.8%	11	26	2
合 計	498	13	219	0	0	730	585	124.8%	145	271.5	3

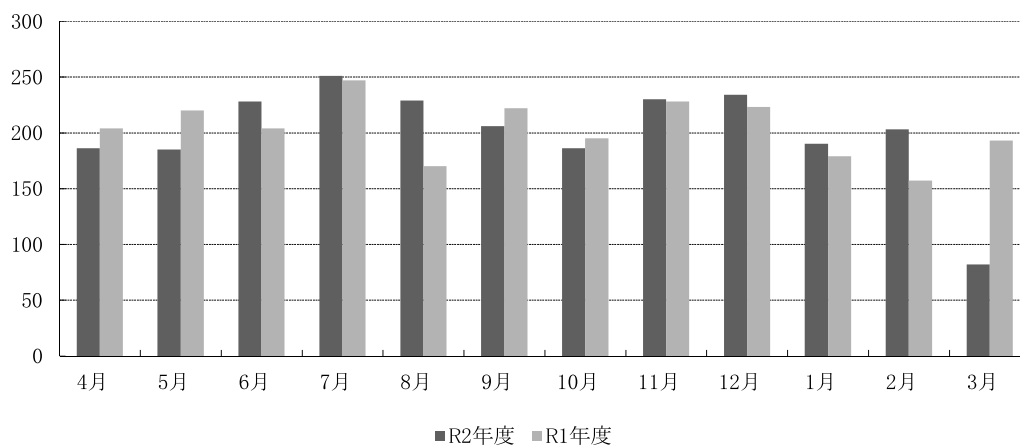
骨密度検査



CT 検査集計

	CT					計	前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	健診	福寿	ますみ		前年	前年比	増減		
4 月	116	68	0	2	0	186	204	91.2%	-18	23	8
5 月	120	59	4	2	0	185	220	84.1%	-35	20.5	9
6 月	156	62	9	1	0	228	204	111.8%	24	24	10
7 月	164	83	2	2	0	251	247	101.6%	4	23	11
8 月	156	69	2	2	0	229	170	134.7%	59	21	11
9 月	136	67	1	2	0	206	222	92.8%	-16	22	9
10 月	127	56	0	3	0	186	195	95.4%	-9	24.5	8
11 月	136	85	3	6	0	230	228	100.9%	2	21	11
12 月	165	65	0	4	0	234	223	104.9%	11	23.5	10
1 月	115	68	3	3	1	190	179	106.1%	11	21	9
2 月	116	79	4	4	0	203	157	129.3%	46	22	9
3 月	56	25	0	1	0	82	193	42.5%	-111	26	3
合 計	1,563	786	28	32	1	2,410	2,442	98.7%	-32	271.5	9

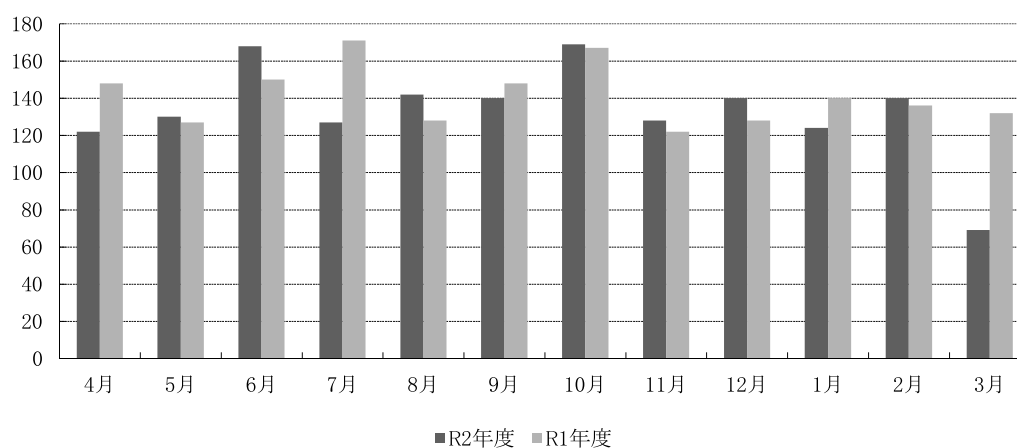
CT検査



MRI 検査集計

	MRI						前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	健診	福寿	ますみ	計	前年	前年比	増減		
4 月	86	33	1	2	0	122	148	82.4%	-26	23	5
5 月	100	25	5	0	0	130	127	102.4%	3	20.5	6
6 月	127	34	7	0	0	168	150	112.0%	18	24	7
7 月	103	20	4	0	0	127	171	74.3%	-44	23	6
8 月	104	32	6	0	0	142	128	110.9%	14	21	7
9 月	111	28	1	0	0	140	148	94.6%	-8	22	6
10 月	125	36	7	0	1	169	167	101.2%	2	24.5	7
11 月	102	21	5	0	0	128	122	104.9%	6	21	6
12 月	106	31	3	0	0	140	128	109.4%	12	23.5	6
1 月	81	38	5	0	0	124	140	88.6%	-16	21	6
2 月	102	35	3	0	0	140	136	102.9%	4	22	6
3 月	51	18	0	0	0	69	132	52.3%	-63	26	3
合 計	1,198	351	47	2	1	1,599	1,697	94.2%	-98	271.5	6

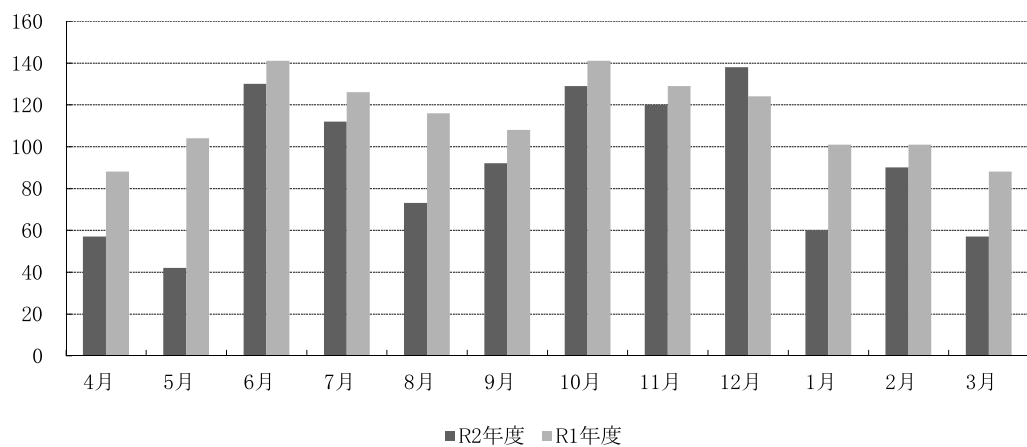
MRI検査



TV 検査集計

	TV					計	前年比較			稼働日 数	AV
	外来	病棟	健診	福寿	ますみ		前年	前年比	増減		
4月	0	10	47	0	0	57	88	64.8%	-31	23	2
5月	1	4	36	1	0	42	104	40.4%	-62	20.5	2
6月	7	10	113	0	0	130	141	92.2%	-11	24	5
7月	0	8	103	1	0	112	126	88.9%	-14	23	5
8月	2	2	69	0	0	73	116	62.9%	-43	21	3
9月	0	9	81	2	0	92	108	85.2%	-16	22	4
10月	2	4	123	0	0	129	141	91.5%	-12	24.5	5
11月	1	8	111	0	0	120	129	93.0%	-9	21	6
12月	3	5	130	0	0	138	124	111.3%	14	23.5	6
1月	1	6	53	0	0	60	101	59.4%	-41	21	3
2月	2	6	81	1	0	90	101	89.1%	-11	22	4
3月	1	6	50	0	0	57	88	64.8%	-31	26	2
合 計	20	78	997	5	0	1,100	1,367	80.5%	-267	271.5	4

TV検査



2020 年度(R2 年度)検体検査

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
生化学	HITACHI 7180	2,108	2,002	2,358	2,592	2,253	2,374	2,390	2,374	2,411	1,909	2,046	2,296	27,113
	HLC723G11	635	626	741	845	663	716	757	724	714	580	582	686	8,269
	生化学 その他	20	17	15	25	20	25	27	27	28	23	21	26	274
血液	XN1000	997	951	1,176	1,227	1,109	1,132	1,187	1,170	1,203	910	1,072	1,120	13,254
	目視	135	134	170	140	130	141	140	141	171	122	178	154	1,756
	CS1600	123	118	118	180	147	144	129	176	164	136	161	187	1,783
	血液 その他合計	25	25	23	39	30	23	27	24	30	15	15	28	304
免疫	AIA600 II	413	396	427	489	417	425	420	456	479	410	460	515	5,307
	免疫 その他合計	57	70	101	87	108	82	86	103	102	107	96	101	1,100
尿	US2200	696	688	950	994	793	862	1,049	965	964	748	760	941	10,410
	沈渣	389	375	470	496	445	409	495	459	475	404	386	427	5,230
	尿 その他合計	20	18	21	24	24	22	23	34	32	21	23	19	281
一般	OC-SENSOR io	171	163	360	363	257	300	423	353	265	110	133	172	3,070
	一般 その他合計	37	45	71	62	63	58	41	58	159	169	125	130	1,018
輸血	不規則抗体	6	8	8	5	6	3	9	4	9	2	1	1	62
	実施のべ人数	6	8	9	4	7	5	11	5	8	3	2	2	70

検体数を計算しています

8.25 より XT2000i→XN1000、COAGTORON→CS1600 へ機器更新

5.13 より尿中肺炎球菌・尿中レジオネラ、9.28 より新型コロナ抗原、3.4 より新型コロナ PCR 院内測定開始

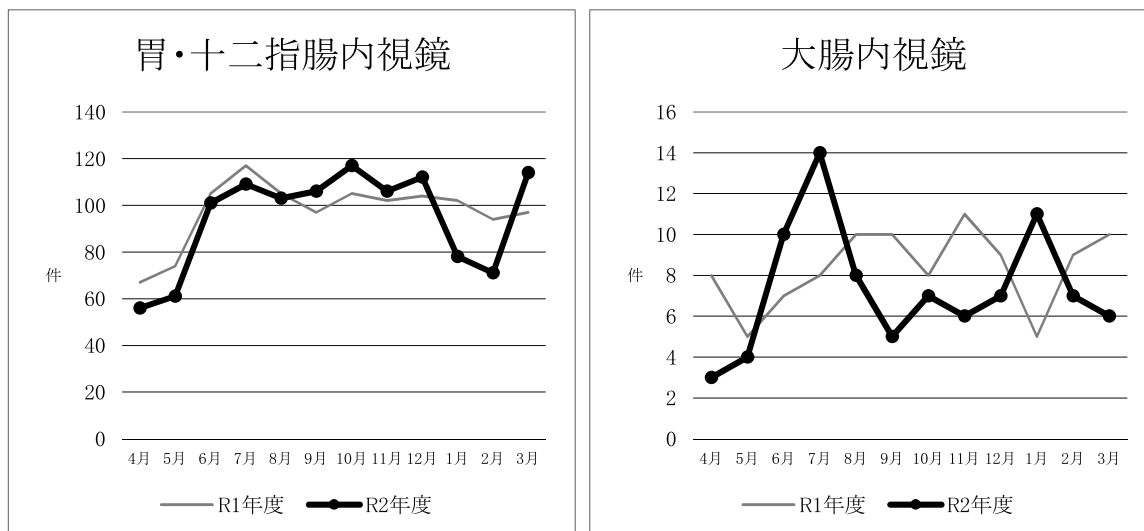
2020 年度(R2 年度)生理機能検査

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
心電図検査	338	336	490	504	392	484	603	523	515	384	458	553	5,580
ホルター心電図	18	8	6	9	3	6	6	7	11	9	7	7	97
負荷心電図	3	1	3	6	5	4	4	5	6	2	1	0	40
脈波伝達速度	12	10	10	14	12	6	20	10	20	12	13	27	166
腹部超音波検査	26	23	26	26	22	27	32	32	31	30	34	39	348
心臓超音波検査	21	16	16	23	23	13	23	14	27	24	27	29	256
頸動脈超音波検査	4	6	5	12	7	8	6	9	5	8	8	12	90
甲状腺超音波検査	1	2	3	1	2	2	0	1	2	1	1	2	18
下肢静脈超音波検査	4	0	2	7	6	6	4	3	4	4	3	5	48
脳波	8	6	5	6	6	4	9	7	10	12	12	9	94
脳誘発電位検査	0	1	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	6
神経筋機能検査	4	6	6	4	0	8	7	4	10	4	0	6	59
眼科検査	27	24	117	140	128	120	141	93	96	61	29	44	1,020
肺機能検査	7	10	5	50	54	30	46	29	33	11	12	15	302
睡眠時検査	2	3	2	3	1	1	3	2	0	5	2	3	27
耳鼻科検査 関連	3	3	7	14	7	2	8	9	16	15	26	37	147

検診件数も含む(ただし腹部超音波検査 検診検査技師実施分除外)

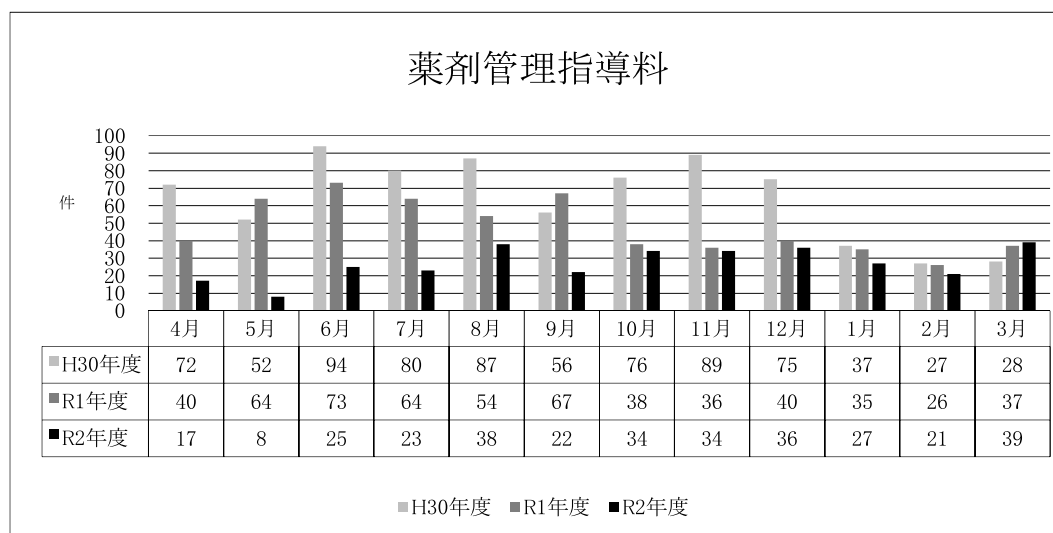
耳鼻科関連検査 言語聴覚士実施分除外

内視鏡実施件数



薬剤管理指導件数 380 点、325 点 324 件

※ 2 病棟(50 床)・療養病棟(31 床⇒27 床)対象



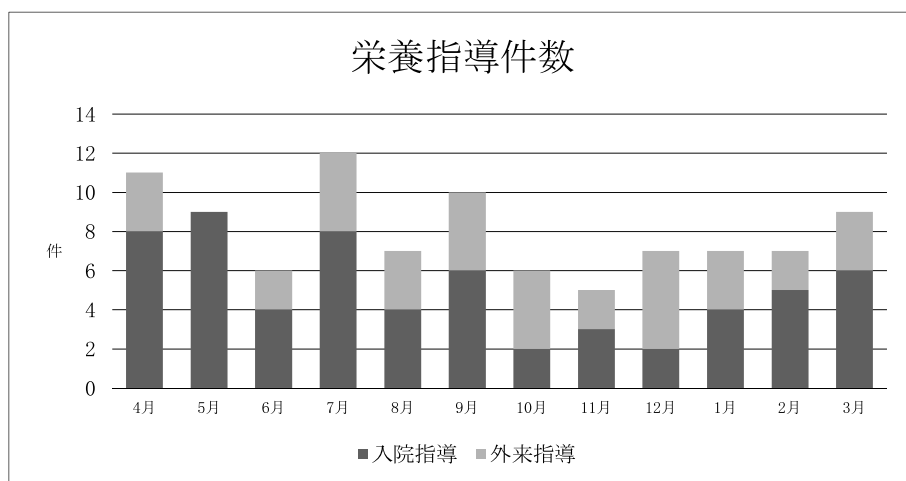
退院時薬剤情報管理指導料(退院時に算定) 90 点 105 件

※ 2 病棟(50 床)・療養病棟(31⇒27 床)対象

病棟薬剤業務実施加算(入院基本料への加算) 100 点 / 週 1 回

※ 2 病棟(50 床)・療養病棟(31⇒27 床)対象

栄養指導件数



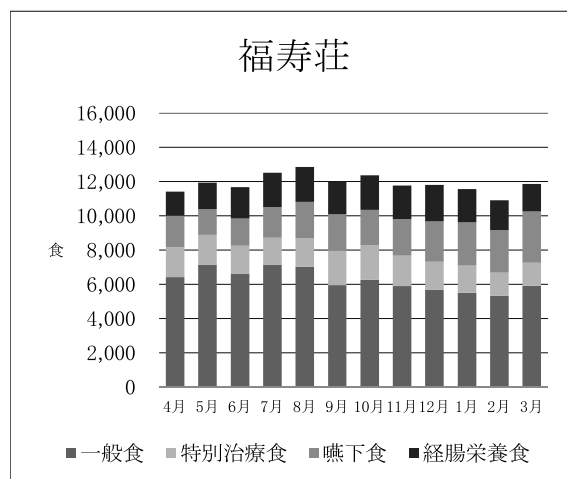
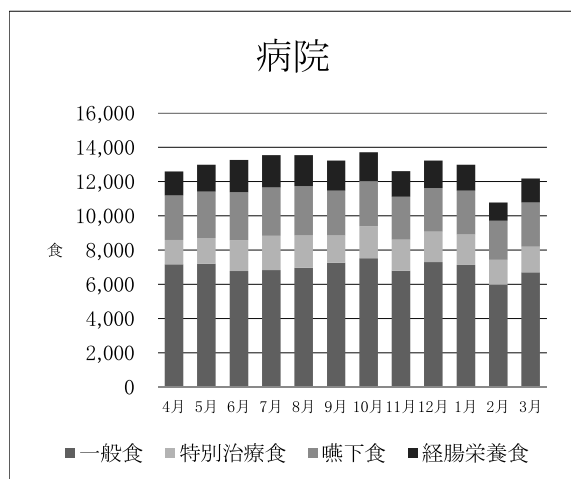
提供食数 集計（一般食・特別治療食・嚥下食・経腸栄養食）

病院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般食	10,291	10,340	10,396	11,192	10,757	10,282	10,377	9,721	10,152	10,639	10,096	11,128
特別治療食	2,367	2,109	2,122	2,196	2,871	2,647	2,567	2,945	2,434	2,199	2,186	2,581
嚥下食	1,172	824	799	1,311	1,702	1,636	1,737	1,632	2,151	2,170	1,915	1,800
経腸栄養食	3,981	4,233	4,439	4,717	4,959	4,366	4,325	4,734	4,691	4,727	4,869	5,195
計	17,811	17,506	17,756	19,416	20,289	18,931	19,006	19,032	19,428	19,735	19,066	20,704

福寿荘

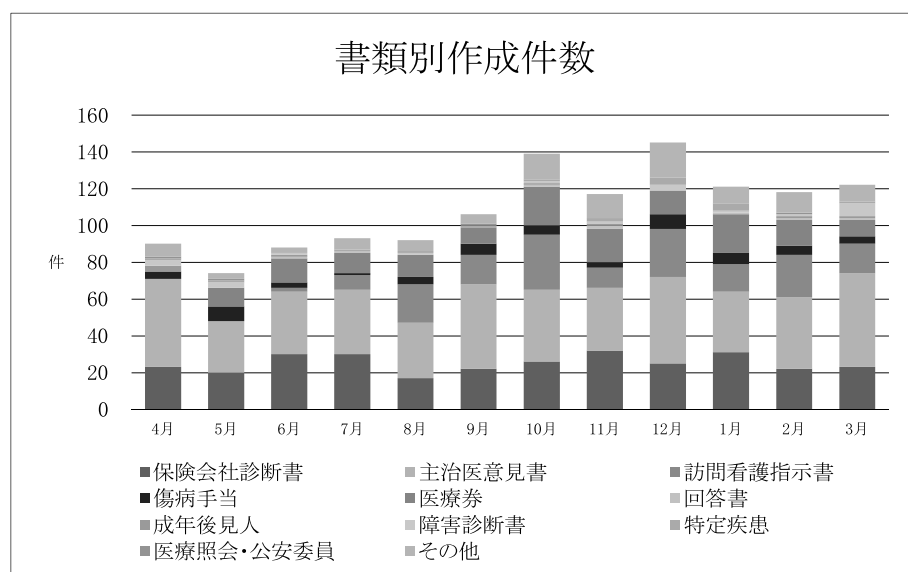
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般食	7,164	7,191	6,765	6,827	6,955	7,254	7,521	6,786	7,303	7,125	5,963	6,700
特別治療食	1,428	1,503	1,809	2,001	1,889	1,586	1,874	1,817	1,763	1,770	1,465	1,495
嚥下食	2,588	2,708	2,788	2,821	2,877	2,623	2,632	2,512	2,541	2,569	2,270	2,585
経腸栄養食	1,413	1,582	1,888	1,890	1,818	1,753	1,685	1,491	1,613	1,513	1,070	1,385
計	12,593	12,984	13,250	13,539	13,539	13,216	13,712	12,606	13,220	12,977	10,768	12,165



医療秘書課 書類作成状況

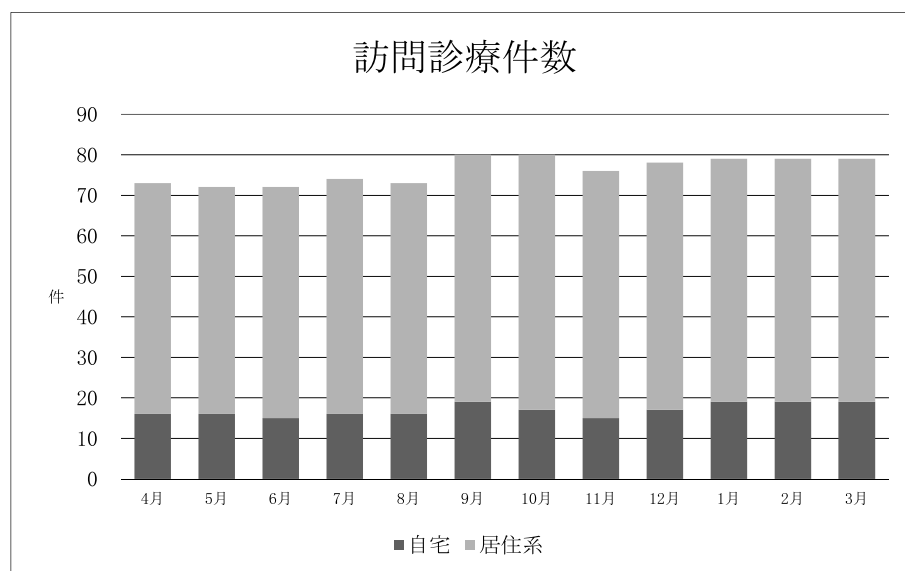
預かり書類別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総件数
保険会社診断書	23	20	30	30	17	22	26	32	25	31	22	23	301
主治医意見書	48	28	34	35	30	46	39	34	47	33	39	51	464
訪問看護指示書	0	0	2	8	21	16	30	11	26	15	23	16	168
傷病手当	4	8	3	1	4	6	5	3	8	6	5	4	57
医療券	0	10	13	11	12	9	21	18	13	21	14	9	151
回答書	0	0	1	1	0	0	1	2	0	1	1	1	8
成年後見人	3	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	8
障害診断書	3	3	1	0	1	0	1	1	3	1	1	7	22
特定疾患	1	1	0	1	1	1	1	2	4	4	0	1	17
医療照会・公安委員	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4
その他	7	3	3	6	6	5	14	13	19	9	11	9	105
作成件数 (医療秘書課)	90	74	88	93	92	106	139	117	145	121	118	122	1,305



訪問診療件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自宅	16	16	15	16	16	19	17	15	17	19	19	19
居住系	57	56	57	58	57	61	63	61	61	60	60	60
合計	73	72	72	74	73	80	80	76	78	79	79	79



健康診断受診者

	ドック人数			一般健診人数			企業外健診人数			倉敷けんしん (市民健診)人数			産業医件数		
	H30 年度	R1 年度	R2 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
4 月	112	132	88	197	153	141	372	411	383	0	0	0	12	12	13
5 月	140	161	120	263	228	155	300	248	336	0	0	0	12	12	13
6 月	220	204	190	209	272	230	132	117	88	240	172	246	12	12	13
7 月	192	200	191	181	202	251	255	263	299	187	195	189	12	12	13
8 月	182	168	129	134	197	142	287	312	322	134	154	146	12	12	13
9 月	147	156	157	153	223	212	941	753	1,033	136	209	143	12	12	13
10 月	238	172	200	223	184	218	704	1,095	779	270	267	280	12	12	13
11 月	168	171	182	234	207	193	397	415	435	300	288	237	12	12	13
12 月	156	193	220	152	159	131	80	46	119	193	148	182	12	12	13
1 月	162	159	104	120	161	99	82	89	125	200	259	171	12	12	12
2 月	166	178	171	144	136	137	33	62	50	2	7	7	12	12	12
3 月	148	191	225	207	212	194	406	336	393	9	3	3	12	12	12
年 合 計	2,031	2,085	1,977	2,217	2,334	2,103	3,989	4,147	4,362	1,671	1,702	1,604	144	144	153

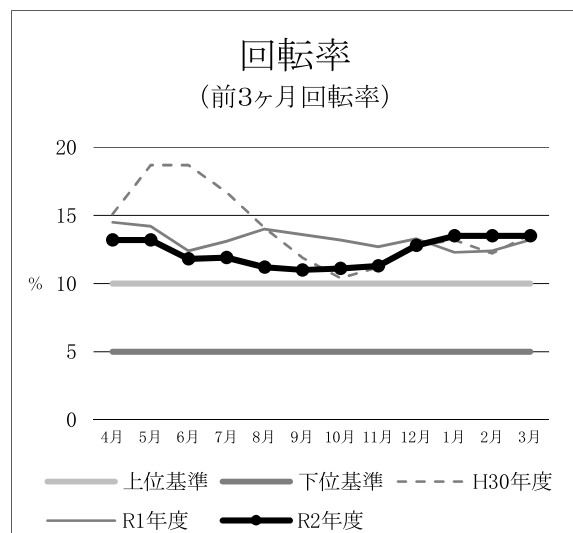
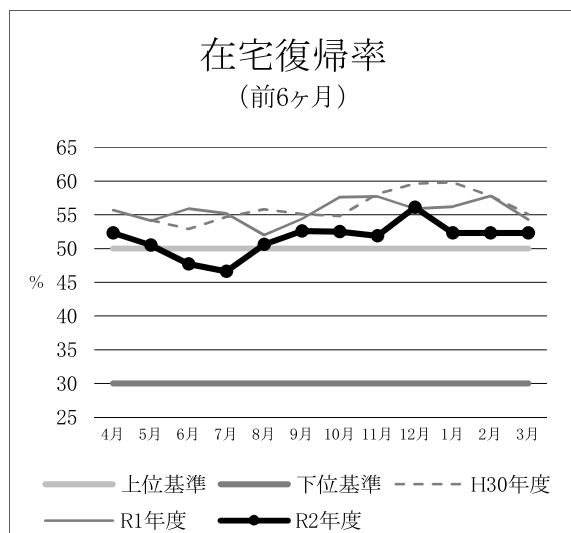
福寿荘

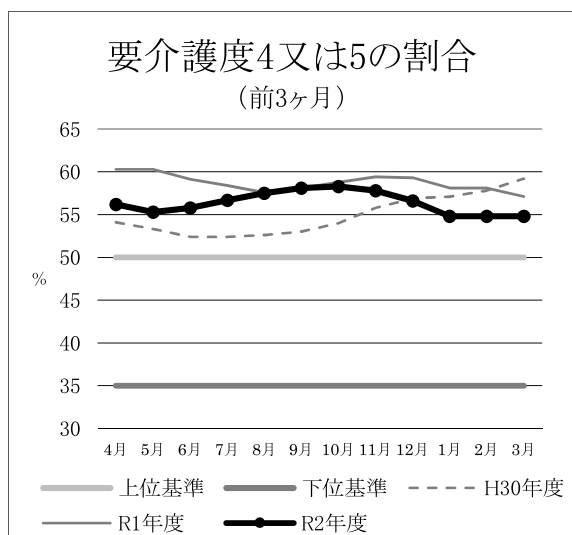
入所内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自宅、在宅系施設	3	7	6	6	5	5	5	8	7	3	1	3	59
記念病院	5	6	2	6	7	8	9	5	12	2	5	8	75
第一病院	1	1	2	1	1	2	0	2	3	0	1	2	16
他医療機関	3	1	5	3	2	3	4	2	1	1	2	4	31
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所合計	12	15	15	16	15	18	18	17	23	6	9	17	181
新規入所者数	7	10	12	11	11	14	9	12	14	0	4	8	
新規入所者の割合	58.3%	66.7%	80.0%	68.8%	73.3%	77.8%	50.0%	70.6%	60.9%	0.0%	44.4%	47.1%	

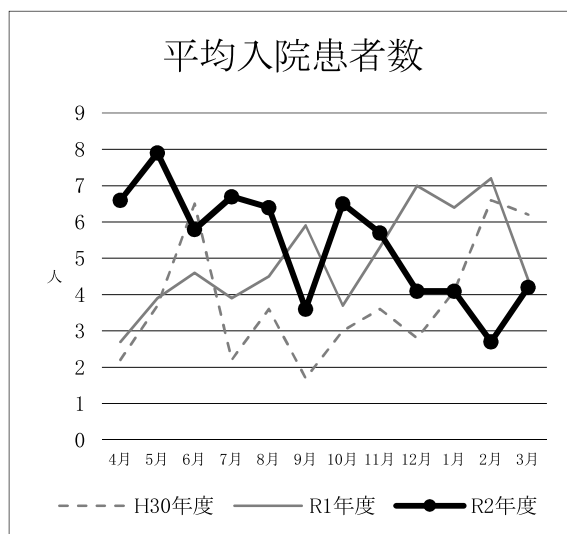
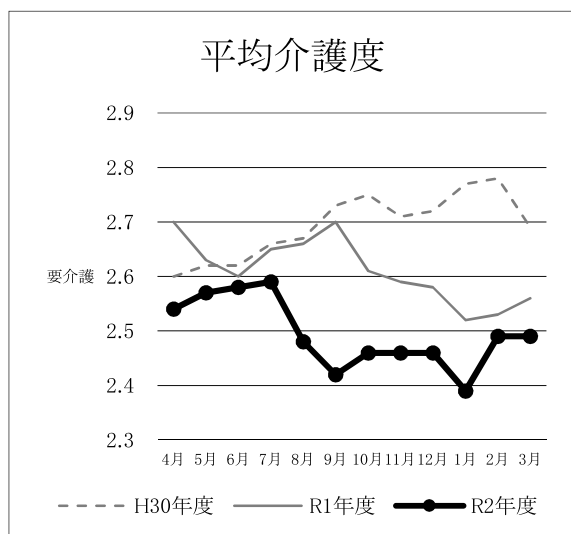
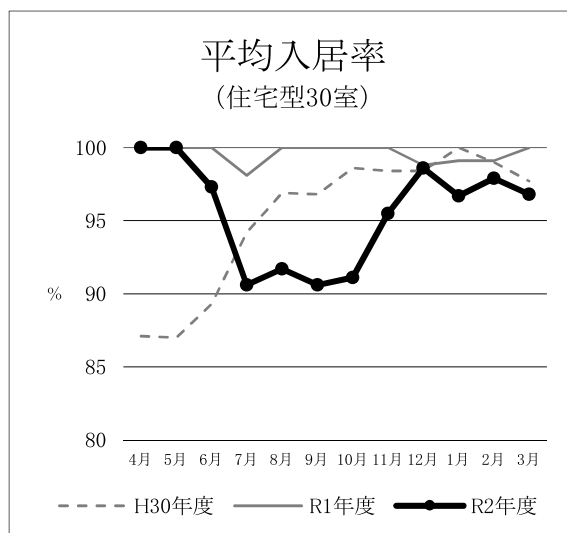
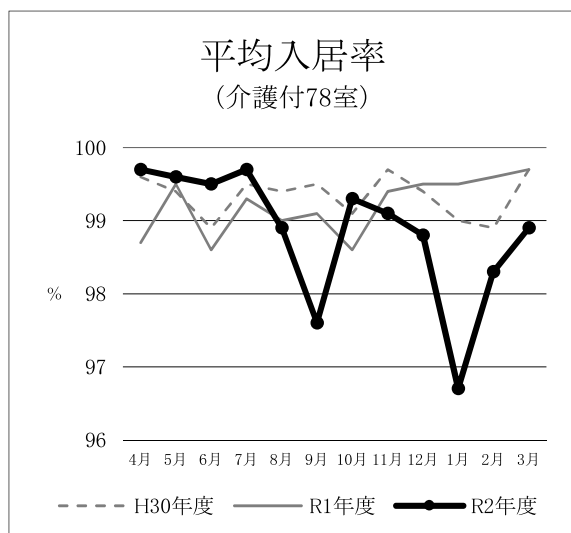
退所内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合(%)
在宅(1ヶ月以上)	9	4	7	8	6	8	7	10	6	0	0	12	77	48.1%
在宅(1ヶ月未満)	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	2.5%
医療機関	9	2	4	5	6	6	7	6	13	9	6	7	80	50.0%
介護老人保健施設	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.6%
介護老人福祉施設	2	3	1	0	0	0	2	1	2	1	1	3	16	10.0%
死亡	4	1	2	3	0	1	1	4	1	1	0	6	24	15.0%
退所合計	24	12	15	16	13	15	17	21	22	12	7	28	202	
在宅復帰率	45.0%	36.4%	53.8%	61.5%	50.0%	57.1%	43.8%	58.8%	28.6%	0.0%	0.0%	54.5%	40.8%	

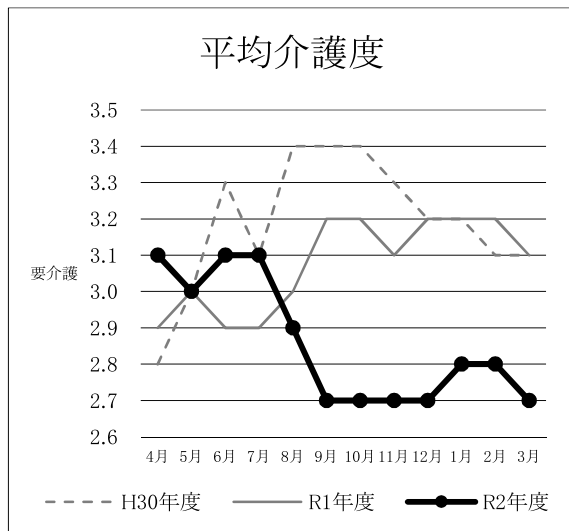




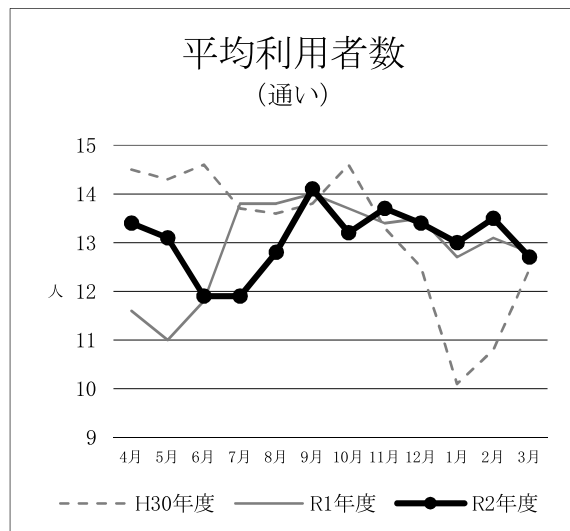
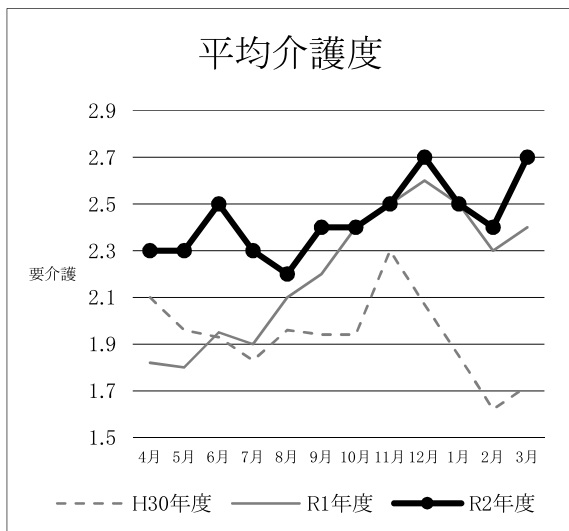
有料老人ホームせいわ



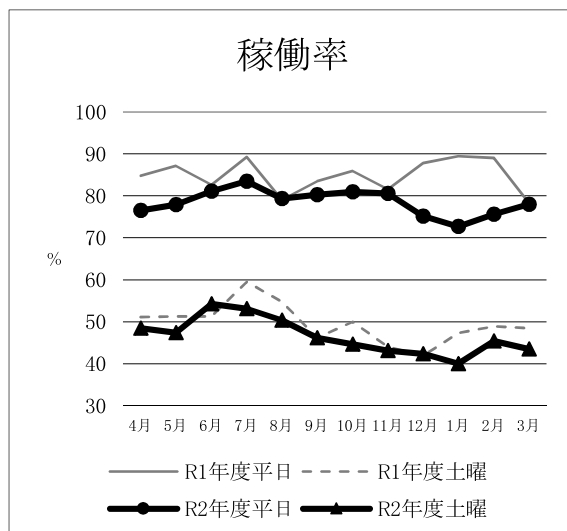
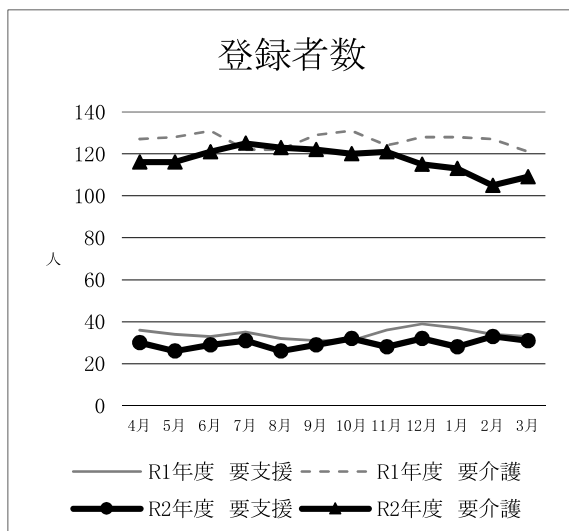
グループホーム コージー



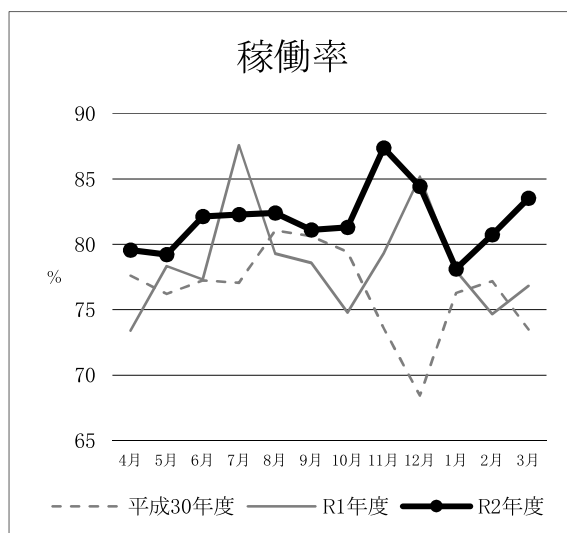
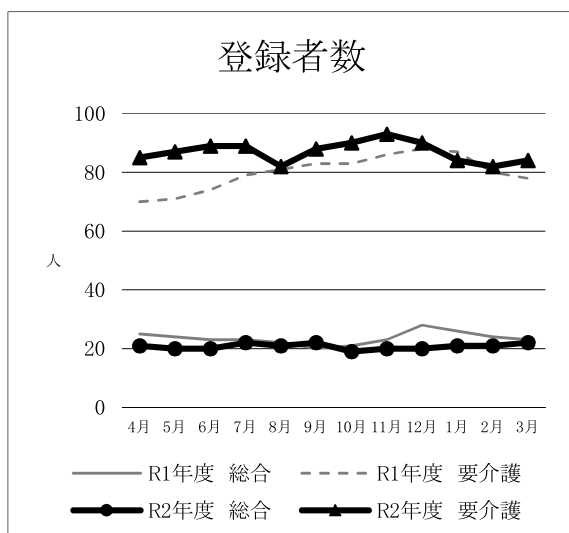
小規模多機能 和



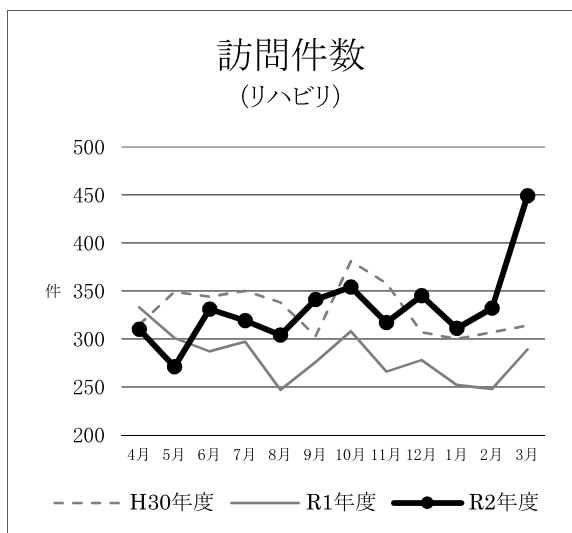
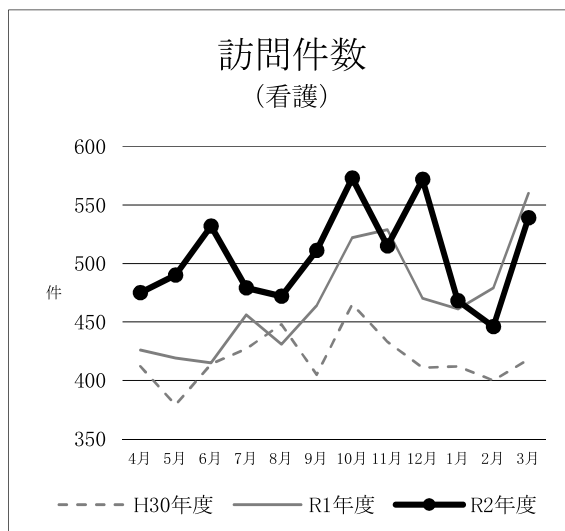
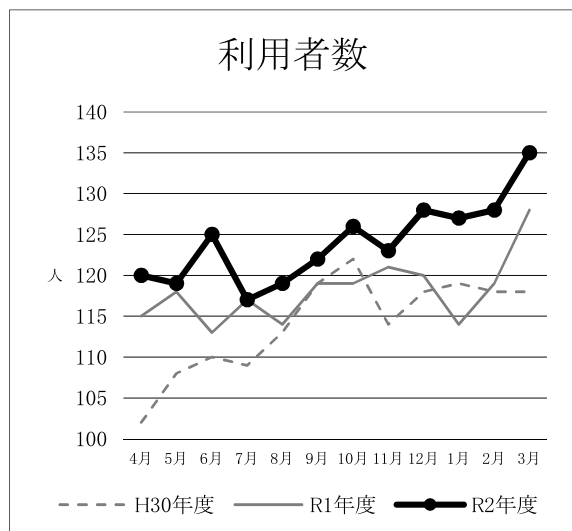
通所リハビリ



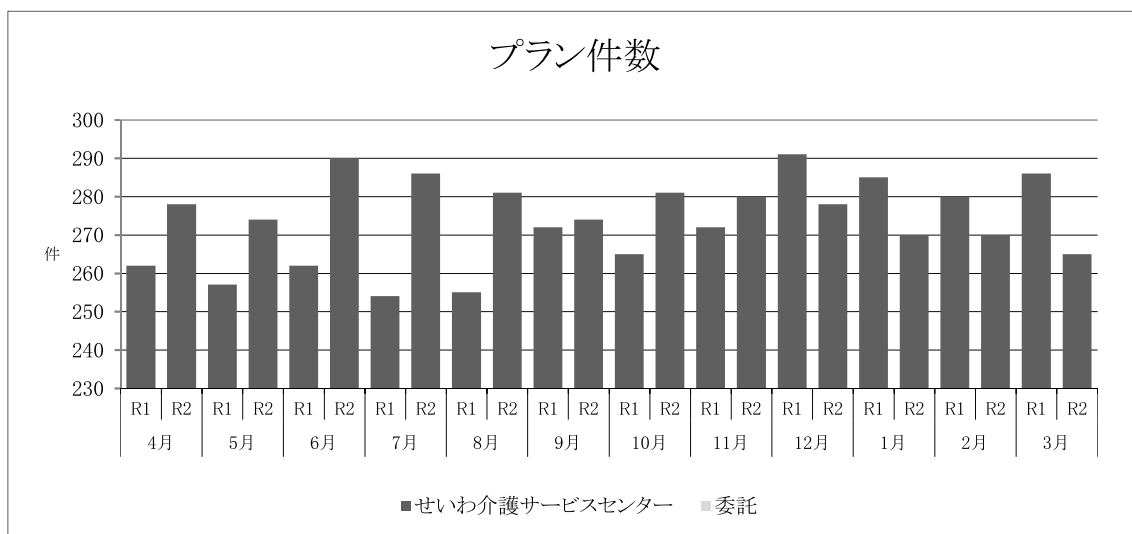
デイサービス



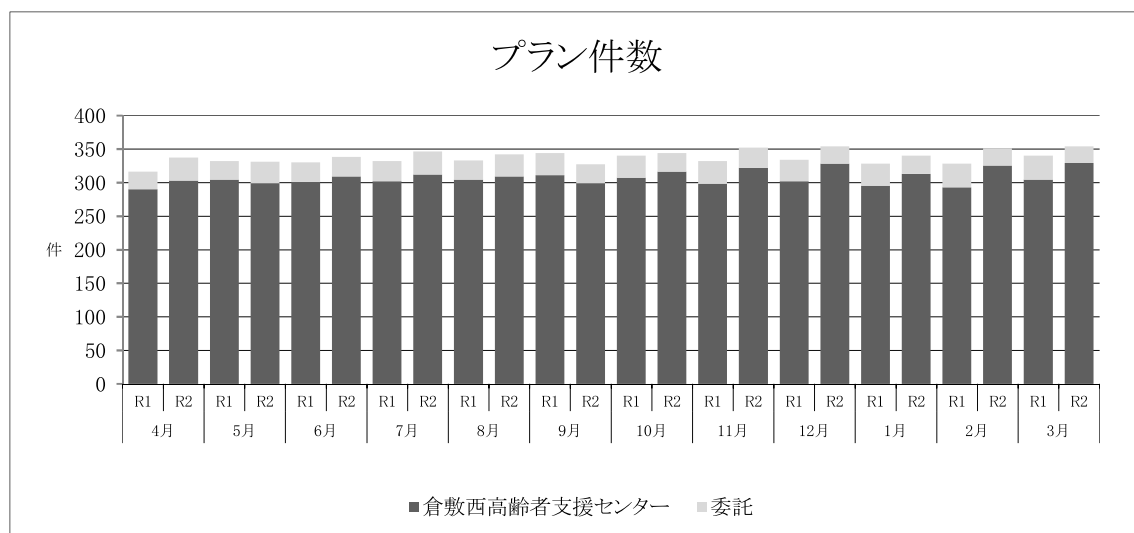
訪問看護ステーション



せいわ介護サービスセンター



倉敷西高齢者支援センター



活動報告

1. 診療案内（令和3年6月現在）

循環器内科



理事長

こいで ひさし
小出 尚志

昭和54年 大阪医科大学卒
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器病学会認定循環器専門医
日本医師会認定 産業医
大阪医科大学 非常勤講師



循環器内科部長

よしだ じゅんじ
吉田 潤史

平成13年 香川医科大学卒
医学博士
日本循環器学会循環器専門医
日本内科学会認定内科医

診療内容と科の特色

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)、高血圧、心不全、不整脈、などを中心に、心臓疾患全般を対象として幅広く入院・外来診療しています。また、虚血性心疾患の危険因子としての生活習慣病(糖尿病、高コレステロール血症、痛風、肥満など)についても診療と生活指導をしています。外来診療ならびに検査は予約制をとっていますが、緊急時は随時診療いたします。

循環器領域のリハビリテーションとして2013年より適応の心大血管疾患に対して心臓リハビリテーション(外来・入院)を実施しています。

当院では倉敷中央病院をはじめとした地域医療機関と心不全治療の地域連携を進めており、倉敷地域心不全の会発行の心不全手帳を活用しております(心不全手帳は当院でも発行が可能です)。

循環器領域におけるほとんどの非観血的検査に対応しています(下記検査の項を参照ください)。しかし、1.CAG、その他の血管造影ならびにPCI、2. EPSならびにcatheter ablation、3.経食道心エコー、4.心嚢水穿刺・ドレナージ、5.心筋生検、6.心・血管系の外科手術などの特殊な診断・治療については、高度医療機器と医療チームの対応可能な病院(倉敷中央病院、川崎医科大学附属病院、岡山大学附属病院)と連携して診療しています。

主な検査、診断機器とその説明

非観血的検査・診断

1. 心電図(安静時、運動負荷心電図:マスター、トレッドミル)
2. 超音波検査(心エコー:M,Bモード、ドップラー、血管エコー)
3. 24時間ホルター心電図
4. 24時間携帯型血圧自動測定器

消化器・肝臓内科



訪問診療部部长

さくらい めぐむ

櫻井 恵

昭和54年 川崎医科大学卒

日本内科学会認定内科認定医

日本内科学会認定総合内科専門医

日本医師会認定産業医



内科部長

みやけ まさのぶ

三宅 正展

平成1年 山口大学卒

医学博士

日本内科学会認定内科医

日本内科学会認定総合内科専門医・指導医

日本肝臓学会認定肝臓専門医

日本消化器病学会認定消化器病専門医

日本消化器内視鏡学会認定

消化器内視鏡専門医・指導医

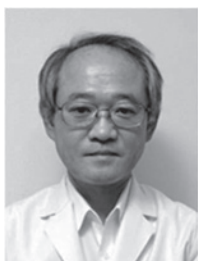
日本消化管学会胃腸科専門医・暫定指導医

日本医師会認定産業医

日本消化器病学会中国地区評議員

日本消化器内視鏡学会中国地区評議員

ヘリバクター学会 H.Pylori 感染症認定医



おの かつし

大野 勝志

平成8年 鳥取大学卒

診療内容と科の特色

消化管(食道、胃、十二指腸、小腸、大腸)、胆嚢、肝臓、膵臓疾患を担当しています。検査を目的とする紹介にも対応しております。

消化器疾患

各種の消化管疾患に対して、上部消化管透視、上部・下部消化管内視鏡検査、超音波、CT、MRI 等を使用して診断及び治療を行っております。ピロリ菌除菌治療も行っています。

肝疾患

各種肝疾患の診断・病態・病期の把握を行い、各患者様の病状に沿った治療を行います。肝炎専門一次医療機関として助成金を申請しての経口抗ウイルス剤による肝炎治療も行っています。慢性肝疾患患者では、定期的に腹部超音波検査やCT検査を行い、癌の早期発見に努めています。脂肪肝、NASH にも対応しています。特殊なケースの確定診断や、癌の集学的治療は、倉敷第一病院・松田病院・倉敷中央病院・川崎医科大学附属病院・岡山済生会総合病院・岡山大学医学部附属病院・岡山赤十字病院などと連携して患者様がより適切な治療が受けられるようにしています。高度専門医療機関の肝疾患患者の平素の肝臓治療や投薬・注射をお引き受けしたり、診療所にかかっておられる肝疾患患者の定期的画像診断や増悪期の入院加療をお引き受けしています。

主な検査、診断機器とその説明

上部・下部消化管内視鏡検査(毎日、予約制)

消化管の出血やポリープ、早期がんへの EMR 等の内科的治療が可能です。NB1 および拡大内視鏡を使用し診断の質の向上に努めています。

腹部超音波検査(毎日、予約制)

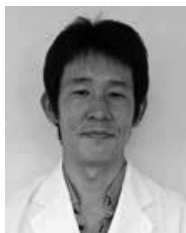
肝臓・胆嚢・胆管・膵臓・脾臓・腎臓消化管などの腹部臓器の検査を行います。必要に応じ、造影超音波検査も行っています。

腹部CT検査(毎日、随時)

16 チャンネルマルチスライスCTを使用したダイナミックCT検査により癌の早期発見に努めています。

MRI(1.5 テスラ)を使用した EOB-MRI、MRCP による肝・胆道系・膵精査も可能です。

肝胆膵



とみやま やすゆき
富山 恭行

(非常勤)

平成 14 年 川崎医科大学卒

医学博士

日本内科学会認定内科医、指導医、中国支部評議員

日本消化器病学会専門医、指導医、中国支部評議員

日本肝臓学会専門医、指導医、西支部評議員

日本化学療法学会抗菌化学療法認定医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医、教育責任者

日本感染症学会インфекションコントロールドクター (ICD)

日本医師会認定産業医

経皮的肝生検(入院対応)

局所麻酔にてエコーガイド下に採取部位を確認しながら経皮的肝生検を実施します。組織診断は、NASH (非アルコール性脂肪肝炎) の診断に不可欠であり、また他の多くの肝疾患の確定診断・予後判定・治療法の選択にも有用です。

呼吸器内科



副院長 診療部長

や の たつとし
矢野 達俊

昭和 61 年 川崎医科大学卒
医学博士

日本内科学会認定内科医

日本内科学会認定総合内科専門医

日本呼吸器学会認定専門医

日本呼吸器内視鏡学会認定気管支鏡専門医

ICD制度協議会認定

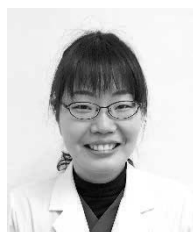
インфекションコントロールドクター

日本医師会認定産業医

日本化学療法学会認定抗菌化学療法認定医

日本禁煙学会認定禁煙専門指導者

日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医



さわき せいか
澤木 聖佳

平成 25 年 広島大学卒

日本内科学会認定内科医

診療内容と科の特色

呼吸器疾患を中心に循環器疾患もあわせて診察を行っております。特に慢性咳嗽の診断、治療、気管支喘息に対する吸入療法の推奨、COPD（肺気腫、慢性気管支炎）に対する禁煙指導や治療、画像診断による肺癌の早期発見、肺炎などの感染症治療、などに力を入れております。また呼吸器に関連した高血圧、心臓疾患の診断、治療も行っております。さらに睡眠時無呼吸症候群の診断、治療も神経内科と耳鼻科との協力の上行っております。

酸素療法を必要とする慢性呼吸不全患者様に対して、在宅酸素療法を導入、管理も積極的に対応しております。

主な検査、診断機器とその説明

胸部レントゲン写真、CT検査

肺炎、肺癌、アレルギー疾患などの画像診断を行います。最近の高解像度のCTにより、細かな病変まで描出可能となっております。また造影を行うことで、縦隔リンパ節や胸部血管の異常診断を行います。

肺機能検査

肺活量や1秒量などの肺機能を測定する検査です。COPD、喘息や間質性肺炎などの診断に利用しています。

呼気中NO検査

気管支喘息の診断に用います。

糖尿病内科



栄養治療(NST)部長

はやし さとみ
林 里美

平成2年 岡山大学卒
日本静脈経腸栄養学会
日本プライマリ・ケア連合学会

診療内容と科の特色

糖尿病・高血圧など慢性の生活習慣病を中心に一般内科外来診療を行っています。食事や運動など、患者さんが自分でコントロールしていけるような生活指導に重点を置いて、生活の見える外来診療を行っています。

糖尿病教室は月に1度、昼間の時間ですが、10年以上継続して実施しています。患者さんのニーズに合わせた様式や内容で、最近はグループワークや体操教室、食事会などをスタッフとともに案を練って、患者さんが自ら参加し持ち帰る実の多い会を目指しています。

また、院内ではNST(栄養サポートチーム)の医師として、入院患者さんの栄養管理を軸に摂食嚥下、褥創、PEG、リハビリなど院内の他のチームとの連携を取りながら、患者さんが最も有効に治療が受けられるよう支援しています。

一方、療養病棟を主に回復期や維持期にある患者さんの退院後の生活を見越した医学的管理と介護サービスの調整を行い、スムーズに退院後の生活になじめるようお手伝いさせていただいています。

医療のどの場面でも生活者としての、疾患を抱えた患者さんが自分で疾患を理解・管理し暮らしていけるよう、スタッフとともに援助することを心がけて診療に当たっています。

内科



院長

おかざき もりひろ
岡崎 守宏

昭和 55 年 岡山大学卒

医学博士

日本内科学会認定内科医

日本内科学会認定総合内科専門医

日本消化器病学会認定消化器病専門医

日本人間ドック学会認定人間ドック認定医

日本総合健診医学会・日本人間ドック学会認定人間
ドック健診専門医

診療内容と科の特色

内科は、専門領域を限定せず幅広く一般的な内科疾患の診断、専門領域への振り分け、また生活習慣病を中心とした慢性疾患の治療などを主体として診療しています。

外来では、初診、予約外受診の患者さんを総合内科外来で診察し、血液生化学検査、画像検査、内視鏡検査、生理検査などを通じて総合的に疾患の正しい診断を行い、治療の方向性を図るよう努めています。また、慢性疾患については主に予約外来で診療しています。



内科部長

にしもと ひろし
西本 弘

昭和 58 年 鳥取大学卒

医学博士

日本内科学会総合内科専門医

日本消化器病学会専門医

日本肝臓学会専門医

日本透析医学会専門医

脳神経内科 物忘れ外来



脳神経内科部長

やすだ たけし
安田 雄

昭和 52 年 川崎医科大学卒
医学博士
日本内科学会中国地区評議員
日本薬物脳波学会評議員など

診療内容と科の特色

脳神経内科疾患全般にわたり幅広く診療しています。意識障害、認知症、頭痛、痙攣、めまい、運動麻痺、感覚障害、歩行や平衡障害、筋萎縮、筋肉痛などの症状の精査を行っています。主要疾患としては脳血管障害、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、多発性硬化症、重症筋無力症、進行性ジストロフィー症、多発筋炎、ニューロパチー、てんかんなどです。

主な検査、診断機器とその説明

電気生理学的検査の機器は充実していて、脳波はデジタル脳波計を使用しており、異常部位の検出やその程度をコンピューターで解析しています。また、経頭蓋磁気刺激装置を使用しての、錐体路障害の定量的測定をしています。毎水曜日午後は予約制の電気生理外来を行っていて、御紹介いただければ、その日のうちに結果を御報告するよう心掛けています。また血小板凝集能検査は特別の解析機器を使用し、ADP、collagen 凝集能を grading curve で表示し、PATI(platelet aggregatory threshold index:血小板凝集閾値係数)という新しいパラメーターを用いて詳細に解析しています。抗血小板療法を施行されていて、至適な療法がなされているか否かの判定を御希望なら、いつでも連絡していただければ、検査施行日にその結果を御報告いたします。片側顔面痙攣や眼瞼痙攣に対してのボトックス療法も実施しています。そして睡眠時無呼吸症候群(SAS)の精査・治療も行っていますので、御紹介いただければ幸甚です。

整形外科



整形外科部長

ひの ようすけ
日野 洋介

昭和 53 年 川崎医科大学卒
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医



かわもと とよひろ
河本 豊広

(非常勤)
平成 21 年 川崎医科大学卒
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定リハビリテーション医



さとう りょう
佐藤 諒

(非常勤)
平成 30 年 川崎医科大学卒

診療内容と科の特色

当科では整形外科一般を診療対象としています。

病院の特徴のひとつに高齢の患者さんが多いことがあげられます。そのため、骨粗鬆症性脊椎骨折や仙骨、恥骨などの脆弱性骨折、その他の不顕性骨折など骨脆弱に基づく骨折を扱う機会が増えています。椎体圧迫骨折は発症早期の診断や新旧の判断は X 線写真では難しい例も多く、MRI 診断が欠かせません。

椎体骨折では遅発性脊髄麻痺、偽関節を防止することが重要です。MRI 検査で診断確定後、できるだけ入院治療としています。難しい疾患の診断や治療はできませんが、正しい判断、的確な治療選択と大規模病院ではできない当院ならではの診療を常に心がけ、また急性期後を担う病院として地域医療に貢献していきたいと思っています。

健診部



健診部診療部長
手術室管理責任者
医療安全管理部門顧問
医療連携推進部顧問

よしだ やすお
吉田 泰夫

昭和 52 年京都大学卒

診療内容と科の特色

私自身、専門は腹部消化器外科であり、食道から直腸・肛門に至るまでの消化管、肝臓、胆嚢・胆管、膵臓、脾臓の手術を行ってきました。

これまで「切るのが専門」という立場でしたが、現在は心機一転、「診る外科医」を目指しております。

外科疾患は「切らなければ治らない」ものが多いのですが、根治（完全に治してしまうこと）を求めずに、病気とうまく付き合っていくことができる疾患も多いのです。

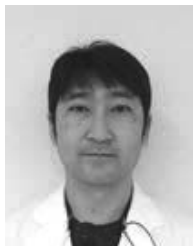
例えば腸閉塞の軽いものは食生活を改善することで、痔核・裂肛などの肛門疾患は排便のコントロールをすることで満足のいく生活が可能となります。

切らなければ治らないものは連携した基幹病院に紹介し、切らずに付き合っていけるものは私と一緒に病気と付き合っていきましょう。

消化器に限らず、ヘルニアや下肢静脈瘤、外傷などの一般外科領域についてもご相談ください。

また、消化器癌手術後は倉敷中央病院と連携して術後化学療法や経過観察のお手伝いをさせて頂くことも計画中です。

耳鼻咽喉科



耳鼻咽喉科部長

リハビリテーション部副部長

もりた のりまさ
森田 倫正

平成 11 年 川崎医科大学卒

医学博士

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医

日本耳鼻咽喉科学会認定指導医

診療内容と科の特色

平成 28 年 5 月から当院に勤務以来、耳鼻咽喉科領域全般の診療を中心に、リハビリ科と連携して、主に嚥下内視鏡検査(VE 検査)を用いた嚥下機能評価と個々の患者さんの必要に応じたリハビリおよび治療を行っています。外来での一般診療機器に加えて CT、MRI、超音波といった画像検査も迅速(受診当日)に行うことができ、様々な疾患に対応できる体制を整えております。当院では外来通院での嚥下リハビリも行うことができ、誤嚥性肺炎の患者さんのみならず、日々の食事で「のどにつかえる、飲みこしにくい、むせる」などの軽度から中等度の嚥下障害で困っている患者さんにも対応しています。

また、内視鏡下鼻副鼻腔手術をはじめ、扁桃摘出術、唾液腺手術(顎下腺、耳下腺腫瘍、唾石症など)や頸部手術、誤嚥防止術などを行っています。症例によっては日帰り手術、ショートステイでの手術も可能です。当院での治療が難しい症例に対しては、川崎医大附属病院、川崎医療センター、倉敷中央病院とも連携しつつ治療を行っています。

校医・園医

- ・倉敷市立中島小学校
- ・倉敷市立中島幼稚園
- ・清心保育園
- ・倉敷市立倉敷支援学校
- ・倉敷翠松高等学校

リハビリテーション科



リハビリテーション部統括部長

い せ まさき
伊勢 眞樹

昭和 54 年 川崎医科大学卒
医学博士
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
・専門医・指導医
厚生労働省義肢装具判定医



ひらおか たかし
平岡 崇

(非常勤)
平成 8 年 川崎医科大学卒
日本リハビリテーション医学会認定臨床医・専門医・
指導医
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士
日本医師会認定産業医
日本臨床神経生理学会認定医

診療内容と科の特色

診療内容は、リハビリテーション一般で、脳血管障害、整形疾患、内科疾患や外科的治療後、疾患のために機能低下や能力障害を認める患者様を対象に、能力の評価、リハビリテーションの処方、本人・家族への生活指導などを行い、機能の回復・能力の再獲得を目指しています。

嚥下障害に対しては、嚥下状態のチェックや嚥下造影検査(VF)、嚥下内視鏡検査(VE)にて評価し、評価に応じた安全な経口摂取を目標に摂食嚥下治療を行っていきます。

また、月曜日午前中に義肢装具診察を行い、的確な義肢装具の処方を行っています。

主な検査、診断機器とその説明

嚥下造影検査(VF 検査)

嚥下内視鏡検査(VE 検査)

回復期リハビリ病棟 専従



リハビリテーション部部長

すずき やすお
鈴木 康夫

昭和 48 年 新潟大学卒
医学博士
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医

診療内容と科の特色

私は、これまで急性期病院（新潟大学附属病院・川崎医科大学附属病院など）で脳神経外科医として、脳卒中・脳腫瘍・頭部外傷などのいろいろな疾患を診てまいりました。

平成 22 年 4 月からは、倉敷記念病院に勤務し、回復期リハビリ病棟の専従（専門）医師として、主に脳卒中の急性期後の患者さんのリハビリを担当しています。急性期病院での経験を生かし、チーム医療の一員として、個々の患者さんが少しでも元の生活に戻れるようにリハビリ診療をしています。

当院の回復期リハビリ病棟は 50 床あり、私のほかに専任として整形外科専門医、リハビリ専門医・指導医などで病棟を担当しています。

内訳は、脳疾患が 49%、骨疾患が 51%です。施設基準はもっとも優れている入院料 1 と認可され、入院期間は平均 64 日、リハビリの効率を示す実績指数は目標の 40 を上回る 68 で高く評価され、在宅復帰率は 88%と質の高いリハビリを行っています。

患者さんの退院後の生活を視野に入れ、チーム医療をさらに深化しようと思っています。

皮膚科



皮膚科部長

さわだ ふみひさ
澤田 文久

平成6年 川崎医科大学卒
日本皮膚科学会 皮膚科専門医

診療内容と科の特色

当院において皮膚科は週2回の非常勤として診療してまいりましたが平成30年4月より常勤となりました。これまで以上に患者さんと先生方のお役に立つべく努めてまいります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

皮膚は人体における最大級の面積をもつ臓器であり、内臓器を守っております。

皮膚の健康は内臓に健康につながると考え、皮膚疾患全般を軽微な障害であっても真剣に対処いたします。診断および治療抵抗性皮膚疾患に対しましては、日々指導をいただいている川崎医科大学皮膚科学教室をはじめ、基幹病院の先生方と連携を密としてまいります。

皮膚疾患は慢性化するものが多いのは事実ではありますが治療の基本である外用法や生活習慣を含めた誘因の探索の重要性などをわかりやすく説明することが症状の改善に不可欠との信念で診療にあたっております。

泌尿器科



もんでん こういち
門田 晃一

(非常勤)
昭和 63 年 愛媛大学卒
日本泌尿器科学会認定
泌尿器科指導医
日本泌尿器科学会認定
泌尿器科専門医



まるやま ゆうき
丸山 雄樹

(非常勤)
平成 26 年岡山大学卒
日本泌尿器科学会認定
泌尿器科専門医

診療内容と科の特色

当科は前立腺や腎、膀胱がんをはじめ、各種原因による排尿障害、ED 等幅広く、泌尿器科疾患全般の診療を行っています。

2004 年より倉敷市では前立腺癌検診が始まり、多くの方が PSA (前立腺癌の腫瘍マーカー) の検査(血液)を受けられました。これにより病気の早期発見が可能となりました。泌尿器科医としては非常に喜ばしいことと思っております。

高齢化社会がすすんでおりますが、高齢者にとって排尿状態の改善は非常に重要であり、患者様の QOL の向上を目指し診療を行っていきます。

主な検査、診断機器とその説明

腹部超音波検査

腎臓、膀胱、前立腺の形態や大きさを診断します。

尿流量測定

測定器に向かって排尿をしていただき、尿の勢い、排尿量を計測します。

膀胱鏡

尿道から膀胱内にカメラを挿入し、膀胱の内部を観察します。膀胱癌の診断に役立ちます。

経直腸的前立腺針生検

前述の通り 2004 年から前立腺癌検診が始まり、当科にも多くの二次検査が必要な方が受診されるようになりました。それに伴い、2004 年より、当院でも前立腺針生検を 1 泊 2 日で行っております。

癌の早期診断には非常に重要な検査です。

眼 科



くす まさよ
楠 理代

(非常勤)

平成 7 年 川崎医科大学卒
日本眼科学会認定眼科専門医



ひらおか まさかず
平岡 雅和

(非常勤)

平成 30 年 川崎医科大学卒

診療内容と科の特色

目の疾患全般を対象とします。当院の眼科は、川崎医科大学眼科学教室の関連先の一つとして機能しており、難易度の高い疾患は大学病院と連携しつつ、間口を広く、眼科の病気すべてを診療いたします。

当科の目標は、積極的な医療により、特にご高齢の方の QOL (クオリティ・オブ・ライフ: 生活の質) を少しでも上昇させることです。

主な検査、診断機器とその説明

細隙灯顕微鏡、倒像眼底鏡、直像眼底鏡、眼底カメラ、静的視野計、動的視野計、非接触型自動眼圧計、オートレフラクトメーター、ケラトメーター、角膜内皮測定装置、眼底三次元画像解析 (OCT) などがあります。

プライマリーケア



まえみょうりき まどか
前明力 窓佳

昭和 59 年 東京医科歯科大学卒

訪問診療部

訪問診療部部长

さくらい めぐむ
櫻井 恵

こいで ひさし
小出 尚志

はやし さとみ
林 里美

さわき せいか
澤木 聖佳



にしな あきら
仁科 晃

(非常勤)

昭和 62 年 愛知医科大学卒

診療内容と科の特色

当院は、機能強化型在宅療養支援病院です。

ご自宅に居ながら医療を受けることが出来る仕組みで、医師が定期的に訪問し、診療、薬の処方、療養上の相談、指導等をいたします。

あわせて訪問看護や訪問リハビリの利用もできます。

総合内科として全身を診ながら、消化器、循環器、糖尿病など専門治療を行います。

訪問診療の利点

- 1.定期的に診療を受けながら、住み慣れた自宅で過ごせます。
- 2.辛い移動や病院での待ち時間がありません。
- 3.福祉サービス(訪問介護等)の対応も可能です。

対象となる方

退院後も自宅での医療ケアが必要な方や自宅での療養を希望される方で、寝たきり状態の方、家族等の助けがないと通院ができない方です。

2. 論文

著者	タイトル	掲載誌名
		掲載号等・掲載年
安田 雄	良性成人型家族性ミオクローヌスてんかんの疾患概念	脳神経内科 2020 ; 93(3) : 281-85.
Akane Terasaki Takeshi Yasuda et al.	DNA analysis of benign adult familial myoclonic epilepsy reveals associations between the pathogenic TTCA repeat insertion in <i>SAMD12</i> and the nonpathogenic TTTA repeat expansion in <i>TNRC6A</i>	J Hum Genet 2021 ; 66 : 419-29.

3. 講演活動・学会発表

開催 日	講演・勉強会名	会 場	演 題	演 者
9/2	第 61 回日本神経学会学術大会 中四国ブロック企画 特別シンポジウム ～中国四国地域発で世界的に展開した 学術業績～	WEB 岡山コンベンションセンター	良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん(Benign adult familial myoclonic epilepsy : BAFME)の発見	脳神経内科 安田 雄
10/22	Parkinson's disease Case Conference in 倉敷	WEB 倉敷国際ホテル	新たな MAO-B 阻害薬の治療作戦	脳神経内科 安田 雄
10/28	小野薬品 社内研修会	WEB 倉敷ロイヤルアートホテル	パーキンソン病治療の過去・現在・未来	脳神経内科 安田 雄
11/16	ハッピーフェイスセミナー in 笠岡	WEB 倉敷ロイヤルアートホテル	パーキンソン病治療の過去・現在・未来	脳神経内科 安田 雄
11/18	Takeda Parkinson's Disease ～COVID-19 環境下でパーキンソン 病診療を考える～	WEB 倉敷ロイヤルアートホテル	パーキンソン病 薬物治療 の変遷～ラザギリンの使用 経験も含めて～	脳神経内科 安田 雄
11/25	パーキンソン病とチーム医療 ～貼付剤の位置づけを再考する～	WEB TKP ガーデンシティ岡山	パーキンソン病における薬 物療法 ～新規貼付剤に期待すること～	脳神経内科 安田 雄
2021 1/14	倉敷パーキンソン病研究会 ～ハルロピテープ発売1周年記念講 演会～	WEB 倉敷アイビースクエア	ハルロピテープの適性使用 を考える	脳神経内科 安田 雄
2/17	岡山市薬剤師会保険薬局部会研修 会 2 月度	WEB 岡山市薬剤師会会議室	てんかんの基礎知識	脳神経内科 安田 雄
3/10	リハビリテーション部 勉強会	WEB	パーキンソン病の基礎知識	脳神経内科 安田 雄

3/31	パーキンソン病診療	WEB 倉敷国際ホテル	パーキンソン病治療 ～過去、現在、未来～	脳神経内科 安田 雄
------	-----------	----------------	-------------------------	---------------

開催日	講演・勉強会名	会 場	座長・Opening Remarks Closing Remarks、他
7/30	倉敷パーキンソン病研究会 ～ハルロピ®テープ発売記念～	WEB 倉敷国際ホテル	【Opening Remarks】 脳神経内科 安田 雄
9/28	糖尿病 Web セミナーin岡山	WEB	【座長】 内科 林 里美
11/11	岡山県南西部パーキンソン病講演会	WEB 倉敷アイビースクエア	【座長】 脳神経内科 安田 雄
2021 1/22	骨密度測定の意義を考える会	WEB	【座長】 循環器内科 小出 尚志
1/14	倉敷パーキンソン病研究会 ～ハルロピテープ発売 1 周年記念講演会～ 「ハルロピテープの適性使用を考える」	WEB 倉敷アイビースクエア	【パネリスト】 脳神経内科 安田 雄
2/3	中四国におけるこれから 20 年のパーキンソン 病診療を考える会 パーキンソン病治療を再考する 「COMT 阻害薬に期待すること」	WEB 倉敷ロイヤルアートホテル	【パネリスト】 脳神経内科 安田 雄

4. 診療部勉強会

月	勉強会	診療科	医師名
4 月	「慢性硬膜下血種」	リハビリテーション科	鈴木 康夫
5 月	『キネンの訪問診療』	内科	林 里美
6 月	「Covid-19」	呼吸器内科	矢野 達俊
7 月	「アルツハイマー病では血小板凝集能は亢進している」	脳神経内科	安田 雄
8 月	林 Dr.に続いて 私の訪問診療	内科	櫻井 恵
10 月	「腸骨骨折」	整形外科	日野 洋介
11 月	「新型コロナウイルス感染症と消化器診療 2020」	消化器内科	三宅 正展
12 月	「骨粗鬆症」	循環器内科	小出 尚志

2021 1 月	Watchman	循環器内科	吉田 潤史
3 月	肛門出血・痔疾	外科	吉田 泰夫

5. 広報誌 SAY 和 ドクタートーク掲載

月	タイトル	診療科	医師名
7月 夏号	アトピー性皮膚炎の新しい治療と変わらぬ治療	皮膚科	澤田 文久
10月 秋号	口腔ケア特集	耳鼻科	森田 倫正

6. Web 掲載

サイト	タイトル	
協和キリン メディカルサイト	パーキンソン病 med. Front 医療法人誠和会 倉敷記念病院 (2021 年 2 月 25 日公開)	脳神経内科 安田 雄

7. 協力型臨床研修病院 研修医受入実績 担当分野:地域医療

月	所属		氏名	志望科
2021 1～3	倉敷中央病院	循環器内科	川畑 徳馬	循環器内科

看護部の理念

看護理念

人の尊厳と権利を尊重し地域住民の健康と QOL の向上を支援します

行動指針

1. 一人ひとりのライフスタイルを大切にします。
2. その人の最も適した場所で生活が送れるよう支援します。
3. 患者様の安全・安心・安楽を最優先し、室の高い看護ケアを提供します。
4. 多職種協働により密度の高い看護ケアを提供します。
5. 看護連携により途切れのない看護を提供します。

令和 2 年度部署目標

看護管理

患者さんの命に寄り添う心のこもった看護の提供

外来

思いやりのある心で接し信頼される看護を提供する

一般病棟

円滑なコミュニケーションを図り、患者・家族と良好な関係を構築できる

療養病棟・地域包括ケア病床

丁寧な対応、接遇を意識して看護・介護を提供する

患者ニーズに合わせた退院支援を行う

回復期リハビリテーション病棟

患者誤認を防ぎ医療安全の感性を高める

特殊疾患病棟

関わるすべての人に対し丁寧で誠実な対応を心掛ける

令和 2 年度の取り組み

1. 今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、全体の勉強会の開催、外部講師を迎えての勉強会開催が困難となった。そのため、各部署において必要な課題を見出し、各部署での勉強会を開催した。また、ふれあい看護体験・ボランティアの受け入れ、介護士による行事等ほとんどの行事が中止となったが、看護実習の受け入れについては緊急事態宣言解除に伴い、受け入れを開始、期間を短縮してではあるが継続することができた。
2. 平成 31 年から取り組んできた、看護職員クリニカルラダーの運用を開始することが出来た。
クリニカルラダーの目的
 - ① 看護師の臨床実践能力を評価し、能力向上への動機づけとして、教育サポートの基準にする。
 - ② 看護師の個々のキャリア開発に役立てる。
 - ③ 自己評価をすることで、自身の強み弱みを見出し、自己の課題へ取り組むことができる。

令和3年3月に正規看護師の85%が評価認定された。

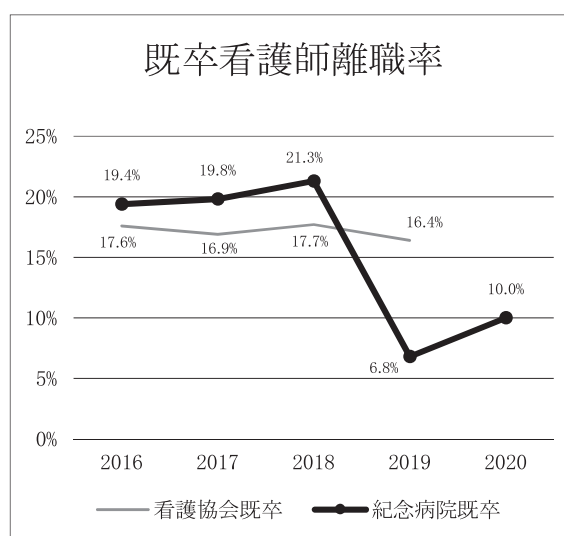
3. 新型コロナウイルス感染症への対応として、外来玄関での体温測定、発熱外来開設、検査体制の充実、感染対策マニュアルの追加作成並びに見直し、各病棟における月ごとの手指消毒実施データを、フィードバックし、感染予防の注意喚起を行う。また、ミーティングを重ね、情報発信・情報共有を速やかにを行い院内の感染予防に取り組んだ。
4. 看護管理者夜勤の導入
令和2年5月から、夜間の管理体制の整備、夜間の救急外来の診療支援・応需率アップを目的に看護管理者の夜勤を開始した。夜間管理者がいることで、急変時やインシデント・アクシデント発生時など、報告相談が出来る夜勤スタッフの不安軽減に繋がった。しかし、夜間の救急外来受け入れについては、受け入れ要請に対しての、応需率が42%～66%と格段のアップには繋がらなかったため、11月末で終了とした。
5. せん妄ハイリスク患者ケア加算の取得を開始
認知症ケアチームの指導により、一般病棟において入院早期にせん妄のリスク因子をスクリーニングし、せん妄対策を実施、令和2年11月よりせん妄ハイリスク患者ケア加算取得を開始した。現在一般病棟入院患者の約90%が加算対象となっており、個々の患者に合わせた看護を実践している。
6. 新型コロナウイルス感染症の拡大により、インターンシップや、病院見学の実施ができなかったが、令和2年度新卒看護師8名を迎えることができた。しかし、新卒・既卒とも昨年と比較し、離職率が上昇している。退職の理由は個人によって様々ではあるが、それぞれの声を大切にし、今後の人材育成と職場環境の改善に活かしていきたい。

新卒看護師離職率

年度	2016	2017	2018	2019	2020
看護協会新卒	7.6%	7.5%	7.8%	8.6%	
記念病院新卒	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	14.3%
記念病院新卒採用人数	4	4	6	10	8

既卒看護師離職率

年度	2016	2017	2018	2019	2020
看護協会既卒	17.6%	16.9%	17.7%	16.4%	
記念病院既卒	19.4%	19.8%	21.3%	6.8%	10.0%



院内における看護研究発表会、学会発表

[院内看護研究発表会]

令和3年1月27日(水)・2月3日(水)12:50～13:30 福寿荘 6F カンファレンスルーム(オンライン)

部署	演題	発表者
2F	褥瘡予防に対する病棟スタッフの意識改革への取り組み	原田 紗希
3F	終末期患者と家族の希望に寄り添った看護を目指して ～情報共有シートの導入を通しての取り組み～	山本 訓仁子
4F	夜間不眠患者に対する非薬物療法の効果	上森 恵美子
5F	職員の腰痛予防と軽減に向けた取り組み	植田 明日香
外来	大腸内視鏡検査の前処置に関する実態調査 ～簡潔な説明用紙を活用し、スムーズな前処置を目指して～	松田 麻衣

実習受け入れ

倉敷中央高校看護科2年生	基礎看護	10/26～11/6	15名
倉敷中央高校看護科3年生	基礎・老年看護	9/28～10/23	14名
		11/9～11/27	15名
倉敷中央高校専攻科1年生	老年看護	11/25～12/6	9名
順正高等看護福祉専門学校	基礎看護	9/17～9/18	4名
順正高等看護福祉専門学校	基礎看護	11/30～12/11	3名
岡山・建部医療福祉専門学校	基礎看護	8/17～8/28	10名
岡山・建部医療福祉専門学校	老年看護	9/14～9/25	5名
倉敷中央病院	認定看護管理者教育 課程セカンドレベル	9/16	1名

令和2年度 病棟勉強会一覧表

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
外来	医療安全概論 KYT	耳鼻科手術決定時の流れ ピロリテック検査方法について CS 一連の流れ 医療安全	耳鼻科 OP 室	OP 室手洗い (スクラブ法)	①ヘルコバクター に関して ②OP 室手洗い /スクラブ法 ③AED	心不全とは	①看護研究 ②点眼について	鼻出血について
2 病棟	褥瘡に向けた ポジショニング	看護記録について	看護必要度	KYT	排泄、褥瘡	看護研究	認知症について	
3 病棟	ヒヤリハットの 記入の仕方	看護必要度について	インスリンについて	褥瘡評価に仕方	人工呼吸器について	認知症ケア加算	①看護研究 ②手指衛生について	急変時のシュミレーション
4 病棟	それぞれの施設 についての 特徴を知る	入院時訪問指導 加算算定とは	認知症ケア加算 の必要性	回復期リハビリ 病棟において の記録 SOAP	医療安全 ヒヤリハットの 統計と現状把握	マックグラスについて	①看護研究 ②褥瘡について	
5 病棟	ベッド上での ポジショニング	認知症について	口腔ケアについて	人工呼吸器の モードについて	①看護必要度 ②AED	看護研究	マックグラスについて	

令和2年度 看護部教育プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
トピックス研修 第4 水曜日 12:50～13:30	中止											
研修日										1/27	①2/3②2/24	3/24
新人研修	集合研修	中止	中止	トランスファ－ 講習会	薬剤について レスピレーター 他				看護技術研修	退院支援 看護必要度 災害看護 感染対策		振り返り 心に残った看 護場面
研修日	4/3・4・5・8			7/30	8/24				12/23	1/7		3/8
新人研修・ トピックス		1か月フォローア ップ研修	配属面談				6か月フォロー アップ研修		8か月フォロー アップ研修			実地指導者と 振り返りの研修
研修日		5/16	6/25				10/1		12/15			
看護補助者研修 第3 木曜日 13:00～13:30		医療制度の概要		日常生活援助 食事(3F)	日常生活援助 移乗(4F)		感染予防の基 礎知識	日常生活援助 排泄(5F)	日常生活援助 清潔(2F)	医療安全の基 礎知識	業務上の責 任・個人情報 報	
場所				各病棟	各病棟			各病棟	各病棟			
研修日		5/16		7月中	8月中		10/14	11月中	12月中	1/20	2/17	
中途・その他の研修										2年目フォロー アップ研修		
研修日										1/15・18		
管理者研修 第2 火曜日 16:30～17:30			中止						出張報告会	ラダー説明会	ラダー説明会	倫理検討会
研修日						9/8	10/13	11/10	12/8	1/12	2/9	3/9

リハビリテーション部の基本理念

障害を持つ人のジョブを最優先する～治す・支える・看取る医療の実践～

活動理念

スタッフの理論・技術は障害を持つ人の家庭生活の向上・継続に貢献することで価値を持つ

活動の原則

障害を持つ人の回復(回復・機能再建)能力を生かした日常生活の自立への援助は、障害を理解し熱意と専門的技能を持ち、熟練に必要な指導を受けたもので達成されなければならない

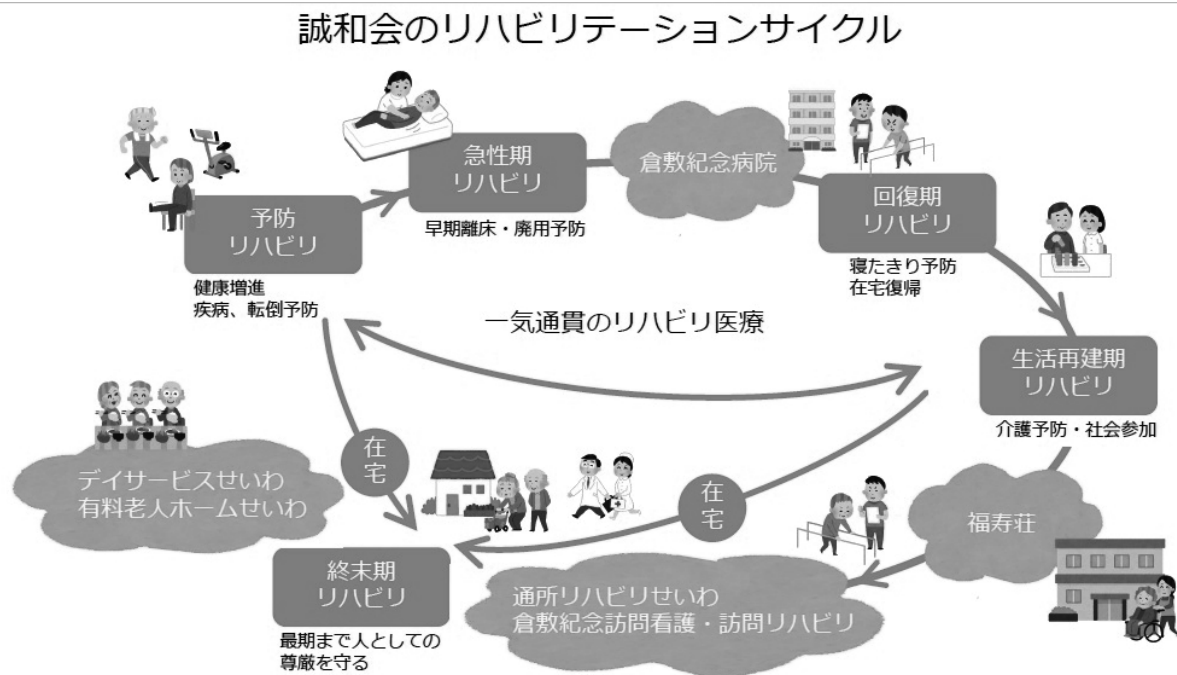
将来像

高品質のリハ医療の投与が可能な世界水準のリハ部を目指す

日本のリハ医療のロールモデルとなる

県内西部地域医療圏におけるリハ医療の中核センター及びマグネットセンターとなる

地域の患者・住民、保険・医療・福祉関係者に賞賛されるリハ部となる



職種・人員 (R3.4)

職種	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	事務員	音楽療法士	歯科衛生士	合計
病院	21 名	16 名	7 名	4 名	－	2 名	50 名
通所リハビリ	5 名	3 名	－	－	－	－	8 名
老人保健施設	7 名	1 名	1 名	－	1 名	－	10 名
訪問リハビリ	2 名	4 名	－	－	－	－	6 名
合計	35 名	24 名	8 名	4 名	1 名	2 名	74 名

保有資格

セラピストマネージャー研修修了、がんリハ研修修了、3学会合同呼吸療法認定士、日本糖尿病療養指導士、介護支援専門員、認定理学療法士(運動器、脳卒中)、福祉住環境コーディネーター、生活行為向上マネジメント実践者研修修了、生活行為向上リハビリテーション研修会修了、地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダー、AMPS 講習会受講修了、ボバース講習会受講修了

療法士の出身校（順不同）

吉備国際大学、川崎医療福祉大学、岡山医療技術専門学校、専門学校川崎リハビリテーション学院、玉野総合医療専門学校、専門学校福岡リハビリテーション学院、YMCA 米子医療福祉専門学校、前橋医療福祉専門学校、県立広島大学、広島国際大学、朝日医療大学校、姫路獨協大学、四国中央医療福祉総合学院、松江医療福祉専門学校

1. チーム

「量」から「質」へ 特徴あるリハビリテーション部に向けた組織体制

	チーム名	取り組み
病院	心臓リハビリテーション	毎週月曜日、心リハ症例のカンファレンス実施 毎月開催される倉敷心不全連携の会(倉敷中央病院)への参加 倉敷心リハ連携の会(倉敷中央病院)への参加 2017年、日本心臓リハビリテーション学会 学術集会で発表 「心リハスタッフ教育マニュアル」の運用継続 倉敷中央病院からの外来心リハ連携、心リハワーキンググループの継続 入院心リハ症例データベース、CPX データベースの構築継続
	がんリハビリテーション	必要に応じて適宜、がんリハ患者のキャンサーボードの開催 早期退院に向けた退院前訪問や指導の実施 外出や外泊に向けた支援 がんリハビリテーションに関する研修会や学会に参加
	電気磁気刺激療法	各々の知識、技術向上を目的に論文抄読会や実技などを実施 電気刺激が必要と思われる患者に対しチームで症例検討会を実施 電気刺激療法に準ずる機器や臨床において有効と思われる評価指標や物品に対する検討の実施 磁気刺激装置を利用した患者への効果の検討 上記に向けてのデータ収集と評価法の選択
	リハビリテーション栄養	リハビリテーション栄養に関する研修会・学会への参加継続 日本臨床栄養代謝学会学術集会へ参加 NST 活動への参加 活動係数や METs表を作成し多職種との連携を図る

	社会復帰支援	外部の移動支援定期勉強会への参加 支援対象者のデータを用いて学会発表 当院での移動支援の流れを作成、患者向けのパフレットを作成 知識の習得・向上目的に月1回のチーム内勉強会開催 自動車教習所との連携
	LOFE	使用前後による身体機能、能力変化を評価し、データを収集 データを用いて学会発表、治療の確立をしていく 腰 HAL チームとの連携し治療効果の向上をはかる 学会への参加、発表を行う
通所リハビリ	リハビリテーション マネジメント	リハビリテーションマネジメント加算Ⅲの積極的算定 リハビリテーション会議、医師からの説明の実施 社会参加支援加算、中重度者ケア体制加算 リハビリテーション提供体制加算算定 生活行為向上リハビリテーション実施加算算定
	地域高齢者自立支援	転倒骨折予防教室への参加
老人保健施設 福寿荘		超強化型在宅復帰・在宅療養支援施設として在宅復帰率 50%以上達成。 短期集中リハビリテーション加算算定 認知症短期集中リハビリテーション加算算定 ターミナルケア加算、排泄支援加算、経口移行加算・経口維持加算算定 全入所者に対して、3回／週以上のリハビリを実施。
腰 HAL		HAL®腰タイプを4台導入中。病院・通所・老健にて使用 使用講習会を開催し使用できる療法士の増員 岡山ロボケアセンターとの情報共有 ロボケアセンター、HAL®腰タイプ自立支援用の使用施設見学 使用実績を増やしプロトコール作成、データ収集 第9回日本脳神経 HAL®研究会にて3演題発表
認知症		技法の勉強会(ユマニチュード、バリデーション、非構成的評価:4条件メソッド、キョウメイションケア) 症例報告、事例検討会の実施 今後の活動内容の検討



2. 病棟回診

伊勢統括部長と月に二回、吉備国際大学より平上二九三教授を招いて病棟回診を行っています。

4つの視点(臨床像・障害像・心理面・環境面)から患者へのリハビリ介入方針を検討します。



3. 音楽療法

法人内の病院、通所リハビリ、老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、小規模多機能施設で主に集団での音楽療法を行っています。患者様や利用者様の生活の質(Quality of Life)の向上や心身の機能向上、認知症予防などを目的とし、皆様に心から元気になっていただけるよう、他職種協同で取り組んでいます。

4. 口腔ケア

口腔ケアで心と身体の元気サポート！病院、通所リハビリ、老人保健施設で歯科衛生士が専門的な口腔ケアを行っています。

誤嚥性肺炎の予防、飲み込む力の回復、認知症の予防などの効果があると言われています。



5. 院内・外における研究発表

【院外発表】

筆頭演者	学会名・発表先	発表テーマ	開催
医師 伊勢 眞樹	第57回日本リハビリテーション医学会 学術集会	HAL 腰タイプ自立支援用の治療効果	6月

言語聴覚士 横関 彩佳	第 21 回日本言語 聴覚学会	補綴装具使用と嚥下練習の実施により 3 食傾向摂取が可能となった一例	7 月
理学療法士 小野 亜莉沙	緩和・支持・心のケ ア合同学会大会 2020	キャンサーボードを通じた多職種との連携により在宅復帰への支援を検討し家族との外出へ繋ぐことができた一症例	8 月
作業療法士 平田 貴也	第 54 回日本作業 療法学会	作業機能障害を呈した症例に OTIPM に基づいたアプローチで意味のある作業の再獲得を目指した一例	9 月
作業療法士 小林 真由美	第 54 回日本作業 療法学会	意味のある作業に対しての生活行為向上マネジメントを用いた一症例の報告	9 月
作業療法士 石原 佳子	第 9 回 日本脳神 経 HAL®研究会	当院における HAL®腰タイプ自立支援用を使用した治療効果と今後の展望	2 月
理学療法士 尾崎 史昌	第 9 回 日本脳神 経 HAL®研究会	左踵骨骨折免荷期間の下肢筋群の協調パターン不使用後、HAL®腰タイプ自立支援用によって歩行速度の改善が得られた経験	2 月
理学療法士 横田 暁雄	第 9 回 日本脳神 経 HAL®研究会	通所リハビリテーションにおける腰 HAL の効果的実施方法の検討	2 月
作業療法士 森本沙織 音楽療法士 石井未来	第8回 慢性期リハ ビリテーション学会	認知症専門病棟入所者における、BPSD に対するアロマセラピーの有効性	2 月

6. 実習受け入れ

2020 年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため実習生の受け入れは中止

	実習・研修依頼先機関名	受入人数			実習・研修目的
		PT	OT	ST	
病院	玉野総合医療専門学校	1	0	0	総合臨床実習 *コロナ感染対策のため途中で終了
福寿荘	川崎医療福祉大学	0	1	0	作業療法臨床実習



倉敷記念病院 リハビリテーションセンター

急性期から回復期・維持期まで、病棟・病期に応じたリハビリの提供に努めています。機能回復や日常生活動作の改善に向けて、それぞれの患者さまに合わせた診療を実施しています。脳卒中などの脳血管疾患、骨折や関節炎などの運動器疾患、肺炎などの呼吸器疾患、心不全を中心とした循環器疾患、パーキンソン病などの神経難病を対象とし、多職種でのチームアプローチを行っています。



介護老人保健施設 福寿荘リハビリ

～利用者の生活のために～

利用者みなさまのこれまでの生活を尊重し、その人らしく今後を過ごすために必要な身体機能の向上、日常生活動作の再獲得に向けたプログラムをご本人・他職種と共に考えていきます。

生活そのものがリハビリとなるように、各専門職が力を合わせて支援しています。



倉敷記念病院 通所リハビリ

ご利用者の「したい」を「できる」へ

ご利用者の在宅生活を支え、リハビリテーションマネジメントをもとに、生活行為の向上を目指したリハビリテーションを提供します。



倉敷記念 訪問看護ステーション(訪問リハビリ)

ご自宅に伺い、年齢・性別・持病・生活環境に合わせて、個別の運動や介助指導などを実施します。

血圧や脈の測定、聴診をおこない、その日の体調に合わせて、リハビリします。

「外出したい」「トイレまで歩いて行きたい」など、希望に沿ったリハビリをします。

介護老人保健施設 福寿荘

施設長 松木 孝之

医師紹介



施設長 まつき たかのぶ
松木 孝之

施設紹介

介護老人保健施設 福寿荘は、在宅復帰を目指すリハビリテーション施設です

【施設運営の方針】

- 1.当施設では、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、施設サービス計画に基づいて、必要な医療・看護・介護・リハビリテーションその他、日常生活上のケアを行い、居宅における生活への復帰を目指します。
- 2.従業者は利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って介護老人保健施設サービスの提供に努めます。
- 3.従業者は、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、居宅介護支援事業者その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めるとともに、関係市区町村とも連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。

平成30年8月より超強化型老健として運営をしています。

平成30年8月より老健の区分の最上位である「超強化型老健」として運営をしています。老健本来の役割である「在宅復帰・在宅療養支援」を果たすため、医師・看護師・介護士・リハビリスタッフ・管理栄養士・薬剤師・支援相談員・ケアマネジャーがチームとなり、利用者様が元気になるように健康管理、リハビリ、日常生活動作の指導を行っています。退所後も元気に生活を送ることができるように、ご家族への介護指導を行い、かかりつけ医と居宅のケアマネ、サービス事業所と協力し、住み慣れた地域・自宅で安心して生活を送ることが出来るよう、スタッフ一丸となって取り組んでいます。

総務部長 河田 真治

総務部は法人全体の維持運営を円滑に進める役割を担っております。具体的には庶務課、人事課、企画IT課の3つの課で構成されています。

令和2年度の取り組みとして、庶務課は「経費節減」、「業務効率化」等を目標に掲げ、価格交渉や納入業者の見直しの実施。また、「設備・備品等購買計画」に沿った計画的な更新、導入を実施しました。人事課は「計画的な人員数管理」、「退職者の減少」等を目標に掲げ、各部署の定数を設定し目標を可視化した。また、離職数のモニタリングと数値の定時的な集計により数値管理を実施しました。企画IT課は「IT支援」、「院内外広報」等を目標に掲げ、IT支援では、パックス更新、LIFE導入支援のほかRPAに関する情報収集を行いました。また、広報活動では、年報作成、ホームページのリニューアル、リハビリテーション部特設サイトの制作などを実施しました。

子育て支援【仕事と育児の両立】

1. 令和2年度産休育休取得実績

部署	取得申請者(人)	取得実績(人)
倉敷記念病院 看護部	7	7
倉敷記念病院 医療技術部	2	2
倉敷記念病院 事務部	1	1
倉敷記念病院 健診部	1	1
倉敷記念病院 医療連携推進部	1	1
福寿荘 看護・介護部	14	14
有料老人ホームせいわ	1	1
デイサービスせいわ	1	1
グループホーム コージー	2	2
リハビリテーション部	5	5
計	35	35
取得率		100%

2. 令和2年度育児短時間勤務取得実績

部署	取得申請者(人)	取得実績(人)
倉敷記念病院 看護部	4	4
倉敷記念病院 医療技術部	1	1
福寿荘 看護・介護部	1	1
倉敷記念病院 通所リハビリテーション	2	2
リハビリテーション部	8	8
計	16	16
取得率		100%

職員表彰歴

日付	部署	氏名	表彰名称	主催
式典中止	倉敷記念病院看護部	齋藤 美和子	病院優良職員表彰	岡山県病院協会
式典中止	倉敷記念病院看護部	河野 千代美	病院優良職員表彰	岡山県病院協会
式典中止	倉敷記念病院医療事務部	齋藤 博幸	病院優良職員表彰	岡山県病院協会
式典中止	介護老人保健施設 福寿荘看護介護部	野方 美智子	優良商工従業員表彰 10 年以上表彰	倉敷商工会議所
式典中止	介護老人保健施設 福寿荘看護介護部	森谷 裕美	優良商工従業員表彰 10 年以上表彰	倉敷商工会議所
式典中止	介護老人保健施設 福寿荘看護介護部	吉田 千恵子	優良商工従業員表彰 10 年以上表彰	倉敷商工会議所

※令和2年度は岡山県病院協会、倉敷商工会議所共に優良職員の選出はされましたが、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、授賞式典は実施されませんでした。

庶務課活動内容

活動月	実施部門	内容	目的
4 月	病院	コロナ対策衛星物品一括購入	【リスク管理】
5 月	法人	道路一旦停止等ライン塗装	【リスク管理】
	病院、福寿	冷暖房切替(暖房→冷房)	【環境整備】
	病院	血液ガス分析装置更新	【環境整備】
6 月	病院	一酸化窒素ガス分析装置更新	【環境整備】
	全施設	便座の節電対策(温水・暖房機能停止)(～10/31)	【経費節減】
	病院、福寿、せいわ	医療ガス設備保守点検	【環境整備】
	病院、せいわ	遮光シート取り付け	【経費節減】
7 月	病院	眼圧計更新	【環境整備】
8 月	法人	大判プリンター更新	【業務改善】
	病院	発熱外来診察室整備	【環境整備】
9 月	病院	PACS 更新	【業務改善】
	病院	自動血球分析装置更新	【環境整備】
	全施設	消防設備点検	【リスク管理】
11 月	病院	骨密度測定器更新	【環境整備】
	病院	スパイロメーター更新	【環境整備】
12 月	病院	血液凝固分析装置更新	【環境整備】
	病院	病院 1F 外来用トイレ改修工事	【環境整備】
	福寿荘	非常放送設備更新	【環境整備】
	全施設	植木の選定	【環境整備】
	法人	各施設受付へのフィルムカーテン(防災仕様)設置	【環境整備】
2 月	健診部	超音波画像診断装置更新	【環境整備】
	病院	全自動遺伝子解析装置購入	【環境整備】
	病院	病原体検査用陰圧 BOX 購入	【環境整備】
3 月	病院	全身用X線CT]診断装置更新	【環境整備】
	福寿荘	非常用発電機更新	【リスク管理】
	全施設	消防設備点検	【リスク管理】
通年	各施設	各施設年 2 回の消防訓練実施	【リスク管理】

企画・広報

1. ホームページ更新履歴

月	件数(件)
4 月	13
5 月	7
6 月	6
7 月	13
8 月	15
9 月	9
10 月	11
11 月	12
12 月	13
1 月	5
2 月	5
3 月	19
合計	128
平均	10.6 件／月

2. その他

- ・グループホームコージー ホームページデザインリニューアル
- ・感染対策委員会 PPE 着脱マニュアルビデオ 編集
- ・院内掲示物 美化活動
- ・献血バス受入(職員対象)
- ・岡山ロボケアセンター様よりマスクご寄贈
- ・廣榮堂様よりきびだんご贈呈
- ・百十四銀行倉敷支店様よりゼリー飲料贈呈
- ・倉敷市新型コロナウイルス感染症対策基金へ寄附
- ・令和元年度誠和会年報 編集
- ・個人情報保護推進委員会 事務局

システム関係

- 4 月 オンライン診療 導入検討
- 6 月 ノート端末へセキュリティワイヤー取付
- 6 月 病院・有料せいわ オンライン面会用 iPad 導入
- 8 月 検査科 全自動血液凝固測定装置、多項目自動血球計測装置更新に伴うオンライン接続
- 10 月 福寿荘 AI センサー(非接触検温システム) 院内 LAN 接続
- 11 月 診察室 情報系 LAN 配線工事
- 11 月 検査科 スパイロメータ更新によるパソコン更新、検査データビューアソフト・連携機器接続
- 12 月 グループウェア(サイボウズ office) バージョンアップ
- 3 月 診療録管理室 オンライン会議用環境整備
- 3 月 栄養科・せいわ管理室 レイアウト変更に伴う再配線

エコ活動実績

1. エコキャップ回収 リサイクル活動

誠和会では地球温暖化防止活動の一環として、リサイクル活動を行っています。職員の声から始まったリサイクル活動には、地域住民の皆様をはじめ、地域の小学校からもご協力をいただいています。

回収したキャップは、NPO 法人(内閣府認証)エコキャップ推進協会を通して、再生プラスチックの原材料としてリサイクル事業者で換金し、世界の子どもたちへのワクチン支援活動や震災義援金の寄付、学校等における環境教育、障がいをお持ちの方々の雇用創出や自立支援といった社会貢献活動へと繋がっています。

なお、本事業は令和2年度をもって終了いたしました。

＜エコキャップリサイクル実績＞

	令和2年度
個 数(約・個)	48,160
総重量(Kg)	112
ワクチン換算(人)	56

2. クールビズ&ウォームビズ

・クールビズ(期間:5/1～10/31)・・・冷房設定室温を 26℃に

・ウォームビズ(期間:11/1～3/31)・・・暖房設定室温を 20℃に

患者さん利用者さんの負担にならないように気をつけて実施しています。

3. その他の省エネ活動への取り組み

誠和会は、地球温暖化防止にもつながる省エネ活動に積極的に取り組んでいます。

・各病室・居室のベランダに遮光シートを設置(遮光での夏季空調負荷の低減)

・デマンドコントローラーの設置(エアコンの平均使用電力の上限値の低減)

・エアコンの吹出し口に、ハイブリッドファンを取付(空気の攪拌による温度差の緩和)

・クールビズ期間中、便座の暖房・温水機能を OFF、自動販売機の照明 OFF(待機電力の節電)

・エアコン使用期間は、エアコンフィルタを隔月清掃(冷暖房の効率アップによる節電)

・雨水タンクの設置(雨水再利用による節水)

・節水コマの取付

・照明器具の LED 化

2021(令和3)年

2月17日(水)◆山陽新聞/24面/倉敷・総社圏版

【新型コロナ対策を支援】

倉敷記念病院(倉敷市中島)などを運営する医療法人誠和会と百十四銀行(高松市)は、新型コロナウイルス対策を支援しようと、倉敷市に10万円を寄付した。「SDGs医療機関債」を利用した自治体への寄付は、県内では初めてという。市役所で9日にあった贈呈式には、同法人の小出尚志理事長と同行の西川隆治代表取締役専務執行役員らが訪れ、伊東香織市長に目録を手渡した。小出氏は「一日も早く平穏な日常になるよう対策の一助になれば」、西川氏は「地域の発展のために役立ててほしい」と話した。

同債は、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)に取組む医療法人が発行できる債券。病院の建て替え資金として発行した。同行が受け取る手数料の一部を寄付金に

新型コロナ対策を支援

誠和会と百十四銀行 倉敷市に10万円寄付

伊東市長(左)に目録を手渡す小出氏(中央)と西川氏

た贈呈式には、同法人の小出尚志理事長と同行の西川隆治代表取締役専務執行役員らが訪れ、伊東香織市長に目録を手渡した。小出氏は「一日も早く平穏な日常になるよう対策の一助になれば」、西川氏は「地域の発展のために役立ててほしい」と話した。

同債は、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)に取組む医療法人が発行できる債券。病院の建て替え資金として発行した。同行が受け取る手数料の一部を寄付金に

充てた。市はワクチン接種などに活用する予定。(岡田みなみ)

共催事業

わが街健康プロジェクト。 ～心かよう地域医療～love our community～

- 主催 わが街健康プロジェクト。事務局
- 共催病院 AOI 倉敷病院 川崎医科大学附属病院 倉敷記念病院 倉敷市立市民病院 倉敷スイートホスピタル 倉敷成人病センター 倉敷第一病院 倉敷中央病院 倉敷平成病院 倉敷リハビリテーション病院 倉敷中央病院リバーサイド グリーン在宅クリニック 児島聖康病院 児島中央病院 重井医学研究所附属病院 しげい病院 玉島中央病院 チクバ外科・胃腸科・肛門科病院 茶屋町在宅診療所 つばさクリニック 藤戸クリニック 松田病院 水島協同病院 水島第一病院 水島中央病院
- 後援 倉敷市 倉敷商工会議所

経理部長 山田 健二

真実性の原則に則り、発生主義に準拠した、正確な会計処理を行うことにより健全な資産による健全な経営に資し、会計上の利益を重視します。

会計は企業経営の成果をあらわしたものです。そのため、コーポレート・ファイナンスを強化することで、期間成績をマネジメントして経営課題に対応しております。

平成31年度より、事業計画に基づく部門予算管理を強化し、さらなる健全経営を実現しております。

年間主要業務

- 4月 前期決算書作成
月次計算書作成
- 5月 法人決算を社員総会・理事会に報告
監査報告
法人税、法人市民税、事業税申告
月次計算書作成
- 6月 県へ決算報告
月次計算書作成
- 7月 月次計算書作成
- 8月 月次計算書作成
- 9月 月次、半期計算書作成
未収入金台帳精査
- 10月 月次計算書作成
上半期経営分析、期中決算予想
- 11月 中間納税
月次計算書作成
- 12月 月次計算書作成
- 1月 期中決算予想
月次計算書作成
- 2月 月次計算書作成
未収入金台帳精査
次期予算策定
- 3月 期中決算予想
今期予想、次期予算を社員総会、理事会へ報告
年度末会計締切

リスクマネジメント委員会

委員長 吉田 潤史

1. 活動内容

リスクマネジメント委員会およびその関連組織であるリスクマネージャー部会では、ヒヤリハット・医療事故の報告書の提出や急変時対応のデモンストレーションの実施を各部署に呼びかけ、月 1 回開催の会議にて事例の改善案や対策などを検討している。また、医療に係わる安全管理指針の策定や勉強会の実施・参加により、医療安全の推進に努めている。

2. 報告書件数

令和 2 年度のヒヤリハット・医療事故報告書の提出件数は下記の通り。

(単位:件)

令和 2 年度	ヒヤリハット					医療事故				
	倉敷記念病院	福寿荘	在宅センター	コージー	和	倉敷記念病院	福寿荘	在宅センター	コージー	和
4 月	214	70	27	4	6	0	0	7	0	0
5 月	103	70	33	5	11	0	1	2	1	0
6 月	25	71	32	6	4	0	0	1	1	0
7 月	220	72	18	5	7	0	0	4	0	0
8 月	90	56	25	3	8	1	0	3	1	0
9 月	81	56	26	1	2	1	0	1	0	0
10 月	53	58	33	3	4	0	1	2	0	0
11 月	56	60	31	5	16	0	2	3	0	0
12 月	165	64	28	4	5	0	4	6	0	0
1 月	195	43	27	2	10	0	1	3	0	0
2 月	63	30	31	4	16	0	2	5	0	0
3 月	196	42	33	2	5	0	1	3	1	0
計	1,461	692	344	44	94	2	12	40	4	0

3. 勉強会

令和2年9月1日

院内勉強会(スライド)

テーマ:医療安全概論について

令和3年3月1日

院内勉強会(DVD)

テーマ:医療事故調査制度について

感染対策委員会

委員長 矢野 達俊

【4月】

令和2年3月感染症報告
医師会からの感染報告・・・インフルエンザ注意報継続中
コロナ関連について・紙マスクについて・手指消毒について
消化器内視鏡・超音波検査のコロナ問診票作成

【5月】

令和2年5月感染症報告
医師会からの感染報告・・・4/9付 インフルエンザ注意報解除
コロナ関連について(受診の目安・玄関開錠時間の検討)

【臨時】

コロナ関連での取り決めの見直し(面会禁止について・県外禁止について・検査をうける際のチェック項目について・テント対応について・マスクについて・実習生の受け入れ・勉強会について)

【6月】

令和2年5月感染症報告
医師会からの感染報告・・・6/7付 食中毒注意報発令
熱対応について・熱問診票について
B型ワクチンについて

【臨時】

コロナ関連での取り決めの見直し(手術に関して・テント対応について・面会について・職員の県外外出について・実習生の受け入れについて、玄関での検温について・コロナの抗原検査について)

【7月】

令和2年6月感染症報告
医師会からの感染報告・・・腸管出血性大腸菌感染症注意報発令等
倉敷中央病院との合同カンファレンス報告

【8月】

令和2年7月感染症報告
医師会からの感染報告・・・腸管出血性大腸菌感染症注意報発令等
コロナ関連について

【9 月】

令和 2 年 8 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・食中毒注意報解除
倉敷中央病院との合同カンファレンス報告
コロナ抗原検査・PCR検査の実施マニュアルの説明

【10 月】

令和 2 年 9 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・腸管出血性大腸菌注意報継続中
職員インフルエンザ予防接種について

【11 月】

令和 2 年 10 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・腸管出血性大腸菌注意報継続中
倉敷中央病院との合同カンファレンス報告
発熱外来について・新型コロナについて・インフルエンザ予防接種について

【12 月】

令和 2 年 11 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・腸管出血性大腸菌注意報継続中
発熱外来患者について・コロナ関連について

【1 月】

令和 2 年 12 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・特になし
福寿荘コロナウイルスについて・手指消毒剤の使用について

【2 月】

令和 3 年 1 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・コロナについて
倉敷中央病院との合同カンファレンス報告
コロナ関連について

【3 月】

令和 3 年 2 月感染症報告
医師会からの感染報告・・・特になし
発熱外来集計・マスクについて

教育委員会

委員長 瀬島 日登美

1. 研修・勉強会実施記録

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により感染対策委員会の決定事項に従い、出張報告会・研究発表会は中止、法人勉強会は必須のみ開催。

勉強期間を2ヶ月設けて感染予防を行いながら各自で動画や資料などで学ぶ。

研修・勉強会	日時	テーマ	目的	講師・担当者 ※内容
新人研修	4月	オリエンテーション →新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
勉強会	4月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	5月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	6月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	7月	感染対策勉強会	感染対策に関する正しい知識とその対策を職員に周知する。特に食中毒の発生と対策について実例を交えて学ぶ。	感染対策委員会 ※動画・資料
	8月	感染対策勉強会		
	9月	リスクマネジメント勉強会	医療安全概論を学びヒヤリハットなど法人内のリスク管理を向上させる。	リスクマネジメント委員会 ※動画
	10月	リスクマネジメント勉強会		
	11月	個人情報勉強会	個人情報保護法の意図するところを学ぶとともに医療機関や事業所に固有のリスクについても具体的に学ぶ。	個人情報保護推進委員会 ※資料

	12 月	個人情報保護法勉強会	個人情報保護法を学ぶとともに具体例を通して医療機関や事業所のリスクについても学ぶ。	個人情報保護推進委員会 ※動画＋資料
	1 月	感染対策勉強会	新型コロナウイルス感染症の基礎知識や防護具装着を理解し対応を学ぶ。	感染対策委員会 ※動画
	2 月	感染対策勉強会		
	3～4 月	リスクマネジメント勉強会	医療事故調査制度を学ぶとともに具体例を通して医療機関や事業所のリスクについても学ぶ。	リスクマネジメント委員会 ※動画・資料

2. 令和2年度実習・研修受入状況

施設名		実習・研修依頼先機関名	受入人数	実習・研修目的
倉敷記念 病院	看護部	倉敷中央病院	1	認定看護管理者教育課程セカンドレベル
		岡山・建部医療福祉専門学校	15	老年看護学実習
		倉敷中央高校	67	見学実習、基礎・老年・成人看護学実習
		順正高等看護福祉専門学校	13	基礎看護学学習
	薬剤科	就実大学	1	長期実務実習
	通所リハビリ	倉敷中央高校	6	介護福祉実習
老健施設 福寿荘	介 護	川崎医療短期大学	4	介護福祉実習
		岡山医療福祉専門学校	2	介護福祉実習
		倉敷中央高校	6	介護福祉実習
	リハビリ	川崎医療福祉大学	1	作業療法臨床実習
倉敷記念訪問看護ステーション		岡山県訪問看護ステーション連絡協議会	2	職場体験
		倉敷中央高校	8	在宅看護臨床実習
デイサービスせいわ		倉敷中央高校	6	介護実習
グループホームコージー		岡山医療福祉専門学校	6	介護福祉実習
		倉敷中央高校	3	介護実習
小規模多機能「和」		岡山医療福祉専門学校 倉敷中央高校	12	介護実習
合計人数			153	

3. 令和2年度 学会発表記録

部署名	報告者	発表先	発表テーマ	発表日
リハビリ科	平田 貴也	第54回日本作業療法学会	作業機能障害を呈した症例に OTIPM に基づいたアプローチで意味のある作業の再獲得を目指した一例	9月25日～ 10月25日 ※WEB 公開
リハビリ科 通所リハビリテーション	澁谷 舞 奥井真由美	第54回日本作業療法学会	終末期がん患者に対して生活行為向上マネジメントの有用性	9月25日～ 10月25日 ※WEB 公開
福寿荘	松井 香	第8回脳神経 HAL 研究会	介護老人保健施設における多くの利用者への腰 HAL®の実施と改善例の紹介	2月21日～ 2月22日
	森本 沙織 石井 未来	第8回慢性期リハビリテーション学会	認知症専門病棟入所者におけるBPSDに対するアロマセラピーの有効性	令和3年 2月4日～ 2月5日 ※音声付画像

労働安全衛生委員会

委員長 小出 尚志

職員定期健康診断の実施状況（令和2年度）

職種等	常勤者数 (a)	常勤者のうちの 受診者数 (b)	常勤者のうち受 診していない者 の受診していな い理由	常勤者受診率 (b÷a×100)	非常勤 勤務者数 (c)	非常勤者のうち の受診者数 (d)	非常勤者 受診率 (d÷c×100)
医師・歯科医師	17	17		100.0%	9	9	100.0%
看護師・准看護師	116	103	産休 育休	88.8%	12	12	100.0%
診療放射線技師	4	4		100.0%	1	1	100.0%
その他職種	156	145	産休 育休	92.9%	16	16	100.0%

深夜労働業務 従事者（再掲）	88	88		100.0%	0	0	
放射線業務 従事者（再掲）	14	14		100.0%	1	1	100.0%

注) 深夜労働業務従事者: 午後10時から午前5時までの深夜時間帯に勤務する常勤者
放射線業務業務従事者: 放射線業務に常時従事する者で、管理区域に立ち入る者

CS 向上委員会

委員長 佐藤 峻一

1. クリーン作戦

月に1回敷地内及び周辺地域、雨天時また気温 35 度を超える日に屋内の掃除を行っている。

実 施 日:毎月第3水曜日 13 時～13 時 15 分

清 掃 担 当 者:委員全員＋各部署職員

R2 年度実施実績:各月、年 12 回実施

2. 聞く犬ボックス

患者様、利用者様の意見を回収する箱を各施設に設置。回収後、各部署責任者に回答してもらい各施設掲示板にてフィードバックを行っている。

回 収 日:毎週月曜日(祝日の場合は火曜日)

設 置 場 所:病院外来、各病棟、せいわ、福寿荘、コージー、和

R2 年度回答実績:9 月 1 件、12 月 1 件、3 月 5 件 合計 7 件

3. ひだまりの庭管理、職員ロッカー管理

ひだまりの庭の清掃・水やり当番の管理(実施日:毎日で土日祝以外)、職員ロッカーの清掃当番(実施日:週に1回)の管理を行う。

4. ふれあい祭りの総合案内

例年では CS 向上委員会として、ふれあい祭り会場での総合案内窓口(福寿荘前)を設置して問い合わせ対応やパンフレット配布、拡声器による宣伝活動等を行う。

→今年度はコロナ禍の為、開催中止

5. 患者様・利用者様満足度調査の実施

集計期間：令和3年3月1日～4月30日

集計方法：質問に対し1(悪い)・2(やや悪い)・3(普通)・4(やや良い)・5(良い)の5段階で回答。

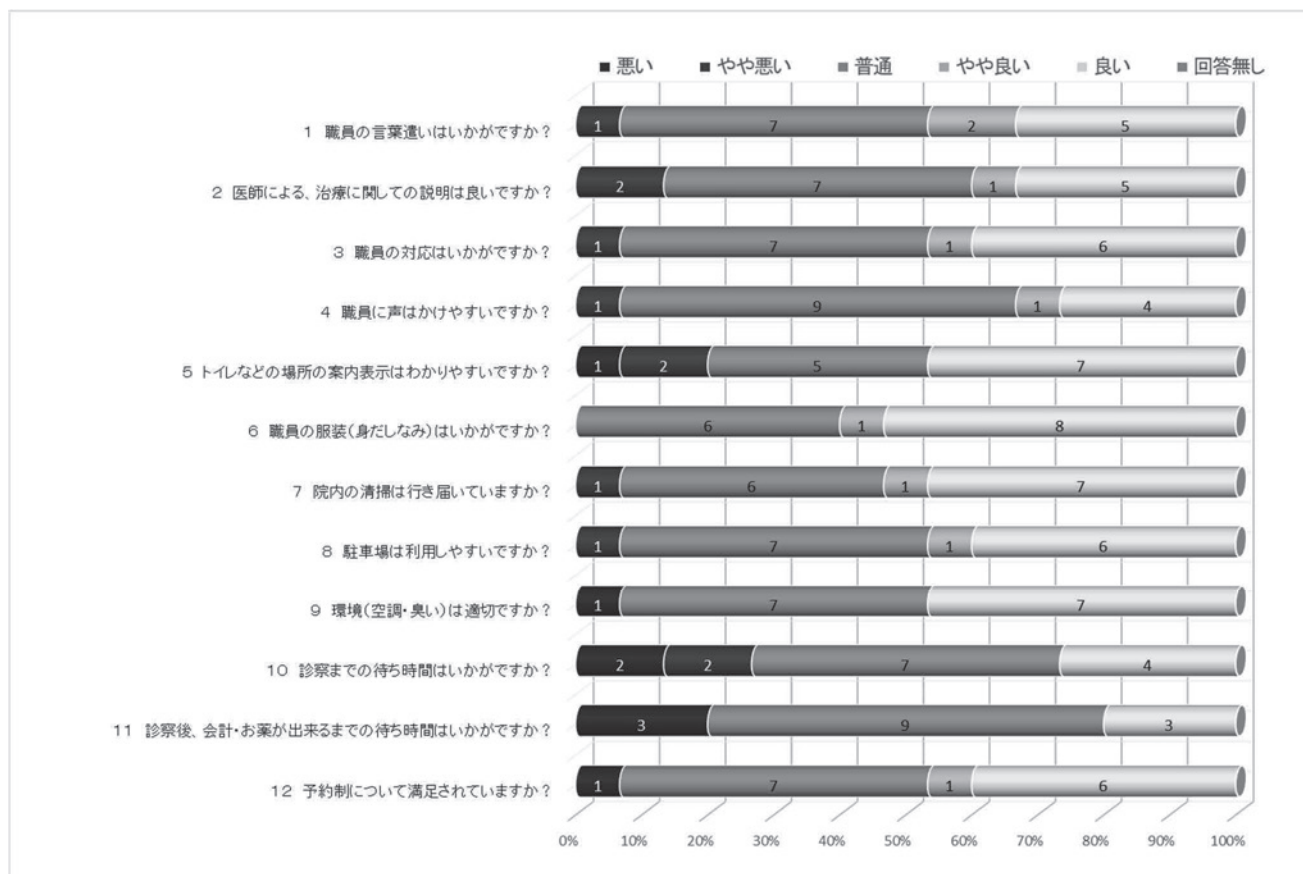
患者様・利用者様満足度調査

CS向上委員会

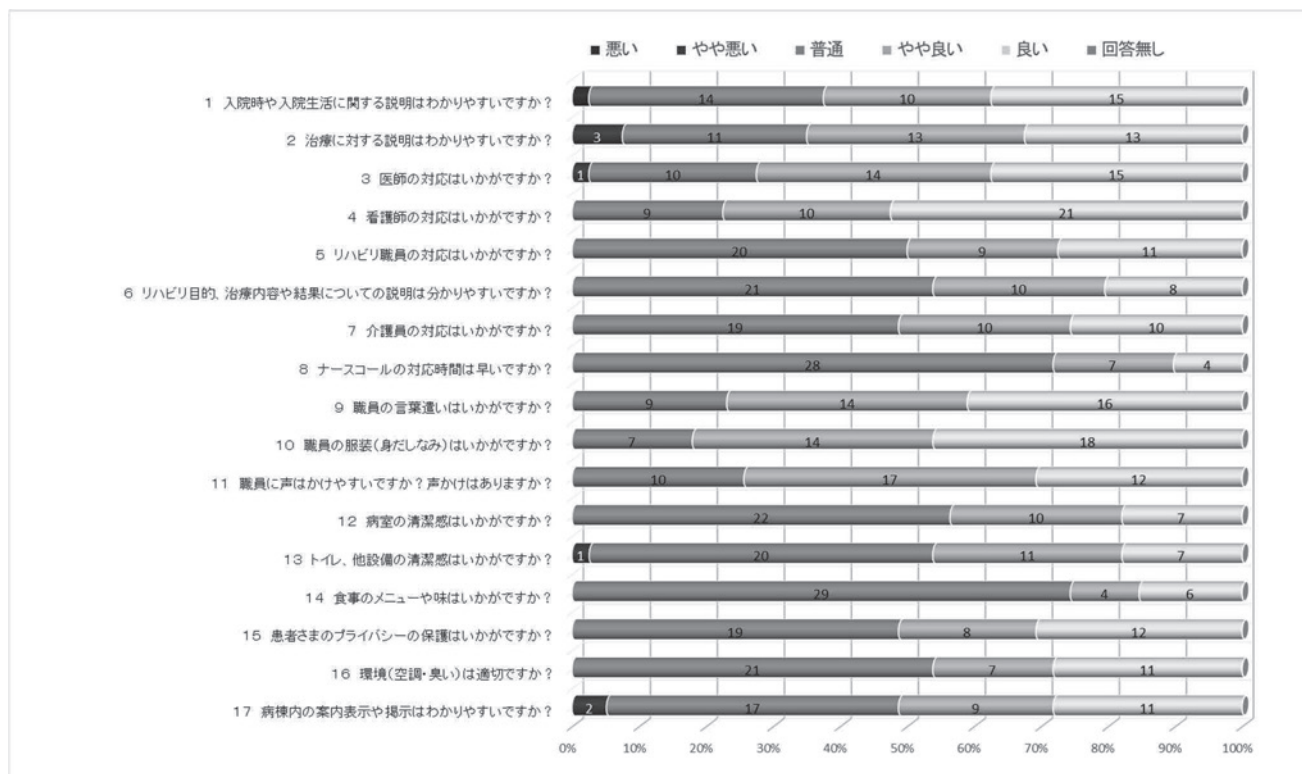
実施期間：2021年3月1日～4月30日

実施部署：病院外来、病院入院、福寿荘、せいわ、通所リハビリ、
デイサービス、訪問看護、コージー、和、居宅・包括

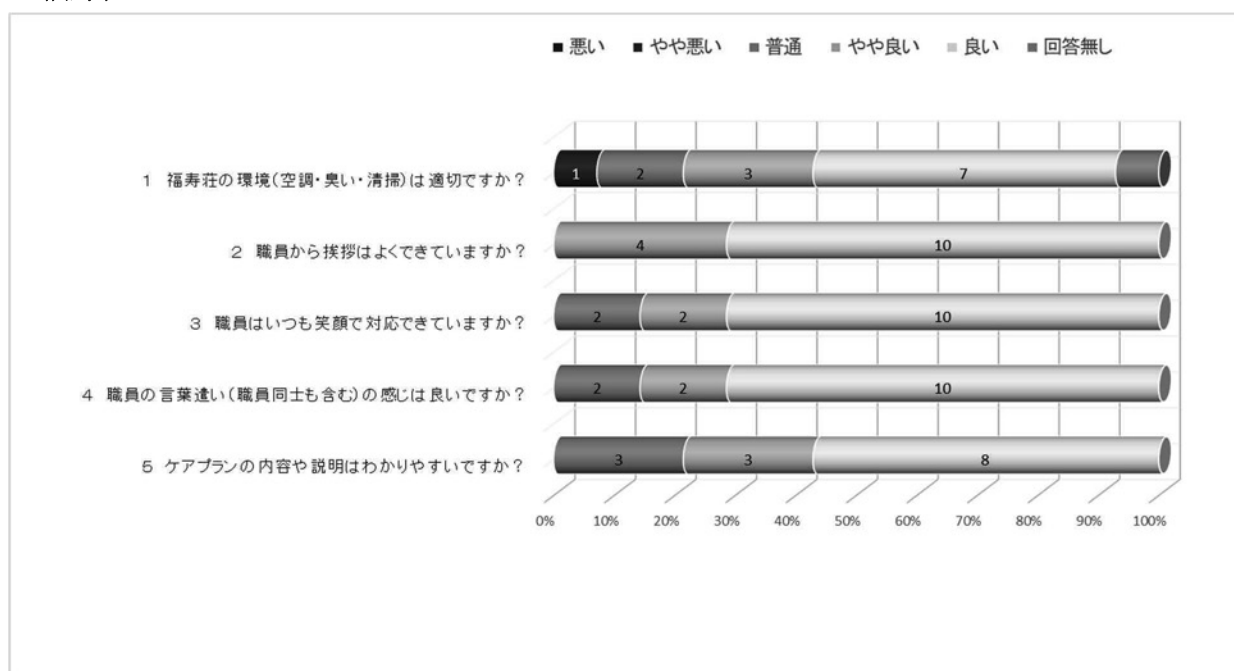
<病院外来>



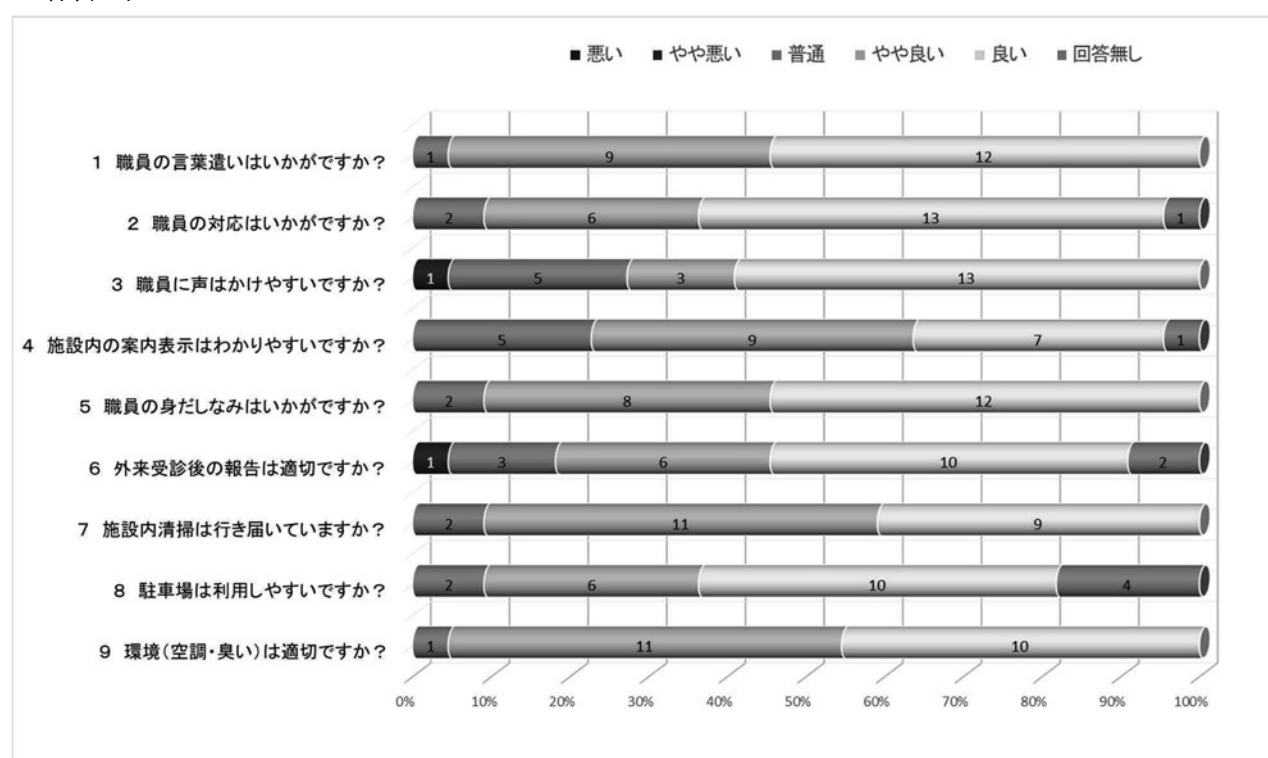
<病院入院>



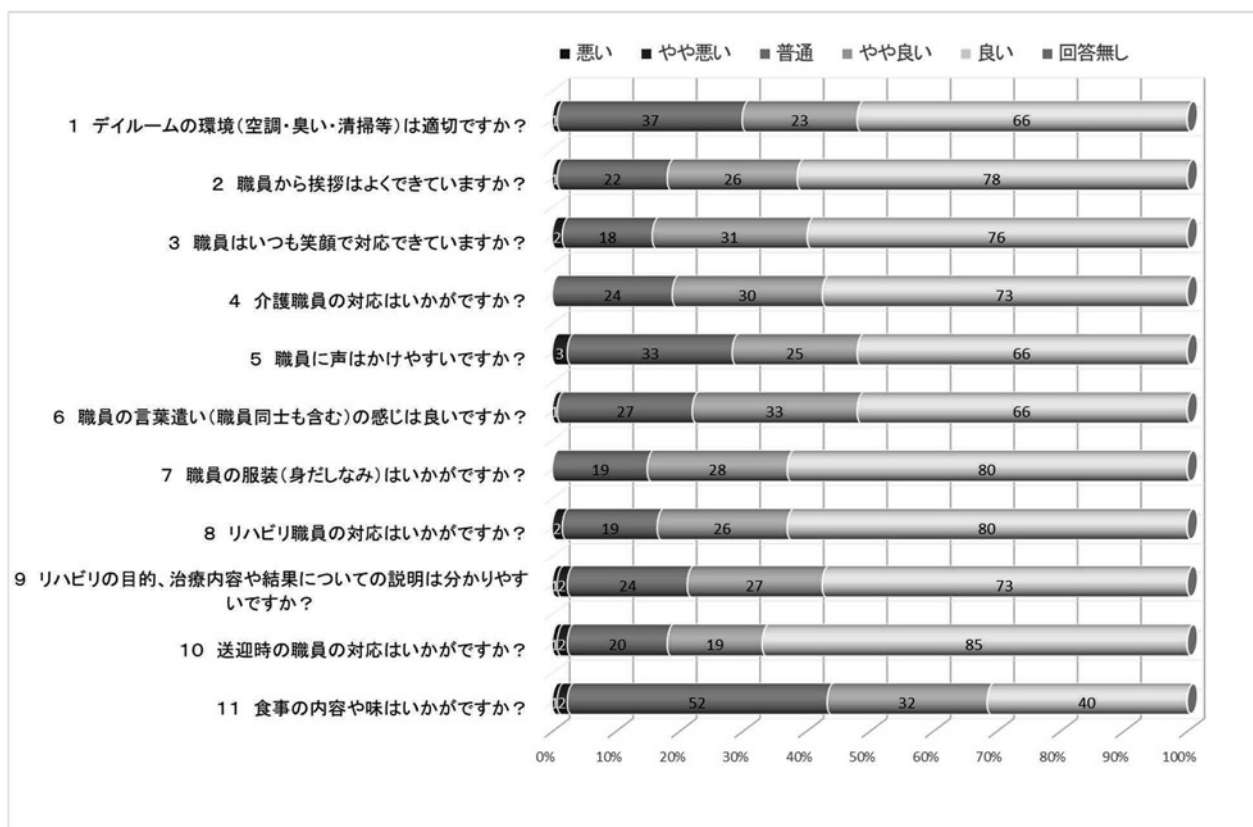
<福寿荘>



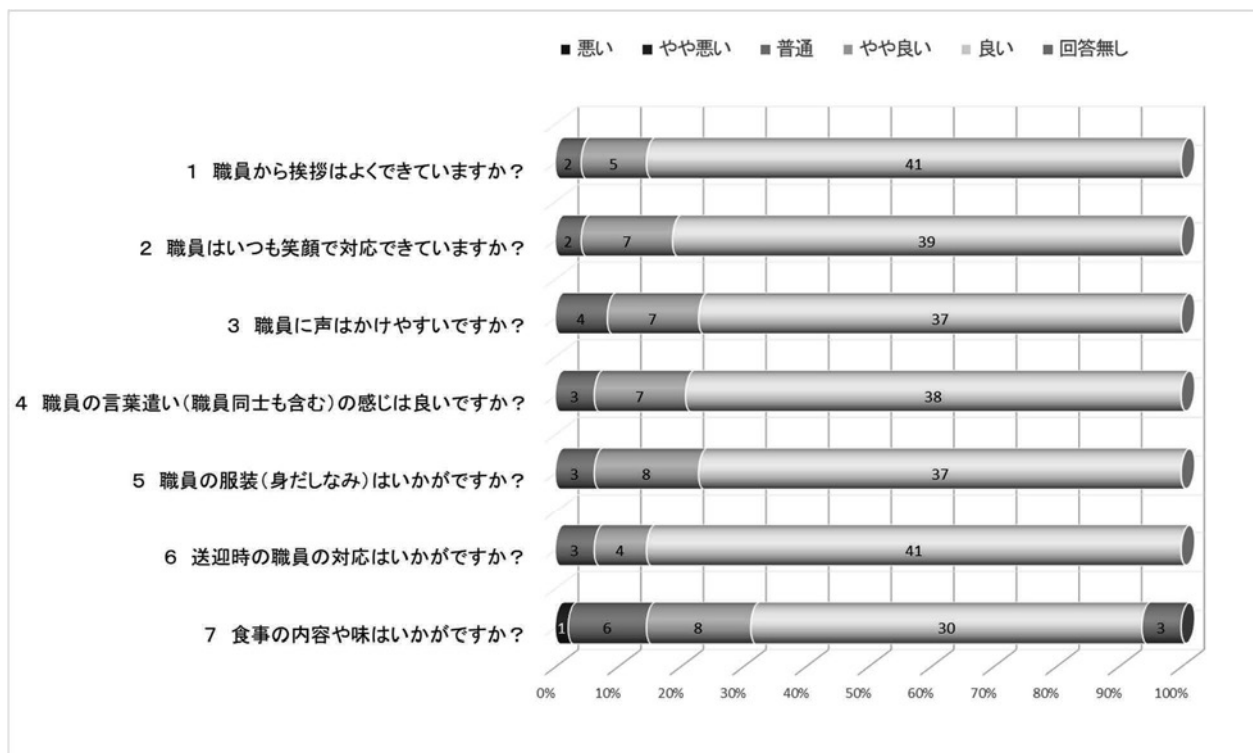
<有料老人ホームせいわ>



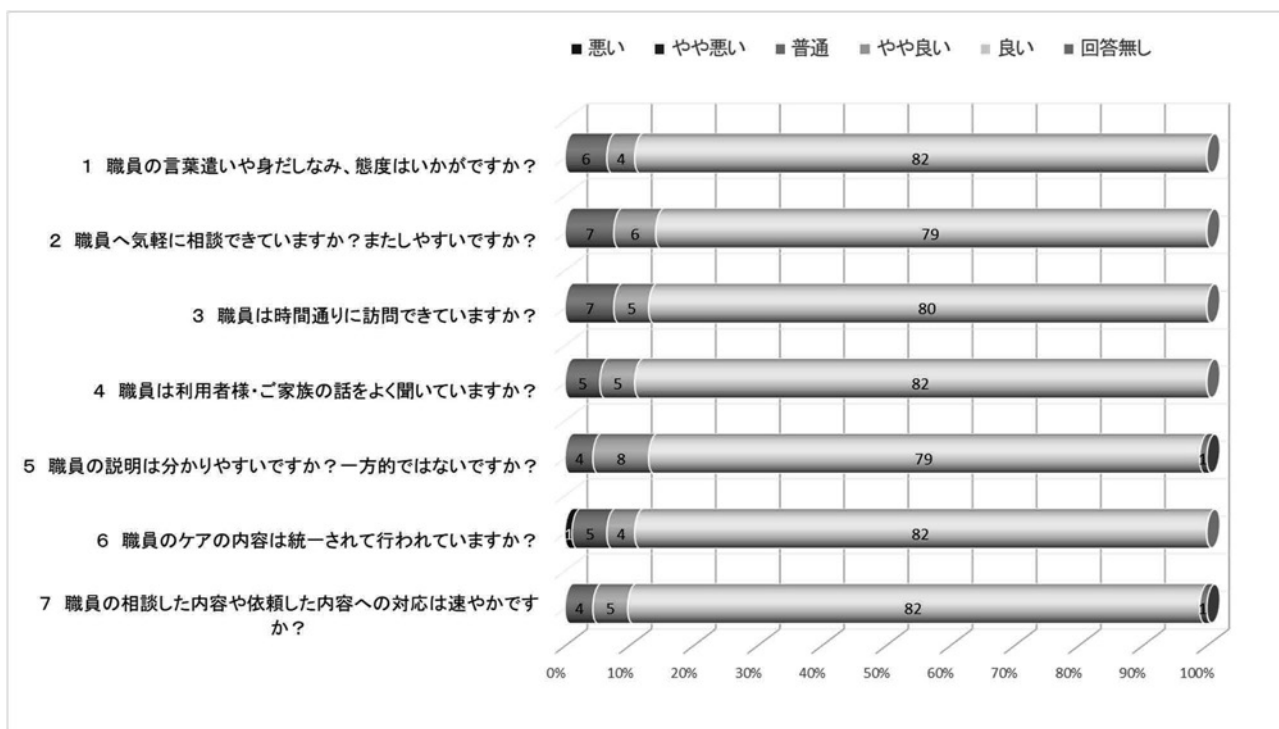
<通所リハビリせいわ>



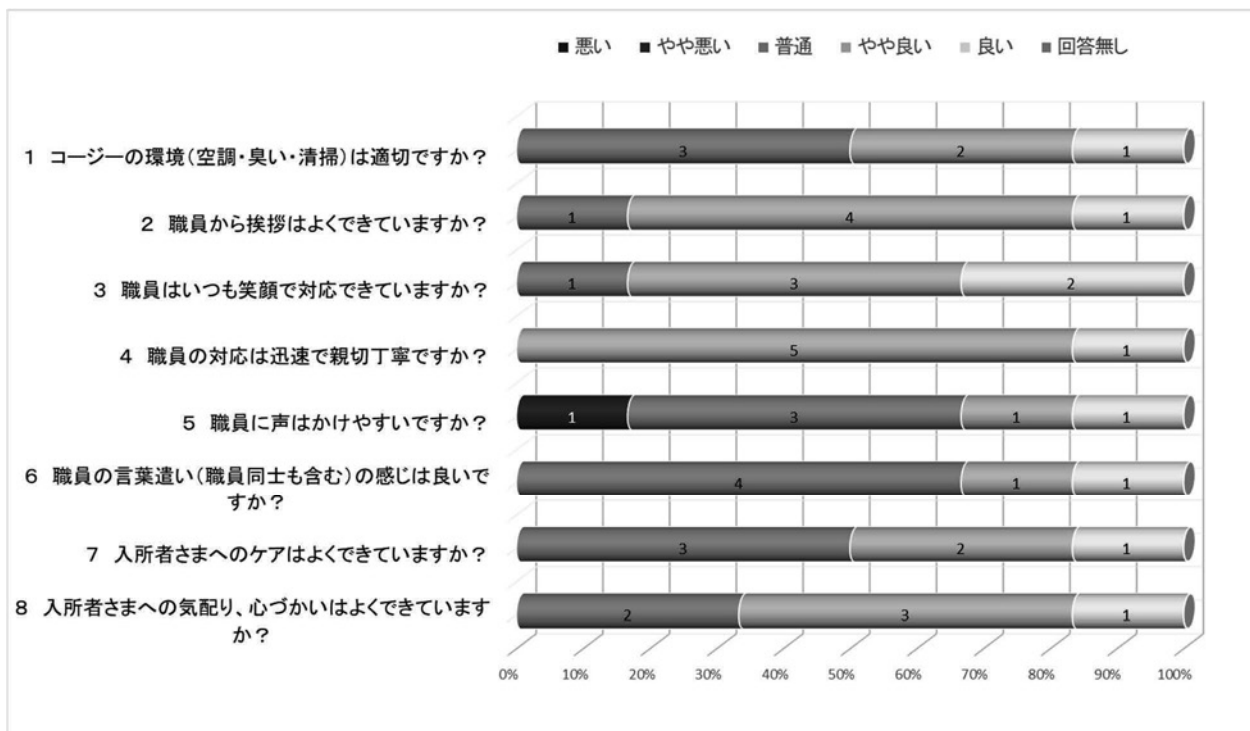
<デイサービスせいわ>



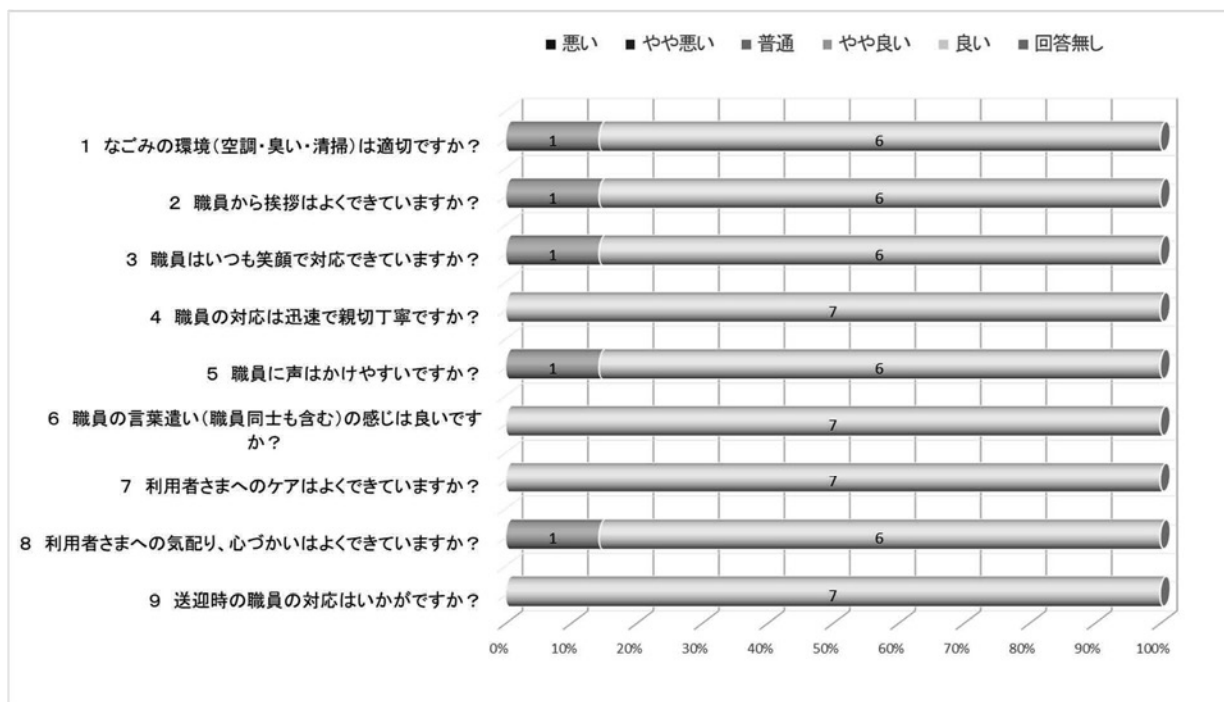
<倉敷記念訪問看護ステーション>



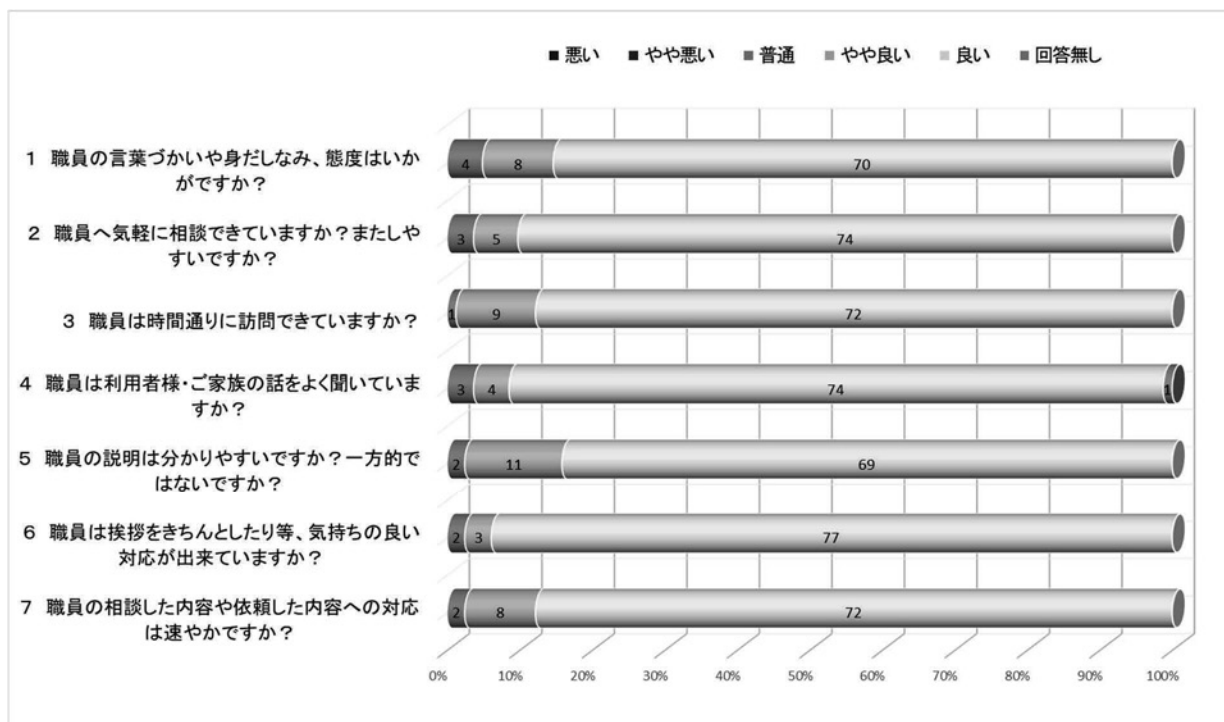
<グループホームコージー>



<小規模多機能 和>



<支援・居宅>



福利厚生委員会

委員長 森 久美子

永年勤続表彰

開催日時 1/4 (月) 13:15 (互礼会時)

対象者 45 名

表彰式壇上表彰者

勤続年数 30 年 3 名

前原 裕子

高橋 友佳

小野 玉枝

勤続年数 25 年 3 名

佐野 めぐみ

小寺 敦子

佐野 悦司



以下 受賞のみ

勤続年数 45 年 1 名

児島 順子

勤続年数 35 年 1 名

櫻井 恵

勤続年数 25 年 1 名

矢野 ちずか

勤続年数 20 年 4 名

安田 雄

溝口 和美

応武 涼子

山口 典子

勤続年数 15 年 10 名

深田 芙美

吉川 千恵

片山 夕子

藤原 春華

石原 佳子

岡 孝彦

矢野 達俊

川端 祐

中野 美智代

谷田 洋平

勤続年数 10 年 22 名

畑 啓子

石原 淳子

西村 忍

大原 恵子

藤井 由美子

馬屋原 まゆみ

鈴木 康夫

小森 寛子

中原 浩子

三牧 佳世

杉本 芳子

中野 春美

小野 恵子

森本 沙織

石井 靖子

藤原 紀江

藤原 恵

高田 亜由美

白髪 恵子

疋田 範子

大山 茂樹

森安 由美

広報委員会

委員長 石田 尚美

1.広報誌「SAY 和～せいわ～」

発 行			トップページ
2020 年	6 月	vol.65	福寿荘 新施設長紹介
	9 月	vol.66	福寿荘 30 周年
	12 月	vol.67	口腔ケア特集
2021 年	3 月	vol.68	決して侮れない 生活習慣病:脂肪性肝疾患

2. 誠和会誌 まこと

発 行			トップページ
2020 年	5 月	vol.63	新入職員
	8 月	vol.64	新型コロナ対策
	11 月	vol.65	ここにも、負けられない戦いがある
2021 年	2 月	vol.66	永年勤続表彰



医療法人誠和会年報

令和2年度 倉敷記念病院

介護老人保健施設福寿荘 有料老人ホームせいわ 通所リハビリせいわ
デイサービスせいわ せいわ介護サービスセンター 倉敷記念訪問看護ステーション
グループホームコージー 小規模多機能
倉敷市倉敷西高齢者支援センター(倉敷市委託)

令和2年9月30日発行

発行人 医療法人誠和会 理事長 小出尚志
編集 誠和会年報編集委員会 (広報委員会・総務部)
委員長 河田真治

〒710-0803 岡山県倉敷市中島 831
電話 086-465-0011 Fax 086-465-9199

倉敷記念病院
介護老人保健施設 福寿荘
有料老人ホーム せいわ
通所リハビリ せいわ
デイサービス せいわ
せいわ介護サービスセンター
倉敷記念訪問看護ステーション
グループホーム コージー
小規模多機能 和
倉敷市倉敷西高齢者支援センター(倉敷市委託)